

令和 8 年度

川 越 市 の 教 育

川 越 市 教 育 委 員 会



川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りがかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうらおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

市の花 山吹(やまぶき)



市の木 かし



市の鳥 雁(かり)



※※※※※ 目 次 ※※※※※

は じ め に

はじめに.....	1
-----------	---

I 教 育 行 財 政

教育長及び教育委員紹介.....	2
教育委員会議案等（令和7年度）.....	3
事務局組織の主な事務と教育機関.....	7
第四次川越市教育振興基本計画.....	9
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価.....	12
令和8年度教育行政方針に係る主要な事業等.....	12
教育財政.....	17
令和8年度並びに令和7年度教育費当初予算（歳出）.....	18
児童生徒1人当たり教育費及び需用費.....	19
令和8年度主な事業.....	19
1. 教育総務課.....	20
2. 教育財務課.....	23

II 学 校 教 育

1. 学校管理課.....	27
2. 教育指導課.....	30
3. 学校給食課.....	37
4. 市立川越高等学校.....	41
5. 教育センター.....	43

III 社 会 教 育

1. 地域教育支援課.....	52
2. 公民館.....	60
3. 図書館.....	63
4. 博物館.....	68
5. 教育財務課（学童保育）.....	72

IV 文 化 財 保 護

1. 文化財保護課.....	73
----------------	----

V 資 料

教育委員会事務局組織の改正.....	79
委員会等一覧.....	80
歴代教育委員会委員長・教育長・教育委員会委員.....	81
教育施設配置図.....	82
市立学校一覧.....	83
市立学校施設の現況.....	85
児童生徒数と今後の推移.....	89
小・中・高・特別支援学校教職員の数.....	91

※「令和8年度 川越市の教育」は令和8年7月30日時点の調査による冊子です。

は じ め に

川越市教育委員会では、平成23年2月に川越市教育振興基本計画、平成28年2月に第二次川越市教育振興基本計画を策定し、令和3年度からは第三次川越市教育振興基本計画として「生きる力を育み未来を拓く川越市の教育」を基本理念に掲げ、その実現に向けて各施策の推進に取り組んでまいりました。この間、教育を取り巻く社会状況は大きく変化し、深刻さを増す少子化と高齢化の進行、国際社会の対立による混乱、生成 AI などデジタル技術の発展といった大きな変化が重なることにより、社会や経済の先行きが不透明になっており、教育の果たす役割がますます重要になっています。

これらの変化や課題に対応していくために、令和8年度からの5年間を計画期間とする「第四次川越市教育振興基本計画」を策定しました。この計画では「ともに学び続ける力で未来を拓く川越市の教育」を基本理念として、「夢や志をもち、自ら学び考え、他者と学びあい成長できるこどもの育成」、「より快適で、質の高い学びを支える教育環境の整備・充実」、「郷土に誇りと愛着をもち、誰もが生きがいや幸せを感じ、豊かな人生を送れる社会の実現」の3つの目標を定め、この目標に基づいて次の9つの施策を示しました。

- 施策1 確かな学力の育成
- 施策2 豊かな心と健やかな体の育成
- 施策3 自立する力の育成
- 施策4 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進
- 施策5 教育の質を高める環境の充実
- 施策6 学びを支える教育環境の整備・充実
- 施策7 家庭・地域の教育力の向上
- 施策8 生涯学習活動の推進
- 施策9 文化財の保存と活用

この計画は、第三次川越市教育振興基本計画までの成果と課題や、教育を取り巻く社会状況の変化を踏まえた上で、今後5年間の本市の教育における方向性や施策等をまとめたものです。その推進にあたっては、計画の進行管理と併せ、毎年度、事務事業の点検及び評価を行ってまいります。

考え方や生き方が多様化し、ますます予測困難で変化が激しい現代社会においては、長い人生を豊かで幸せなものにするために、様々な人々と関わり合い、共生していきながら、主体的に学び続けていくことが極めて重要です。こどもたちが自ら考え、人々が互いに支え合いながら、よりよい社会をつくり出していくために、家庭・地域・学校が一体となって学びの力を育めるよう、引き続き様々な施策に取り組んでまいります。

本冊子は、令和8年度における本市の教育行政及び各教育機関の概要をとりまとめたものです。

市民の皆様及び関係各位におかれましては、本冊子を御活用の上、本市教育行政への理解をより一層深めていただくとともに、「ともに学び続ける力で未来を拓く川越市の教育」という基本理念の実現に向けて御協力いただければ幸いです。

川越市教育委員会

教育長及び教育委員紹介



教 育 長
新 保 正 俊



教育長職務代理者
飯 島 希



委 員
岡 本 紘 子



委 員
鈴 木 朗



委 員
大 石 懐 子

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育に関する事務を管理及び執行するために設置された合議制の執行機関である。川越市の教育委員会は、市長が議会の同意を得て任命した教育長と4人の教育委員で組織されており、教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表し、教育委員会の権限に属する事務をつかさどる。その事務を処理、執行するための組織として事務局が設置されている。

教育長・委員

職 名	氏 名	現 任 期
教 育 長	新 保 正 俊	令和 7年 4月 1日～令和10年 3月31日
教 育 長 職務代理者	飯 島 希	令和 4年12月28日～令和 8年12月27日
委 員	岡 本 紘 子	令和 6年 4月 1日～令和10年 3月31日
委 員	鈴 木 朗	令和 7年 6月26日～令和11年 6月25日
委 員	大 石 懐 子	令和 7年 6月26日～令和 9年 3月31日

教育委員会の活動状況（令和7年度）

項目	定例会	臨時会	学校等 視察	首長との 意見交換	総合教育 会議の 開催回数	そ の 他 の 活 動	
	12 回	1 回	42 回	0 回	3 回	190 回	主 な 活 動
							会議、式典、行事等

I 教育行財政 教育委員会議案等（令和7年度）

教育委員会議案等（令和7年度）

会議名	開会日	議案番号等	案 件 名
第1回 定例会	R7.4.16	議 案 第 1 号	教育委員会の決裁権限を教育長が臨時に代理したことの承認を求めることについて（川越市教育委員会職員の職名に関する規則及び川越市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則を定めることについて）
		議 案 第 2 号	教育委員会の決裁権限を教育長が臨時に代理したことの承認を求めることについて（川越市教育委員会事務局処務規程及び川越市教育委員会職員の人事評価の基準、方法等に関する規程の一部を改正する規程を定めることについて）
		議 案 第 3 号	川越市小堤集会所運営委員会委員を委嘱することについて
		議 案 第 4 号	川越市立図書館協議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 5 号	川越市立川越高等学校教育審議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 6 号	川越市就学支援委員会委員を委嘱することについて
		報 告 事 項	川越市教育委員会教育長職務代理者の指名について
		報 告 事 項	川越市立博物館の博物館登録について
		報 告 事 項	市内小学校におけるいじめ重大事態の発生について
第2回 定例会	R7.5.21	議 案 第 7 号	1件3,000万円以上の工事計画について
		議 案 第 8 号	令和7年度一般会計補正予算（教育委員会所管分）について
		議 案 第 9 号	川越市教育振興基本計画審議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 10号	川越市社会教育委員を委嘱することについて
		議 案 第 11号	川越市公民館運営審議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 12号	川越市立川越高等学校教育審議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 13号	川越市就学支援委員会委員を委嘱することについて
		議 案 第 14号	川越市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を委嘱することについて
		報 告 事 項	川越市立中学校部活動支援員の配置について
第3回 定例会	R7.6.21	議 案 第 15号	川越市公民館処務規程等の一部を改正する規程を定めることについて
		議 案 第 16号	教育委員会の決裁権限を教育長が臨時に代理したことの承認を求めることについて（川越市立川越高等学校体育館空調設備等整備工事請負契約について）
		議 案 第 17号	川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 18号	川越市幼児教育振興審議会委員を委嘱することについて
		議 案 第 19号	市立学校県費負担教職員の懲戒処分に係る人事内申について
		報 告 事 項	川越市教育委員会の活動の点検評価懇話会委員の選任について
		報 告 事 項	第二次川越市学校教育情報化推進計画の総括について
		報 告 事 項	川越市立特別支援学校の令和8年度生徒募集について
		協 議 事 項	第四次川越市教育振興基本計画（案）について
第4回 定例会	R7.7.17	議 案 第 20号	川越市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議 案 第 21号	川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会委員を委嘱することについて
		議 案 第 22号	川越市立博物館協議会委員を委嘱することについて
		報 告 事 項	川越市立大東東小学校トイレ改修工事請負契約ほか5件について
		報 告 事 項	第四次川越市教育振興基本計画の基本理念（案）について
		協 議 事 項	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（案）について

Ⅰ 教育行財政 教育委員会議案等（令和7年度）

会議名	開会日	議案番号等	案 件 名
第5回臨時会	R7.8.5	議案第23号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（案）について
		報 告 事 項	第四次川越市教育振興基本計画の基本理念（案）について
第6回定例会	R7.8.21	議案第24号	令和7年度一般会計補正予算（教育委員会所管分）について
		議案第25号	川越市公民館設置条例及び川越市公民館使用条例の一部を改正する条例を定めることについて
		議案第26号	川越市山王塚古墳整備検討委員会委員を委嘱することについて
		議案第27号	川越市立学校給食センター運営委員会委員を委嘱することについて
		議案第28号	令和8年度使用川越市立特別支援学校用教科用図書を採択することについて
		議案第29号	令和8年度使用川越市立高等学校用教科用図書を採択することについて
		報 告 事 項	川越市立川越高等学校における教員人事応募の募集校の決定について
		報 告 事 項	川越市立南古谷中学校大規模改造（外部）工事請負契約ほか4件について
		報 告 事 項	和解について
		報 告 事 項	令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（速報値）について
		協 議 事 項	小中一貫教育の推進について
		協 議 事 項	学力向上とデジタル教科書について
第7回定例会	R7.9.25	議案第30号	令和8年度当初教職員人事異動の方針・細部事項について
		議案第31号	教育委員会の決裁権限を教育長が臨時に代理したことの承認を求めることについて（図書館業務用機器の取得について）
		議案第32号	川越市社会教育委員を委嘱することについて
		報 告 事 項	第1、2回川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会について
		報 告 事 項	令和7年度全国学力・学習状況調査及び令和7年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について
		報 告 事 項	川越市特別支援教育推進に関する計画の総括について
		報 告 事 項	市立小中学校におけるリース物品の紛失について
第8回定例会	R7.10.22	議案第33号	教育委員会の決裁権限を教育長が臨時に代理したことの承認を求めることについて（川越市公民館処務規程等の一部を改正する規程を定めることについて）
		報 告 事 項	川越市立月越小学校ほか1校体育館空調設備等整備工事請負契約ほか5件について
		報 告 事 項	川越市社会教育委員協議会提言書の提出について
		協 議 事 項	令和8年度川越市教職員研修計画の方針等について
		協 議 事 項	英語指導助手の配置拡充について
第9回定例会	R7.11.11	議案第34号	令和8年度一般会計予算（教育費）要求について
		議案第35号	令和7年度一般会計補正予算（教育委員会所管分）について
		議案第36号	児童福祉法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を定めることについて
		議案第37号	川越市河越館跡整備検討委員会委員を委嘱することについて
		報 告 事 項	第四次川越市教育振興基本計画（案）について
		報 告 事 項	川越市立川越高等学校における今後の「学校運営の方針」について
		報 告 事 項	川越市地域クラブ活動（部活動地域展開）に向けたガイドラインの策定について
		報 告 事 項	川越市立福原中学校エレベーター改修工事請負契約について
		協 議 事 項	川越市立図書館運営方針の改定について
		協 議 事 項	第五次川越市子ども読書活動推進計画の策定について

I 教育行財政 教育委員会議案等（令和7年度）

会議名	開会日	議案番号等	案 件 名
第10回 定例会	R7.12.25	議案第38号	川越市公民館使用条例施行規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第39号	川越市学校施設使用規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第40号	川越市教育委員会が所管する行政手続等における情報通信の技術の利用に関する規則を定めることについて
		議案第41号	令和8年度川越市教職員研修計画について
		報告事項	令和8年度川越市立川越高等学校生徒募集要項について
		報告事項	川越市立小・中学校水泳指導及び施設の在り方に係る検証報告について
		報告事項	修学旅行を含めた校外における行事の更なる充実について
		報告事項	市内小学校におけるいじめ重大事態の発生について
		協議事項	学校における働き方改革基本方針の改訂について
第11回 定例会	R8.1.21	議案第42号	令和8年度教育行政方針と主要な施策について
		報告事項	川越市立名細小学校エレベーター改修工事請負契約について
		報告事項	学校給食費の改定について
		報告事項	川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会答申等について
		協議事項	「第四次川越市スポーツ推進計画（原案）」について
第12回 定例会	R8.2.5	議案第43号	令和8年度学校教職員管理職人事について
		議案第44号	第四次川越市教育振興基本計画の策定について
		議案第45号	川越市立図書館運営方針の改定について
		議案第46号	第五次川越市子ども読書活動推進計画の策定について
		議案第47号	第三次川越市学校教育情報化推進計画の策定について
		議案第48号	第二次川越市特別支援教育推進に関する計画の策定について
		議案第49号	学校における働き方改革基本方針の改定及び業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について
		議案第50号	川越市学校運営協議会規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第51号	川越市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第52号	川越市立図書館管理規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第53号	川越市立学校職員安全衛生管理規則を定めることについて
		議案第54号	川越市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第55号	令和7年度一般会計補正予算（教育委員会所管分）について
		議案第56号	川越市いじめ問題対策委員会委員を委嘱することについて
		議案第57号	川越市学校部活動地域連携・地域移行推進基金条例の一部を改正する条例を定めることについて
		報告事項	学校体育施設開放事業における実費徴収について
		協議事項	川越市立小・中学校の水泳授業及びプール施設の在り方に関する基本的な方針（案）について

Ⅰ 教育行財政 教育委員会議案等（令和7年度）

会議名	開会日	議案番号等	案 件 名
第13回 定例会	R8.3.24	議案第58号	川越市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第59号	川越市教育委員会部局職員の定数の配分に関する規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第60号	川越市教育委員会事務局処務規程等の一部を改正する規程を定めることについて
		議案第61号	川越市教育委員会職員人事について
		議案第62号	川越市学校施設使用規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第63号	川越市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則を定めることについて
		議案第64号	川越市立学校職員服務規程の一部を改正する規程を定めることについて
		報告事項	第三次川越市特定事業主行動計画（前期計画）の策定について
		報告事項	第三次川越市教育委員会特定事業主行動計画（前期計画）の策定について
		報告事項	第二次川越市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画（前期計画）について

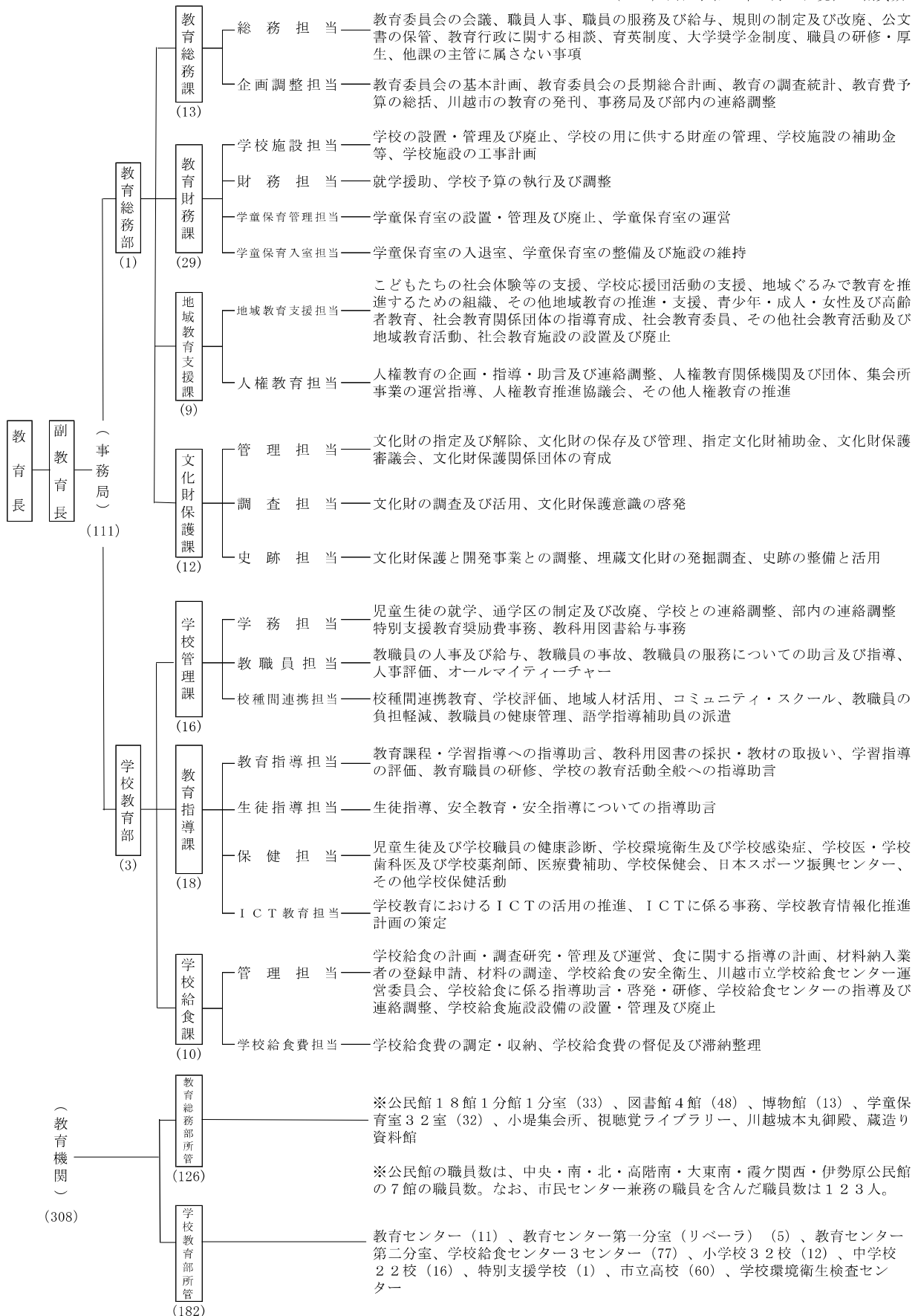
・議案 64件
 ・報告 35件
 ・協議 11件

} 合計 110件

I 教育行財政 事務局組織の主な事務と教育機関

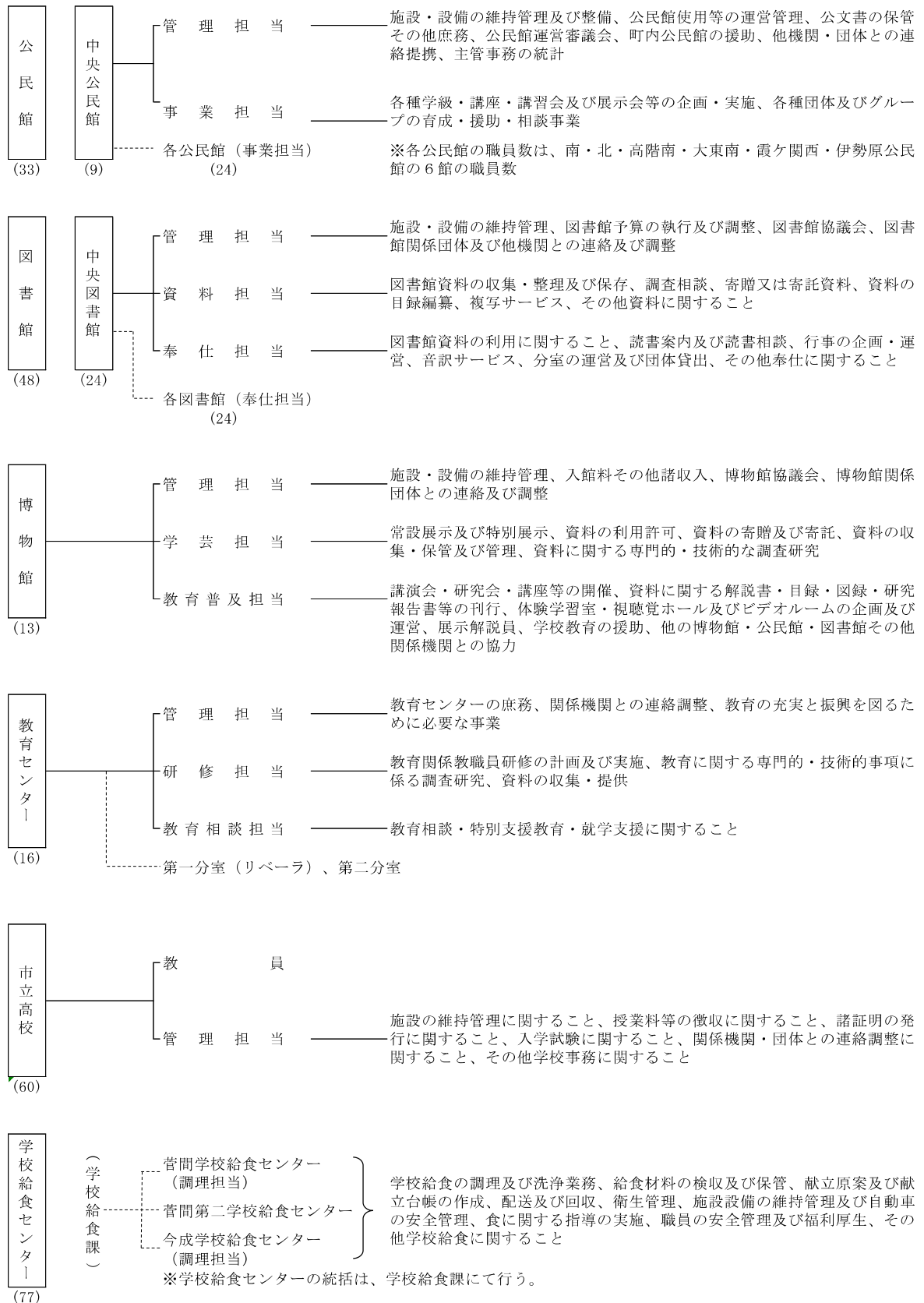
事務局組織の主な事務と教育機関

() 内は令和8年4月1日現在の職員数



※副教育長は、教育総務部長を兼ねる。

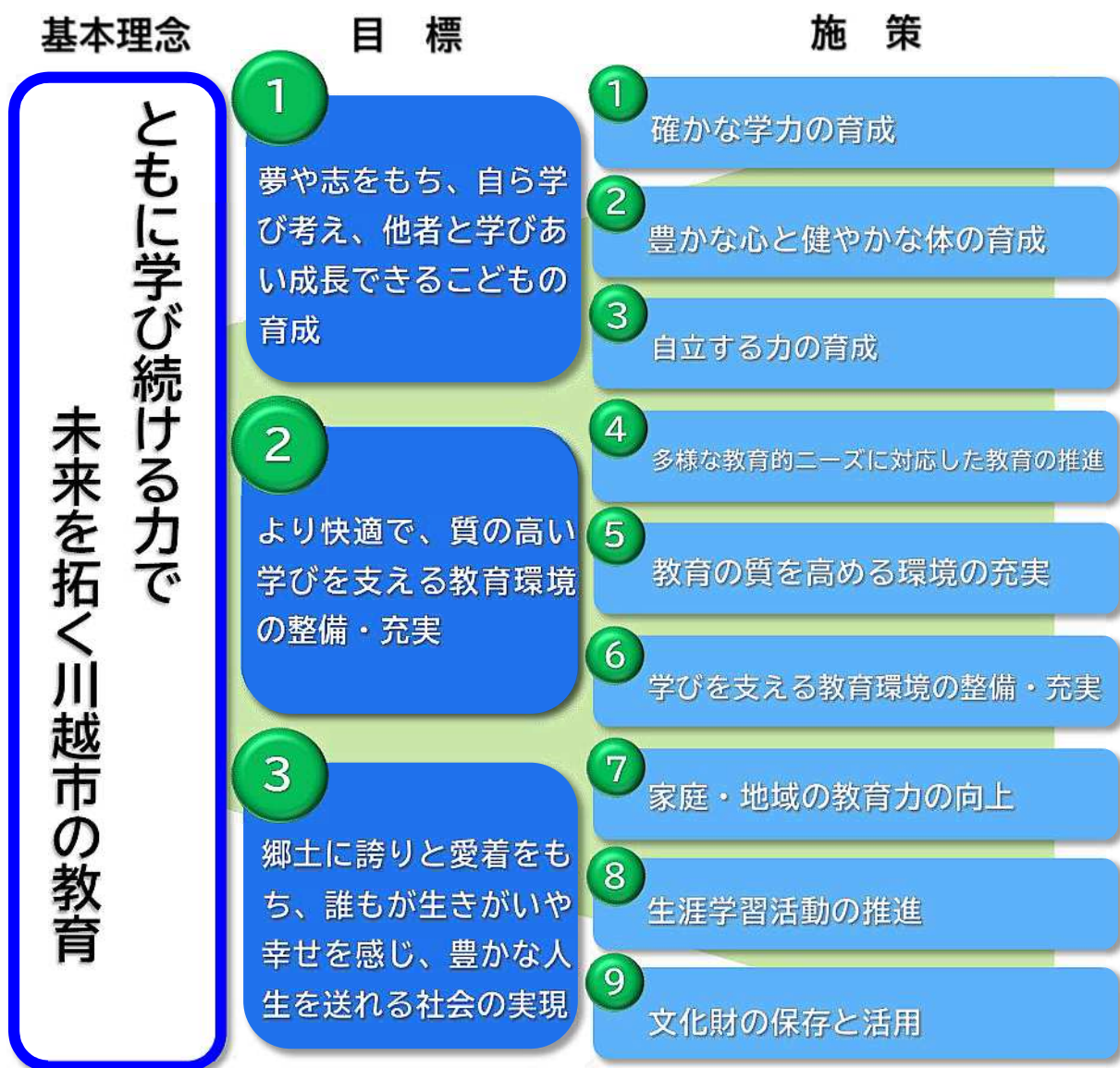
主な教育機関の組織と事務



第四次川越市教育振興基本計画

本市の教育振興のために必要な施策を総合的かつ計画的に推進するため、「第四次川越市教育振興基本計画」を策定した。

1. 計画の全体像



2. 計画の期間

本計画の計画期間は、令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間とする。

3. 施策体系

施策1 確かな学力の育成

施策の柱	細施策
(1) 学力向上の推進	①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進 ②ICT活用の推進 ③家庭学習の充実
(2) 校種間連携の推進	①幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携 ②小中一貫教育の推進
(3) グローバル化に対応する教育の推進	①英語指導助手の配置事業の充実 ②小学校・中学校英語教育の充実
(4) 学校教育の情報化の推進	①情報活用能力の育成における情報技術の活用及び特性の理解 ②情報技術の適切な取扱い ③教育の情報化に関する推進体制の充実 ④ICT環境の整備

施策2 豊かな心と健やかな体の育成

施策の柱	細施策
(1) 豊かな心を育む教育の推進	①道徳教育の充実 ②規律ある態度の育成の推進 ③伝統や文化に関する教育の充実 ④読書活動の充実 ⑤体験活動の充実
(2) 自己を肯定し他者を尊重できる心の育成	①いじめ防止対策の推進 ②「いのちの教育」の推進
(3) 健康の保持増進と体力向上の推進	①学校保健活動の推進 ②食育の推進 ③体力向上の推進

施策3 自立する力の育成

施策の柱	細施策
(1) 進路指導・キャリア教育の充実	①小学校・中学校・高等学校の系統的なキャリア教育の充実 ②地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実
(2) 主体的に社会の形成に参画する力の育成	①主権者教育・消費者教育の推進 ②環境教育の推進

施策4 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

施策の柱	細施策
(1) 特別支援教育の充実	①一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実 ②就学支援の充実 ③特別支援教育の理解・啓発の推進
(2) 一人ひとりの状況に応じた支援	①多様化する学校内での教育的ニーズを解決する事業の推進 ②不登校支援の推進 ③教育相談の充実 ④教育機会均等化のための支援

施策5 教育の質を高める環境の充実

施策の柱	細施策
(1) 教職員の資質向上	①主体的に自身の専門性を伸ばす研修の充実 ②各キャリアステージに応じた研修の充実 ③喫緊の教育課題の解決に向けた研修の充実 ④教職員の働き方改革の推進
(2) 魅力ある市立川越高等学校づくりの推進	①市立川越高等学校の活性化・特色化の推進 ②進路指導力向上のための教職員研修の充実 ③小学校・中学校・特別支援学校と市立川越高等学校連携の推進 ④市立川越高等学校教育環境の整備・充実
(3) 市立特別支援学校の充実	①市立特別支援学校の整備・充実 ②市立特別支援学校のセンター的機能の充実

施策6 学びを支える教育環境の整備・充実

施策の柱	細施策
(1) 学校施設等の整備・充実	①小・中学校大規模改造工事及びトイレ改修工事の推進 ②小・中学校重要設備の更新 ③小・中学校空調設備設置の推進 ④学校図書館の充実 ⑤教育センター施設の整備・充実
(2) 小・中学校の適正規模・適正配置	①小・中学校の適正規模・適正配置等の検討
(3) 学校給食の充実	①給食内容の充実 ②学校給食施設の整備
(4) こどもたちの安全・安心の確保	①安全教育の推進 ②防災教育の推進 ③学童保育の充実

施策7 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	細施策
(1) 家庭や地域への支援	①家庭教育の支援 ②社会教育関係団体への支援 ③地域の教育活動への支援
(2) 家庭・地域・学校の連携・協働	①コミュニティ・スクールの推進 ②外部人材の積極的な活用 ③学校評価の活用 ④家庭・地域・学校の連携推進 ⑤放課後子供教室の推進 ⑥学校部活動の地域連携・地域展開

施策8 生涯学習活動の推進

施策の柱	細施策
(1) 市立公民館の充実	①ライフステージにおける課題や現代的課題の学習 ②生涯学習活動の拠点としての公民館運営 ③公民館の設置及び既存公民館の整備
(2) 市立図書館の充実	①資料の充実 ②読書環境の充実 ③学習活動の支援 ④図書館サービスの充実
(3) 市立博物館の充実	①展示機能の充実 ②郷土資料の収集・保存 ③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化 ④博物館の整備
(4) 人権教育の推進	①人権教育の充実 ②人権教育指導者の養成 ③関係機関・団体等との連携

施策9 文化財の保存と活用

施策の柱	細施策
(1) 文化財の保存と活用	①文化財の保存と活用の推進 ②無形民俗文化財の保存と後継者の育成 ③重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 ④河越館跡の整備・活用 ⑤山王塚古墳の整備・活用
(2) 地域の歴史や伝統文化の継承	①地域の歴史遺産の「発見」 ②地域の歴史・伝統文化の継承に向けた学びの促進

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなった。また、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされた。川越市教育委員会においても、平成20年度から前年度に実施した事務について点検及び評価を行っている。

更に、平成24年度から川越市教育振興基本計画の施策を対象とし、川越市教育振興基本計画の進行管理と併せて、点検及び評価を実施することとした。

なお、平成22年度から文化及びスポーツに関する事務は、教育委員会から市長部局に移管されているが、川越市教育振興基本計画の進行管理の中で、市長部局における事務事業の点検及び評価も併せて実施している。

令和4年度からは、本市教育委員会が所掌する施策や事業に限定した川越市教育振興基本計画の進行管理と併せて、点検及び評価を実施しているため、文化及びスポーツに関する事務事業は、市長部局の各課それぞれが所掌する個別計画の中で進行管理を行っている。

令和8年度教育行政方針に係る主要な事業等

川越市教育委員会では、令和8年度の教育行政の執行に当たり、特に注力する第四次川越市教育振興基本計画を踏まえた主要な事業等について教育行政方針により示し、総合的、計画的に事業を推進していく。

No.	主要な事業等	具体的な取組内容の例	担当課	(参考)第四次川越市教育振興基本計画における位置づけ	
				施策	施策の柱
1	川越市小・中学生学力向上プランの取組	- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 - 学力向上対策 - 家庭学習の啓発	教育指導課	1 確かな学力の育成	(1) 学力向上の推進
2	I C Tの活用	- 学習者用コンピュータを含めたデジタル学習基盤を活用した授業実施 - 実践事例創出及び展開事業	教育指導課		
3	川越市ときも学びのプロセスの取組	幼稚園、保育園、認定こども園、小学校との連携	教育指導課		(2) 校種間連携の推進
4	英語指導助手配置事業	- 英語教育推進訪問 - 英語指導助手研修会	教育センター		(3) グローバル化に対応する教育の推進
5	川越市イングリッシュキャンプ	英語を用いた体験活動、英語指導助手との交流活動	教育センター		
6	「5ラウンドシステム」の研究	5ラウンドシステムに係る研修会の実施 5ラウンドシステムの授業実践の支援 5ラウンドシステムについての情報提供	教育センター		
7	第三次川越市学校教育情報化推進計画	- 学習者用コンピュータの更新 - 学習者用コンピュータを活用した児童生徒の学力向上 - コールセンターや訪問支援員等の支援体制の継続的な整備 - 中学校への採点システムの導入	教育指導課	2 豊かな心と健やかな体の育成	(4) 学校教育の情報化の推進
1	道徳教育の推進	- 学校指導訪問を通じた教員への指導 - 道徳教育研修会や学校指導訪問等を通しての指導力の向上 - 道徳教育研修会の実施	教育指導課		(1) 豊かな心を育む教育の推進
2	ふるさと学習の取組	- 市内教員対象の研修実施 - 指定学校研究の実践事例を全市立学校で共有	教育指導課		

I 教育行財政 令和8年度教育行政方針に係る主要な事業等

No.	主要な事業等	具体的な取組内容の例	担当課	(参考) 第四次川越市教育振興基本計画における位置づけ		
				施策	施策の柱	
3	読書活動の推進	・小江戸読書マラソンの配布 ・小江戸中学生読書手帳の配布 ・小江戸小・中学生ビブリオバトルの開催	教育指導課	2	豊かな心と健やかな体の育成	(1) 豊かな心を育む教育の推進
4	生徒指導推進訪問	・「川越市いじめの防止等のための基本的な方針」の徹底や、安全で安心な学校・学級づくりに関する指導・助言	教育指導課			(2) 自己を肯定し他者を尊重できる心の育成
5	学級経営・いじめ問題アドバイザー派遣事業	・いじめの認知・認定、初期対応の徹底や早期解決、解消等に関する指導・助言	教育指導課			
6	いのちの教育の推進	・救命教育、がん教育、性に関する指導 ・市内関係機関や外部講師等との連携	教育指導課			(3) 健康の保持増進と体力向上の推進
7	トップアスリートふれあい事業	・児童生徒の運動への関心の向上 ・運動好きな児童の育成 ・近隣大学との連携	教育指導課			
8	プール施設及び水泳指導の民間委託	・効率的かつ質の高い水泳授業の実施	教育指導課			
1	キャリア教育の推進	・キャリアパスポートの作成 ・進路指導・キャリア教育研修会の実施	教育指導課	3	自立する力の育成	(1) 進路指導・キャリア教育の充実
2	主権者教育・消費者教育の推進	・学習指導要領に示された指導内容に基づき、社会科、技術・家庭科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を中心に各学校で指導 ・川越税務署との連携による租税教室の実施	教育指導課			(2) 主体的に社会の形成に参画する力の育成
3	環境教育の推進	・川越市エコチャレンジスクール認定制度	教育センター			
1	第二次川越市特別支援教育推進に関する計画	・特別支援教育の視点に立った支援・指導の充実 ・特別支援教育に係る環境の整備 ・特別支援教育に係る研修の開催	教育センター	4	多様な教育的ニーズに対応した教育の推進	(1) 特別支援教育の充実
2	川越市教育委員会免許法認定講習（特別支援教育）	・特別支援教育の免許法認定講習の開催	教育センター			
3	インクルーシブ教育システムの構築	・教育的ニーズに的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みの整備	教育センター			
4	学級運営支援員・特別支援教育支援員の配置	・特別支援学級や、通常の学級における学習支援等	教育センター			
5	オールマイティチャー配置事業	・多様化する学校課題の解決への対応 ・学校訪問の実施	学校管理課			(2) 一人ひとりの状況に応じた支援
6	語学指導補助員等の派遣	・日本語指導が必要な外国籍児童生徒への学習支援	学校管理課			
7	校内学習室の充実	・不登校児童生徒の状況に応じた個別最適な学びと多様な学びの場の確保	教育センター			

No.	主要な事業等	具体的な取組内容の例	担当課	(参考) 第四次川越市教育振興基本計画における位置づけ		
				施策	施策の柱	
8	さわやか相談員の配置	・市立中学校全22校における生徒及びその保護者を対象とした相談活動	教育センター	4	多様な教育ニーズに対応した教育の推進	(2) 一人ひとりの状況に応じた支援
9	スクールソーシャルワーカー配置事業	・いじめや不登校、虐待や貧困などの課題を抱える児童生徒の背景にある生活環境の調整及び改善に係る支援	教育センター			
10	就学援助制度	・学用品費等や新入学児童生徒学用品費等の援助	教育財務課			
1	教職員の研修	・川越市教職員研修(専門研修・経験者研修・特定研修)の実施	教育センター	5	教育の質を高める環境の充実	(1) 教職員の資質向上
2	教職員の働き方改革	・教職員の勤務状況調査 ・川越市立学校の教職員の負担軽減検討委員会の開催 ・統合型校務支援システムの活用 ・スクール・サポート・スタッフの配置	学校管理課			
3	学校運営方針の策定(市立川越高等学校)	・部活動外部指導者導入事業 ・スクールカウンセラー配置事業	学校管理課			(2) 魅力ある市立川越高等学校づくりの推進
4	教職員研修の充実(市立川越高等学校)	・教員進学指導力向上研修	学校管理課			
5	教育環境の改善(市立川越高等学校)	・トイレ改修工事等	学校管理課			(3) 市立特別支援学校の充実
6	市立特別支援学校の整備・充実	・教育環境の整備・充実 ・教職員の専門性向上 ・センター的機能の活用	市立特別支援学校			
1	大規模改造工事(小・中学校)	・学校施設の屋上防水及び外壁等の改修	教育財務課	6	学びを支える教育環境の整備・充実	(1) 学校施設等の整備・充実
2	トイレ改修工事(小・中学校)	・老朽化しているトイレの改修 ・便器の洋式化	教育財務課			
3	重要設備更新(小・中学校)	・受変電設備改修工事 ・受水槽設備改修工事 ・エレベーター改修工事	教育財務課			
4	特別教室空調設備設置工事(小・中学校)	・特別教室等への空調設備の計画的な導入	教育財務課			
5	外壁全面点検(小・中学校)	・赤外線やドローン等を活用した校舎の外壁全面点検の実施	教育財務課			
6	学校関連施設における蛍光灯照明器具のLED改修	・蛍光灯照明器具のLED改修	教育財務課			
7	市立小・中学校の適正規模・適正配置	・川越市立小中学校の在り方検討委員会の開催 ・市立小中学校の適正規模・適正配置の検討	学校管理課			(2) 小・中学校の適正規模・適正配置

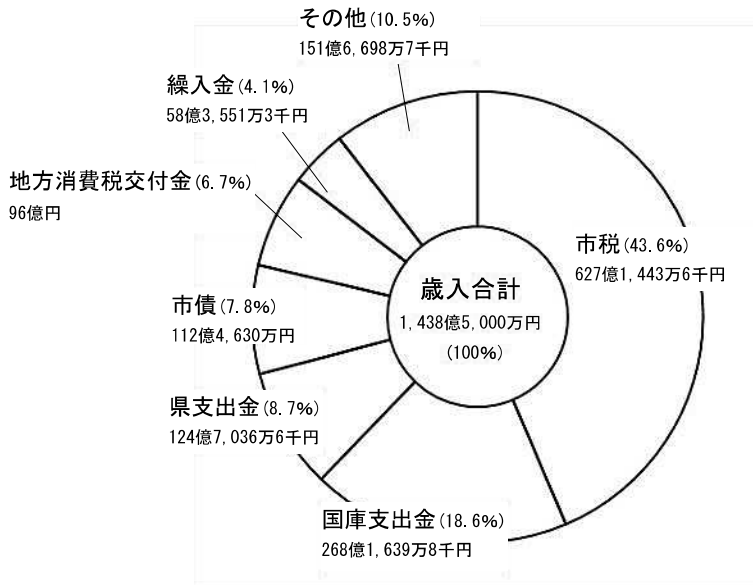
I 教育行財政 令和8年度教育行政方針に係る主要な事業等

No.	主要な事業等	具体的な取組内容の例	担当課	(参考) 第四次川越市教育振興基本計画における位置づけ		
				施策	施策の柱	
8	給食内容の充実	・地場産農産物を活用した新たな献立作成 ・食物アレルギー対応食の提供	学校給食課	6	学びを支える教育環境の整備・充実	(3) 学校給食の充実
9	学校給食施設の整備	・施設の改修と設備の修繕等を計画的に推進 ・給食センターに求められる機能や役割について検討	学校給食課			
10	防災教育	・児童生徒の防災意識を高めるための避難訓練の実施（市立学校全校） ・地震や火災、水害等を想定した避難訓練の実施による防災マニュアルの改善（市立学校全校） ・防災教育に係る研修会の実施	教育指導課			(4) こどもたちの安全・安心の確保
11	学童保育事業	・学童保育室の増室 ・学童保育室の改修工事（トイレ・空調・保育室）	教育財務課			
1	家庭教育の支援	・小学校において実施する「親の学習講座」の講師派遣 ・PTAにおいて実施する「家庭教育学級」の講師に係る財政支援等	地域教育支援課	7	家庭・地域の教育力の向上	(1) 家庭や地域への支援
2	コミュニティ・スクール	・管理職等を対象にした研修会の開催 ・かわごえミドルリーダー研修会の開催	学校管理課			(2) 家庭・地域・学校の連携・協働
3	子どもサポート事業	・川越・地域子どもサポート推進事業 ・「学校・家庭・地域連携啓発」に関わる研修会	地域教育支援課			
4	放課後子供教室	・放課後子供教室の拡充	地域教育支援課			
5	部活動の地域連携・地域展開	・市内のスポーツ団体や文化団体等との連携及び協力体制の構築 ・地域連携及び地域展開に向けた制度整備	教育指導課			
6	部活動指導員等の配置の拡充	・人材確保のための広報活動	教育指導課			
1	多様な学習機会の提供	・ライフステージにおける課題や現代的課題の学習機会の提供	中央公民館	8	生涯学習活動の推進	(1) 市立公民館の充実
2	大規模改修工事（公民館）	・公民館施設の修繕や施設設備の更新等	中央公民館			(2) 市立図書館の充実
3	市民のニーズに応える資料の充実	・図書等選書（図書館資料の購入・装備、電子書籍コンテンツの購入）及び資料管理	中央図書館			
4	地域資料のデジタル化	・デジタルアーカイブの充実	中央図書館			
5	電子書籍の充実	・電子書籍の貸出	中央図書館			
6	中央図書館大規模改修	・施設・設備の改修等	中央図書館			
7	図書館職員の学級訪問等の充実	・小学校の対象学級へ訪問し、図書館の利用指導及びブックトークを実施	中央図書館			

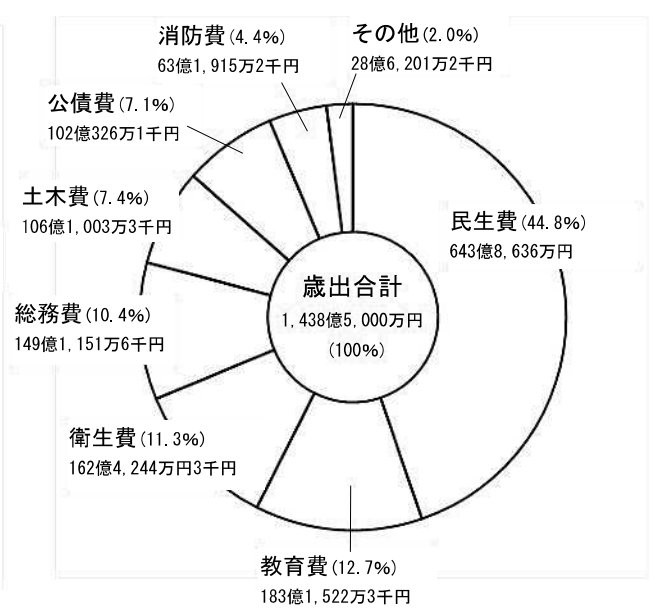
No.	主要な事業等	具体的な取組内容の例	担当課	(参考) 第四次川越市教育振興基本計画における位置づけ			
				施策	施策の柱		
8	ブックスタート事業の推進	・4か月健診対象者に対し、絵本等を組み合わせたブックスタートパックの配布 ・図書館職員による絵本等に関する説明の実施	中央図書館	8	生涯学習活動の推進	(2)	市立図書館の充実
9	展示事業	・常設・企画展示等の企画・運営 ・情報発信の推進及びデジタルアーカイブの整備	博物館			(3)	市立博物館の充実
10	施設設備の整備	・博物館施設設備整備（照明機器更新等）	博物館				
11	蔵造り資料館耐震化事業	・店蔵工事	博物館				
12	人権教育の充実	・PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会 ・人権教育実践報告会 ・人権啓発資料の作成	地域教育支援課			(4)	人権教育の推進
13	人権教育推進事業	・委嘱校及び委嘱公民館との連携	地域教育支援課				
1	無形民俗文化財の後継者育成支援	・無形民俗文化財の後継者育成支援	文化財保護課	9	文化財の保存と活用	(1)	文化財の保存と活用
2	河越館跡の整備・活用	・「（仮称）河越館跡第2期整備基本計画」の検討 ・史跡見学会等を通じた情報発信	文化財保護課				
3	山王塚古墳の整備・活用	・「（仮称）山王塚古墳保存活用計画」の策定 ・国指定に伴う環境整備等 ・史跡見学会等を通じた情報発信	文化財保護課				
4	川越市文化財保存活用地域計画	・文化財保存活用支援団体への指定の検討 ・文化財保存活用地域計画推進に伴う調査	文化財保護課				
5	児童生徒への積極的な学習機会の提供（出前授業等）	・市内外学校等の博物館利用の受け入れ ・市内学校への訪問授業	文化財保護課			(2)	地域の歴史や伝統文化の継承

教育財政

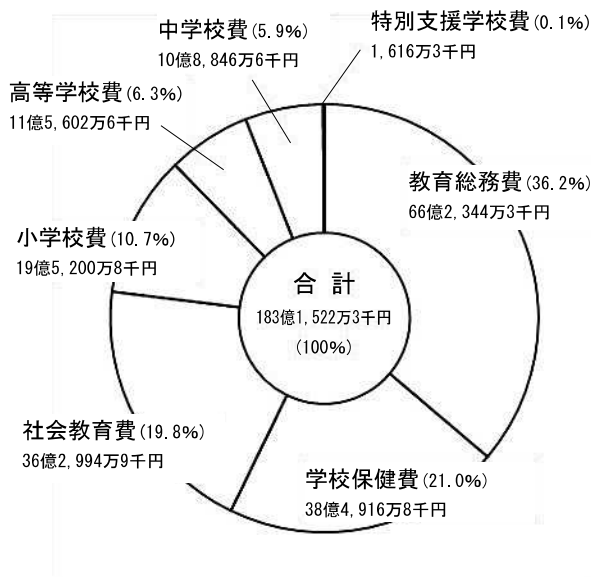
令和8年度 川越市一般会計歳入（当初予算）



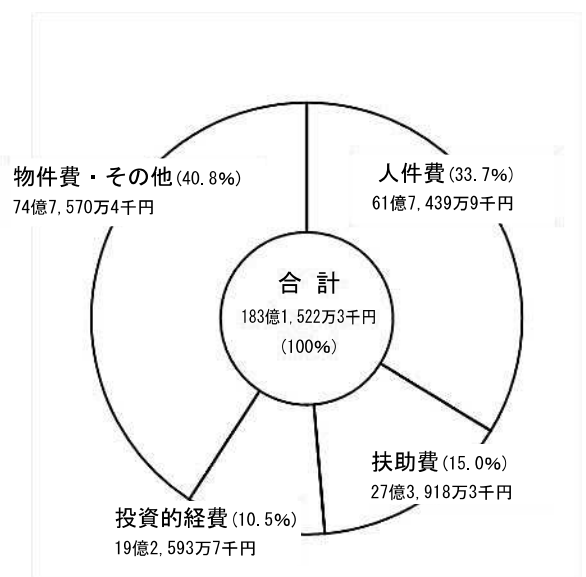
令和8年度 川越市一般会計歳出（当初予算）



令和8年度 教育費目的別当初予算の構成



令和8年度 教育費性質別当初予算の構成



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

Ⅰ 教育行財政 令和8年度並びに令和7年度教育費当初予算（歳出）

令和8年度並びに令和7年度教育費当初予算（歳出）

（単位：千円・％）

費 目		令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	比較増減額	対前年度増減率
一 般 会 計 総 額		143,850,000	136,970,000	6,880,000	5.0
教 育 費 総 額		18,315,223	17,114,822	1,200,401	7.0
項	目				
1. 教 育 総 務 費		6,623,443	4,192,646	2,430,797	58.0
	1. 教 育 委 員 会 費	4,537	4,518	19	0.4
	2. 事 務 局 費	3,825,362	2,087,072	1,738,290	83.3
	3. 幼 稚 園 費	2,783,005	2,090,428	692,577	33.1
	4. 諸 費	10,539	10,628	△ 89	△ 0.8
2. 小 学 校 費		1,952,008	3,255,505	△ 1,303,497	△ 40.0
	1. 学 校 管 理 費	1,129,458	1,065,539	63,919	6.0
	2. 教 育 振 興 費	85,550	192,366	△ 106,816	△ 55.5
	3. 学 校 建 設 費	737,000	0	737,000	皆増
	4. 小学校体育館空調設備等整備費	0	1,997,600	△ 1,997,600	皆減
3. 中 学 校 費		1,088,466	1,611,172	△ 522,706	△ 32.4
	1. 学 校 管 理 費	868,622	969,774	△ 101,152	△ 10.4
	2. 教 育 振 興 費	111,544	169,598	△ 58,054	△ 34.2
	3. 学 校 建 設 費	108,300	0	108,300	皆増
	4. 中学校体育館空調設備等整備費	0	471,800	△ 471,800	皆減
4. 高 等 学 校 費		1,156,026	1,191,597	△ 35,571	△ 3.0
	1. 高 等 学 校 総 務 費	1,155,717	1,191,288	△ 35,571	△ 3.0
	2. 教 育 振 興 費	309	309	0	0.0
5. 特 別 支 援 学 校 費		16,163	11,641	4,522	38.8
	1. 特 別 支 援 学 校 費	16,163	11,641	4,522	38.8
6. 社 会 教 育 費		3,629,949	3,403,972	225,977	6.6
	1. 社 会 教 育 総 務 費	1,382,094	1,304,013	78,081	6.0
	2. 学 童 保 育 費	1,209,268	1,197,792	11,476	1.0
	3. 人 権 教 育 費	6,481	6,884	△ 403	△ 5.9
	4. 文 化 財 保 護 費	115,063	92,690	22,373	24.1
	5. 博 物 館 管 理 費	104,114	93,775	10,339	11.0
	6. 公 民 館 費	233,015	172,731	60,284	34.9
	7. 図 書 館 費	443,514	378,887	64,627	17.1
	8. 蔵造り資料館耐震化事業費	136,400	157,200	△ 20,800	△ 13.2
7. 学 校 保 健 費		3,849,168	3,448,289	400,879	11.6
	1. 学 校 保 健 総 務 費	873,629	845,134	28,495	3.4
	2. 学校給食センター管理費	2,975,539	2,603,155	372,384	14.3

I 教育行財政 児童生徒1人当たり教育費及び需用費・令和8年度主な事業

児童生徒1人当たり教育費及び需用費

(単位：円)

年度 種別	R5		R6		R7(決算見込み)		R8(当初予算)	
		左のうち 需用費		左のうち 需用費		左のうち 需用費		左のうち 需用費
小 学 校	65,679	30,480	67,124	31,674	62,285	30,268	70,724	34,995
中 学 校	101,545	35,195	132,000	40,579	133,674	38,244	102,420	44,940
市 立 高 校	822,485	51,670	1,076,730	46,134	1,194,147	42,314	1,405,982	73,119
特別支援学校	243,919	50,947	311,513	56,007	252,549	42,587	367,341	52,114

※教育振興費及び学校建設費等を除く

令和8年度 主な事業

- 〈新〉教育システム環境整備
- 〈新〉デジタルドリル・採点システム導入
- 〈新〉GIGAスクール構想学習者用コンピュータ更新
- 英語指導助手の配置
- スクールソーシャルワーカーの配置
- 〈新〉校内学習室支援員の配置
- 〈新〉小学校外壁等全面調査
- 水泳指導
- 〈新〉中学校外壁等全面調査
- 学校部活動地域連携・地域展開推進
- 〈新〉創立100周年記念式典
- 〈新〉トイレ改修
- 〈新〉多目的室耐震補強工事設計
- 学童保育室改修
- 文化財保存事業費補助金
- 公民館設備改修
- 中央図書館の建物等改修
- 蔵造り資料館店蔵耐震化
- 学校給食費無償化

1. 教育総務課 Tel : 049-224-6074

(1) 育英資金の貸付制度

【令和8年度事業予定】

- ・経済的に教育費などの支出が困難な方に、資金の貸付を行う。

対 象 者	次の条件を満たしている方 ・市内に引き続き6か月以上住所を有する方 ・高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・大学（短期大学を含む）・専修学校に入学する方、又は在学中の方 ・心身健全であり、かつ、学業成績の良好な方 ・学校長の推薦を受けられること			
貸付金額	区 分	貸 付 金 額		
	学 資 金（月 額）	高等学校 中等教育学校（後期課程に限る）・専修学校	国 公 立	13,000円
			私 立	20,000円
		高等専門学校		16,000円
		大学（短期大学を含む）		30,000円
	入 学 準 備 金	高等学校 中等教育学校（後期課程に限る）・専修学校	国 公 立	150,000円
			私 立	280,000円
		高等専門学校		160,000円
		大学（短期大学を含む）		360,000円
手 続	貸付を希望する方は、教育委員会が定める期間内に、所定の書類を用意して教育委員会へ提出する。			
償 還	貸付を受けた方が卒業して6か月は据置期間とする。 据置期間終了後、貸付期間の2倍の期間によって償還しなければならない。			

【令和7年度事業実績】

過去3年間の貸付状況

(単位：人・円)

年度 種別	R5		R6		R7	
	貸付者数	貸付金額	貸付者数	貸付金額	貸付者数	貸付金額
学 資 金	47(11)	15,072,000	49(13)	15,780,000	41(6)	12,396,000
入学準備金	13	3,760,000	7	1,910,000	6	1,710,000

() 内は新規・内数

（２）川越市大学奨学金支給事業

【令和８年度事業予定】

- ・学業成績が優秀な学生であって、経済的理由により大学（大学院及び短期大学を除く）における修学が困難なものに対して、奨学金を支給する。

申請対象者	次の条件をすべて満たしている方 ・申請時点において、市内に引き続き１年以上住所を有すること ・高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）の最終学年又は、高等専門学校第３学年に在学していて修業年限が４年又は６年の大学（大学院及び短期大学を除く）へ翌年４月に進学すること ・世帯全員の所得額の合計（世帯所得）が基準額未満（注1）であること ・高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）及び高等専門学校における全科目成績評価が３．５（５段階評価）以上であること（第１学年、第２学年、第３学年（１学期）の平均） ・学校長の推薦を受けられること		
支給金額 （注2）	区 分	支 給 金 額（上限）	
	学 資 金（月 額）	37,500円	
	入 学 準 備 金	200,000 円	
募集人数	５人程度		
選 考	第１次選考（書類審査）、第２次選考（個人面接）にて奨学生を決定		

（注１）世帯所得の基準額

世帯人数	２人	３人	４人	５人以上
世帯所得額	340 万円	380 万円	450 万円	490 万円

（注２）国の高等教育の修学支援新制度により入学金や授業料の減免を受ける方は、支援区分により支給金額が異なる。

【令和７年度事業実績】

過去２年間の支給状況

（単位：人・円）

年度 種別	R6		R7	
	対象者数	支給金額	対象者数	支給金額
学 資 金	18（８）	3,132,000	19（９）	2,490,000
入 学 準 備 金	5（３）	470,000	5（３）	480,000

※（ ）内は支給者数

※各年度に決定した奨学生に対する学資金の支給は翌年度予算による

（３）教育委員会の点検・評価

【令和８年度事業予定】

- ・計画期間が満了となった第三次川越市教育振興基本計画の施策や事務事業の取組状況について、点検及び評価を行い、目標の達成状況や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。また、その結果に関する報告書を作成・公表する。

【令和７年度事業実績】

- ・「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（令和６年度対象）」を発行し、ホームページに公開した。（９月）

（４）教育行政方針に係る主要な事業等

【令和８年度事業予定】

- ・新年度の教育行政の執行に当たり、特に注力する「第四次川越市教育振興基本計画」（令和８年度～令和１２年度）を踏まえた主要な事業等について、教育行政方針により示し、公表している。

【令和７年度事業実績】

- ・「令和８年度教育行政方針に係る主要な事業等」をホームページに公開した。

（５）「川越市の教育」の発行

【令和８年度事業予定】

- ・本市の教育行政及び各教育機関の概要をとりまとめたもので、毎年７月に発行している。

【令和７年度事業実績】

- ・７月に発行し、関係機関へ配布した。（合計８２部発行）

(1) 就学援助

【令和8年度事業予定】

- ・経済的な理由により就学が困難な児童及び生徒の保護者に対して必要な援助を行うことによって、義務教育の円滑な実施に資する。

対象世帯	次の条件を満たしている世帯 ・令和8年度中に「生活保護が停止、または廃止」になった世帯 ・児童扶養手当法による「児童扶養手当」を受給中の世帯 ・生活保護世帯に準ずる程度に困窮している世帯			
援助内容	支給項目	支給金額（年額）		備 考
		小学生	中学生	
	新入学児童 生徒学用品費等	64,300 円	81,000 円	1年生で4月が認定月の方
	学用品費等	1年生：13,230 円	1年生：25,040 円	(年額)/12×該当月数分を支給
		2～6年生：15,500 円	2～3年生：27,310 円	
	校外活動費(泊有)	上限：3,690 円	上限：6,210 円	交通費・見学科が支給対象
	修学旅行費	対象経費の実費		団体行動以外の経費、アルバム代などは対象外
	学校給食費	実 費 (保護者負担分)		欠食等による減額分は対象外
	通学費	上限 40,020 円	上限 80,880 円	公共交通機関で通学区域外の特別支援学級に通学する場合のみ支給
医療費	医療券の交付 学校から治療の勧告を受けた指定の疾患のみ 平成30年度より要保護者及び被災者のみ		認定後の事務については 教育指導課で取り扱う	
手 続	就学援助の受給を希望する保護者は、教育委員会が定める申請書に必要事項を記入し、認定審査に必要となる書類を添付して教育委員会へ提出する。			

【令和７年度事業実績】

(単位：人・円)

	小 学 校		中 学 校		合 計	
	対象者	支給額	対象者	支給額	対象者	支給額
新入学児童生徒学用品費等	254	14,529,440	374	23,706,000	628	38,235,440
新入学児童生徒学用品費等 (差額支給分)	0	0	0	0	0	0
学用品費、通学用品費、校外活動 費(宿泊を伴わないもの)	2,271	29,300,145	1,364	31,127,165	3,635	60,427,310
校外活動費(宿泊を伴うもの)	301	1,105,786	0	0	301	1,105,786
修 学 旅 行 費	357	9,386,700	378	23,579,400	735	32,966,100
学 校 給 食 費	2,250	91,427,869	1,345	65,498,825	3,596	156,926,694
通 学 費	3	135,560	1	75,240	4	210,800
医 療 費	0	0	0	0	0	0
合 計		145,885,500		143,986,630		289,872,130

(2) 小中学校施設の大規模改造事業

【令和8年度事業予定】

- ・老朽化した学校施設の耐久性の向上を図るため、大規模改造工事等を計画的に実施する。

事業名	学校名	主な改修内容
大規模改造工事	霞ヶ関南小学校（校舎）	外壁の改修、屋上防水の改修、 体育館の改修
	南古谷中学校（体育館）	
トイレ改修工事	牛子小学校、高階小学校、高階南小学校、 高階北小学校、寺尾小学校、福原小学校、 名細小学校	大便器の洋式化、床の乾式化、 配管の改修
	東中学校、高階中学校	

【令和7年度事業実績】

事業名	学校名	主な改修内容
大規模改造工事	川越小学校	外壁の改修、屋上防水の改修
	芳野中学校、南古谷中学校、鯨井中学校	
トイレ改修工事	川越第一小学校、仙波小学校、高階小学校、 高階南小学校、寺尾小学校、大東東小学校、 霞ヶ関小学校	大便器の洋式化、床の乾式化、 配管の改修
	霞ヶ関中学校	

（３）小中学校特別教室等の空調設備整備

【令和８年度事業予定】

- ・児童生徒の体調管理や熱中症対策等を目的として、小中学校特別教室等の空調設備の整備を推進する。

対 象	学 校 名
特別教室	城南中学校、芳野中学校、砂中学校、大東西中学校
体育館	令和７年度で市立小中学校の体育館空調整備は完了

【令和７年度事業実績】

対 象	学 校 名
特別教室	初雁中学校、富士見中学校、高階西中学校、霞ヶ関西中学校
体育館	<第２期>令和６年１２月～令和７年８月 継続事業 川越第一小学校、川越小学校、今成小学校、福原小学校、大東東小学校、霞ヶ関小学校、名細小学校 <第３期>令和７年９月～令和８年２月 継続事業 中央小学校、武蔵野小学校、新宿小学校、大塚小学校、泉小学校、月越小学校、芳野小学校、古谷小学校、南古谷小学校、高階西小学校、大東西小学校、霞ヶ関南小学校、霞ヶ関東小学校、霞ヶ関西小学校、川越西小学校、上戸小学校、広谷小学校、山田小学校
	<第２期>令和６年１２月～令和７年８月 継続事業 初雁中学校、野田中学校、芳野中学校、東中学校、南古谷中学校、高階西中学校、砂中学校、大東西中学校、霞ヶ関西中学校、川越西中学校、鯨井中学校

Ⅱ 学校教育 学校管理課

1. 学校管理課 Tel : 049-224-6109

(1) 校種間連携教育

【令和8年度事業予定】

- ・川越市の教育の一層の充実のため、小・中学校等の校種間連携を進める。
- ・教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するために、定期的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

【小中学校 グループ編成】

_____は令和8年度の委嘱校

型		中学校	小学校	地区	
一 小 一 中 型		<u>芳野中</u>	<u>芳野小</u>	芳野	
		<u>福原中</u>	<u>福原小</u>	福原	
		山田中	山田小	山田	
		大東西中	大東西小	大東	
		鯨井中	上戸小	名細	
		東中	古谷小	古谷	
	施 設 分 離 型	グループA	高階西中 寺尾中	高階西小 高階南小 寺尾小	高階
霞ヶ関中 霞ヶ関西中			霞ヶ関小 霞ヶ関南小 霞ヶ関西小	霞ヶ関	
霞ヶ関東中 川越西中			霞ヶ関東小 霞ヶ関北小 川越西小	霞ヶ関北 川鶴	
<u>名細中</u>			<u>名細小</u> <u>広谷小</u>	名細	
グループB		川越第一中	川越第一小 仙波小	本庁	
		初雁中	川越小 今成小		
		<u>富士見中</u>	<u>中央小</u> <u>月越小</u>		
		城南中	新宿小 大塚小		
		野田中	泉小		
		高階中	高階北小	高階	
		砂中	高階小		
		大東中	大東東小 武蔵野小		大東
		南古谷中	南古谷小 牛子小		南古谷

※1小1中型

➤地区内で唯一の小学校と中学校である、もしくは、進学先が当該中学校のみであるもの。

※施設分離型（グループA）

➤学校の位置関係上、分かれて進学（2中3小）もしくは、1つの中学校に進学するもの。

※施設分離型（グループB）

➤進学元の小学校が3校以上ある、もしくは、地区を越えて進学するもの。

【特別支援教育連携】

学校名
市立特別支援学校、初雁中、富士見中

※ 市立特別支援学校は、川越市の特別支援教育のセンターとして、他の小・中学校とも随時、必要に応じて連携する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・各学校が年度当初に計画を立て、年度末に報告を行い、PDCA サイクルによる継続的な改善を行った。また、この改善を受けて、小・中学校の 9 年間を見通した「目指す児童生徒像」の研究や、合間で教科等の研修を行うなど、教育課程の連携を中心とした実践段階への移行を進めた。

(2) かわごえミドルリーダー研修

【令和 8 年度事業予定】

- ・ミドルリーダーとして、教育に対する識見を高め、学校課題の分析と解決プランの立案、組織マネジメント、人材育成、危機管理等に必要な資質の向上を図ることを通して、学校運営を推進する人材を育成する。
 - ① 年間 9 回の研修を行う。2 年以上継続しての受講も可。
 - ② 各年度の研修参加人数は 15 人程度とする。

【令和 7 年度事業実績】

- ・年間 9 回の研修を実施し、16 人が参加した。

(3) オールマイティーチャーター配置事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・各学校の課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実やいじめの早期発見、学力向上に向け、こどもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・小学校 3 校に 3 人、中学校 8 校に 8 人、計 11 人を配置した。

(4) 地域人材活用事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、専門的知識を生かした多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ① 実施回数 181 回
- ② ご協力いただいた地域の方々 837 人
- ③ 事業の一例……読み聞かせ、農業体験・指導等

(5) 語学指導補助員（日本語指導）配置

【令和8年度事業予定】

- ・小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒等を対象に、語学指導補助員を派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解を深め、学校生活により順応させることを図る。

【令和7年度事業実績】

- ① 市内小・中学校に在籍する児童生徒144人に語学指導補助員22人を派遣した。
- ② 派遣回数は延べ1,238回であった。

2. 教育指導課 Tel : 049-224-5483

(1) 川越市中中学生社会体験事業

【令和8年度事業予定】

- ・キャリア教育の一環として、学校・地域・企業・行政などが連携・協力をしながら職場体験活動を実施し、学校から社会への移行のために必要な基礎的資質や能力の育成を図り、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力を育むことをねらいとする。

- ①実施対象・・・中学校1年生又は2年生の生徒
- ②実施場所・・・学区内の事業所を最優先とする。
- ③実施期間・・・各学校が設定した2～3日間

【令和7年度事業実績】

- ・市立中学校全22校中20校で実施した。(感染症の拡大により2校は中止)

(2) トップアスリートふれあい事業

【令和8年度事業予定】

- ・近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動、スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。

主な内容：走り方の指導、リレーに関する指導、長距離走の指導、走る遊びを取り入れたゲーム等

【令和7年度事業実績】

- ・実施校 市内小学校 5校(川越第一小、広谷小、仙波小、霞ヶ関東小、霞ヶ関北小)
- ・参加児童数 986人
- ・協力大学 東洋大学(陸上競技部 長距離部門・短距離部門)

(3) 川越市理科実験助手派遣事業

【令和8年度事業予定】

- ・理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。

(小学校15校、中学校7校を予定)

- ①理科の実験・実習の準備や補助
- ②理科室・理科準備室の整備等

【令和7年度事業実績】

- ・15人の理科実験助手を、小学校15校、中学校7校に配置した(重複有)。
- ・22校に各20日、合計440回の配置を実施した。1回の配置は4時間。

(4) 川越市中中学生学力調査

【令和8年度事業予定】

- ・義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各市立中学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。

- ①調査対象・・・各市立中学校の第3学年生徒全員
- ②調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語
- ③調査実施予定日・・・第1回9月3日、第2回10月6日、第3回11月9日

Ⅱ 学校教育 教育指導課

【令和7年度事業実績】

- ・第3学年を対象に、第1回調査を9月3日、第2回調査を10月2日、第3回調査を11月5日に実施した。

（５）学校図書館学校司書配置

【令和8年度事業予定】

- ・学校図書館教育の充実を図るために、学校司書を配置する。学校司書は、概ね以下の活動を行う。
 - ①学校図書館図書の受入れ・廃棄・配架・貸出し・返却等の事務
 - ②学校図書館の美化・整理事務
 - ③児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供
 - ④児童生徒や教職員への資料提供

【令和7年度事業実績】

- ・合計28人の学校司書を各市立小・中・特別支援学校の全校に配置した（重複有）。
- ・学校司書の研修会を年4回開催した。

（６）ネットパトロール事業

【令和8年度事業予定】

- ・各市立学校を対象に、児童生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をするとともに、24時間体制でいじめ等の相談や情報提供を受け付けるインターネット上の窓口を開設し、適切に対処する。
- ・学習者用データを閲覧し、児童生徒及びその関係者の生命・心身・財産に対して脅威となるものや脅威につながる恐れのあるものを発見し、適切に対処する。

【令和7年度事業実績】

- ・各市立学校を対象に、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を通年で行った。
129件の報告（目視投稿件数16,924件）※学校に報告、指導・対応済み
＜内訳＞
 - 悩み（学校生活） 0件 いじめに関する投稿 0件
 - 不適切な内容（個人情報に関する内容） 129件
- ・各市立学校を対象とした学習者用コンピュータに関わるネットパトロールを行い、適切に対処した。

リスク4（いじめに繋がる記載があるもの）	・・・	24件
リスク3（いじめに繋がる恐れがある記載のあるもの）	・・・	116件
リスク2（学習に関連がなく、不適切な記載のあるもの）	・・・	50,306件
リスク1（問題のないもの）	・・・	300,202件

（７）学校教育の情報化の推進

【令和8年度事業予定】

- ・情報教育推進委員会等を通して、ICTを効果的に活用した授業等の実践を各市立小・中学校に展開する。
- ・教員のICT活用指導力を向上させ、ICTを活用した授業の実施を推進するため、管理職研修会やオンデマンド研修等、受講対象者に合わせた研修を実施する。
- ・国の計画で示されている内容に基づき、学習者用コンピュータの更新、デジタルドリルや採点システムの導入を行うとともに、新規に整備するICT機器の選定やネットワークのセキュリティ対策について検討する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・リーディング DX スクール事業において、指定校（市立小学校 1 校・市立中学校 1 校）を指定し、ICT を効果的に活用した実践事例の創出を行った。9 本の ICT を活用した授業動画と 1 本の有識者を講師に迎えた研修動画を県内及び市内学校に対して公開し、実践内容の展開を図った。
- ・ICT を効果的に活用した授業が行われるよう、管理職研修会、キックスタートプログラムコア研修会、オンデマンド研修会等を実施した。
- ・学校教育における情報機器の安定的な活用のため、GIGA スクール運営支援センターの整備・運用及び学習者用コンピュータの故障・破損時に対応を行った。
- ・学習者用コンピュータの活用を推進するため、川越市教職員専用「川越市 GIGA ポータルサイト」を運用し、活用事例やリーフレットの共有を図った。

（８）学校部活動の地域連携・地域展開の推進

【令和 8 年度事業予定】

川越市立中学校における部活動について、地域の人材を活用した指導体制の改善等の地域連携を充実させながら、休日の地域クラブ活動への展開を進めていく。

①川越市立中学校部活動指導員配置事業

川越市立中学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため、学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 78 条の 2 に規定する部活動指導員を配置する。

配置予定人数・・・22 人

②川越市立中学校部活動支援員配置事業

川越市立中学校における部活動に対し、専門的な指導が行える地域の人材を活用することで、生徒の自主的・主体的な活動の一層の充実及び教員の負担軽減を図るため、部活動支援員を配置する。

【令和 7 年度事業実績】

①部活動指導員配置事業

- ・配置人数 16 人（文化部 4 人 運動部 12 人）
- ・配置校 13 校（川越第一、初雁、富士見、野田、城南、東、高階西、砂、福原、大東西、川越西、名細、山田）
- ・配置部活動数 8（吹奏楽 [4 校]、女子バスケ、男子バスケ [2 校]、剣道 [3 校]、男子卓球、バドミントン、女子バレー [2 校]、サッカー）

②部活動支援員配置事業

- ・配置希望があった市立中学校 12 校に、17 人（文化部 4 人、運動部 13 人）を配置した。

（９）川越市立小学校水泳指導等業務委託

【令和 8 年度事業予定】

- ・より効率的で効果的な水泳指導をするため、一部の学校において、民間事業者への業務委託による水泳授業を行う。令和 8 年度は、4 施設 5 校での取組を行う。

施設 1・・・仙波小学校 全学年

施設 2・・・南古谷小学校 全学年

施設 3・・・新宿小学校 全学年、武蔵野小学校 全学年 [2 校同施設]

施設 4・・・上戸小学校 一部の学年

【令和 7 年度事業実績】※令和 5 年度から令和 7 年度までは、試行期間として実施

モデル 1・・・仙波小学校 全学年（延べ 2,924 人）

モデル 2・・・南古谷小学校 全学年（延べ 3,081 人）

モデル 3・・・新宿小学校 全学年（延べ 2,444 人） 武蔵野小学校 全学年（延べ 2,728 人）
[2 校同施設]

モデル 4・・・上戸小学校 一部の学年（4・5 年 延べ 652 人）

Ⅱ 学校教育 教育指導課

学校保健

①令和８年度 学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(４月～６月)
○ 児童生徒心臓検診	(４月～６月)
○ 教職員健康診断	(４月～８月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(４月～３月)
○ 学校飲料水検査	(５月)
○ B型肝炎予防接種（養護教諭）	(６月～３月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期６月～１０月、後期１月～２月)
○ 学校プール水質検査	(６月～８月)
○ 川越市学校保健会総会	(７月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(７月～９月)
○ 教室等の空気検査	(７月～８月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(６月～７月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(９月)
○ 砂場の細菌検査	(９月～１０月)
○ 就学時健康診断	(１０月～１１月)
○ 歯科保健指導	(１０月～１月)
○ 歯科保健指導者研修会	(１１月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(１月)
○ 学校保健会理事会	(３月)

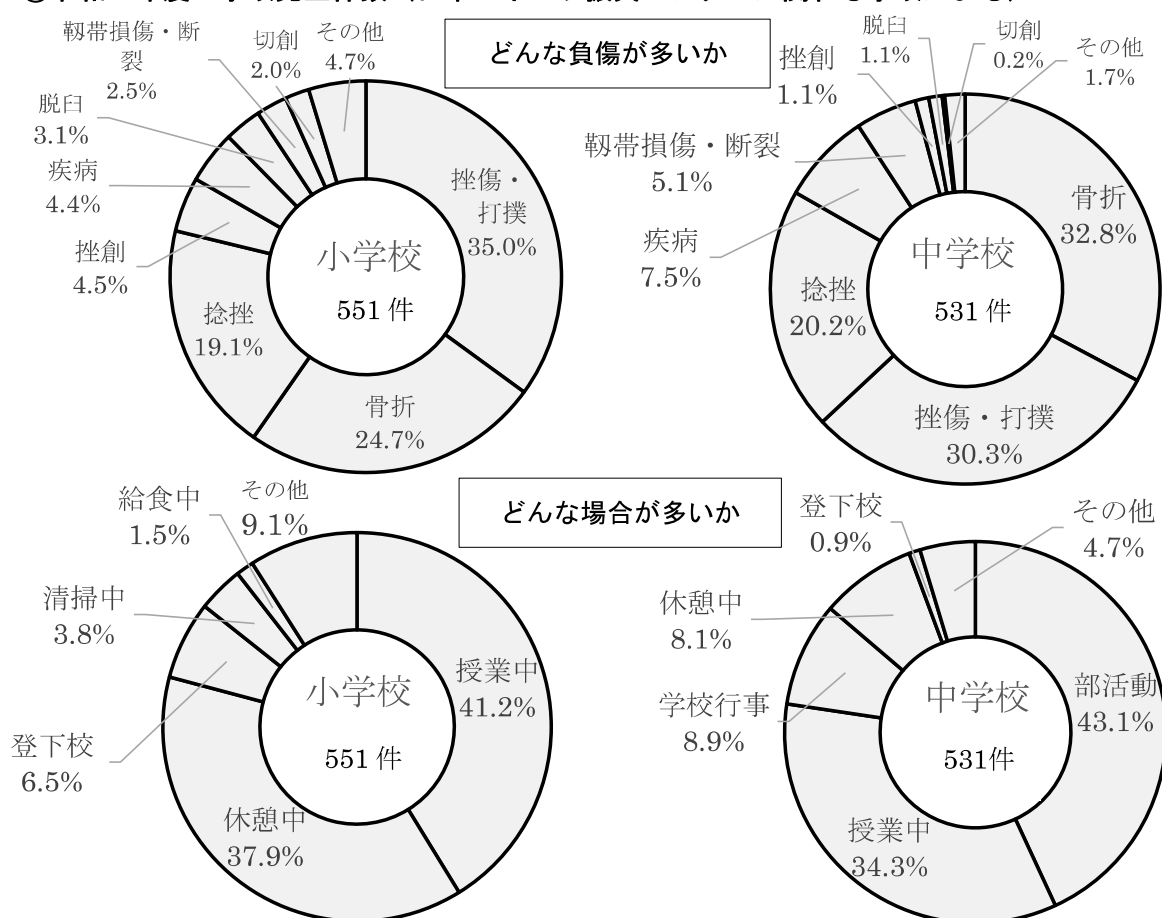
②令和７年度 日本スポーツ振興センター災害共済給付状況（医療費）

(単位：円)

月別	小学校		中学校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額		
4	98	881,283	80	754,318	0	0	178	1,635,601
5	69	322,704	84	1,177,325	7	39,340	160	1,539,369
6	95	473,264	90	432,959	21	683,595	206	1,589,818
7	86	430,539	101	886,209	4	38,008	191	1,354,756
8	82	590,900	102	1,026,024	22	234,035	206	1,850,959
9	16	91,044	49	411,205	10	69,984	75	572,233
10	87	617,147	111	1,241,098	19	86,092	217	1,944,337
11	62	805,305	86	1,302,231	15	64,687	163	2,172,223
12	74	626,250	66	654,622	5	29,628	145	1,310,500
1	74	607,492	69	517,533	10	50,954	153	1,175,979
2	73	556,288	69	375,465	22	542,190	164	1,473,943
3	91	684,231	115	1,088,880	8	27,917	214	1,801,028
計	907	6,686,447	1,022	9,867,869	143	1,866,430	2,072	18,420,746

※令和６年度給付総計 2,409件 19,261,137円
 令和５年度給付総計 2,522件 18,015,272円
 令和４年度給付総計 2,571件 21,695,866円
 令和３年度給付総計 2,480件 20,736,509円
 令和２年度給付総計 2,285件 17,575,461円

③令和7年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターに関わる事故による）



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

Ⅱ 学校教育 教育指導課

④児童生徒の体位（令和 7 年度）

市 県 学 校 性 別 学 年 別			身長（cm）				体重（kg）			
			市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値
男	小学 校	1	116.3	4.9	117.2	116.7	21.3	3.4	21.6	21.4
		2	122.3	5.5	122.7	122.6	24.2	4.6	24.4	24.2
		3	128.2	5.6	128.7	128.5	27.7	6.0	27.8	27.6
		4	133.9	5.9	134.4	134.0	31.5	7.1	31.7	31.2
		5	139.4	6.3	139.9	139.7	34.9	7.8	35.3	35.2
		6	145.5	7.5	146.1	146.0	39.4	9.8	39.7	39.6
	中学 校	1	153.0	8.1	153.7	154.0	44.5	10.1	44.7	45.3
		2	160.6	7.8	161.0	161.1	50.3	11.6	49.7	50.5
		3	165.7	6.4	166.3	166.1	54.8	10.5	55.5	55.0
	高 校	1	166.3	—	168.0	168.6	56.0	—	58.9	59.0
		2	169.9	—	170.0	169.9	60.9	—	61.2	60.5
		3	170.3	—	171.0	170.8	61.9	—	62.0	62.2
	特別 支援	1	163.4	—	—	—	52.9	—	—	—
		2	170.0	—	—	—	60.2	—	—	—
		3	170.9	—	—	—	60.9	—	—	—
女	小学 校	1	115.2	4.9	116.2	115.8	20.9	3.3	21.1	21.0
		2	121.2	5.4	121.9	121.8	23.7	4.3	23.8	23.7
		3	127.7	5.7	127.9	127.7	27.1	5.2	27.1	26.9
		4	133.7	6.4	134.3	134.1	30.7	6.3	30.6	30.5
		5	140.6	6.9	141.5	141.1	34.9	7.9	35.3	35.0
		6	147.3	6.6	148.6	147.8	39.9	8.1	40.8	40.1
	中学 校	1	151.7	5.9	152.4	152.3	44.2	8.3	44.5	44.4
		2	154.9	5.5	155.2	155.0	48.1	8.5	47.7	47.5
		3	156.4	5.3	156.6	156.4	50.1	7.9	49.9	49.6
	高 校	1	156.7	—	157.2	157.1	52.1	—	51.6	51.1
		2	156.0	—	157.7	157.7	53.4	—	52.0	52.0
		3	155.1	—	158.0	158.0	51.6	—	53.1	52.5
	特別 支援	1	156.1	—	—	—	53.1	—	—	—
		2	153.7	—	—	—	54.4	—	—	—
		3	152.0	—	—	—	49.9	—	—	—

※県、全国の平均値は、令和 6 年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の一部を抽出。

※市の平均値については、令和 7 年度のもの。

⑤児童生徒の「新体力テスト」平均値

(令和7年度)

種目名	学校		小学校						中学校		
	学年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走 (秒)	川越市	男子	11.69	10.82	10.26	9.84	9.38	9.00	8.67	7.93	7.53
			埼玉県	11.60	10.76	10.21	9.78	9.40	8.96	8.59	7.91
	埼玉県	女子	11.99	11.22	10.67	10.18	9.68	9.36	9.17	8.80	8.73
			川越市	11.92	11.14	10.58	10.10	9.65	9.26	9.11	8.78
立ち幅とび (cm)	川越市	男子	112.72	124.67	133.83	141.20	150.72	160.33	179.50	197.78	213.02
			埼玉県	115.44	127.13	137.29	146.06	154.62	165.61	182.65	202.31
	埼玉県	女子	104.87	115.22	125.92	133.29	144.19	150.88	160.78	169.06	171.99
			川越市	107.86	118.36	128.80	138.31	147.48	156.33	165.39	173.47
ボール投げ (m)	川越市	男子	7.86	10.90	13.85	16.91	19.58	22.76	16.98	20.46	23.14
			埼玉県	8.11	11.03	14.14	17.17	20.03	23.34	17.83	21.49
	埼玉県	女子	5.43	7.02	9.05	10.93	12.71	14.33	10.80	12.77	13.68
			川越市	5.70	7.32	9.29	11.18	13.18	15.04	11.68	13.58
握力 (kg)	川越市	男子	8.57	10.17	11.74	13.36	15.57	18.64	23.62	29.57	34.77
			埼玉県	8.82	10.47	12.09	13.98	15.97	18.85	23.55	29.57
	埼玉県	女子	8.03	9.41	11.34	12.78	15.44	18.36	21.68	24.32	25.75
			川越市	8.35	9.90	11.51	13.38	15.85	18.77	21.42	24.09
上体起こし (回)	川越市	男子	11.82	15.34	17.22	19.13	20.50	22.37	24.27	27.98	29.98
			埼玉県	12.38	15.62	17.82	19.67	21.39	22.94	24.81	28.39
	埼玉県	女子	11.11	14.59	16.42	18.20	20.05	20.92	21.33	24.09	24.99
			川越市	11.77	14.92	17.05	18.86	20.59	21.66	22.15	24.67
長座体前屈 (cm)	川越市	男子	26.21	28.31	31.00	31.94	34.08	36.85	41.43	46.73	50.64
			埼玉県	27.18	29.12	31.26	33.22	35.50	37.99	43.55	49.28
	埼玉県	女子	28.51	31.22	34.54	36.43	39.38	42.40	45.47	49.31	51.48
			川越市	29.69	32.27	34.80	37.29	40.41	43.40	47.15	51.50
反復横とび (点)	川越市	男子	26.58	30.31	33.69	39.00	41.76	45.04	46.10	50.82	52.67
			埼玉県	28.09	32.25	35.73	39.83	43.40	46.22	48.37	52.47
	埼玉県	女子	25.40	28.41	31.93	36.25	39.81	42.13	42.41	44.99	45.47
			川越市	26.67	30.34	33.69	37.69	41.36	43.78	44.67	46.84
20mシャトルラン (回)	川越市	男子	19.17	29.19	36.11	44.47	50.96	57.70	—	—	—
			埼玉県	21.04	31.12	39.00	45.99	52.38	58.81	—	—
	埼玉県	女子	16.52	22.77	27.23	35.07	41.52	44.98	—	—	—
			川越市	17.57	24.30	29.78	35.81	42.18	46.65	—	—
持久走 (秒)	川越市	男子	—	—	—	—	—	—	7分06秒	6分33秒	6分17秒
			埼玉県	—	—	—	—	—	7分07秒	6分32秒	6分17秒
	埼玉県	女子	—	—	—	—	—	—	5分10秒	4分57秒	4分54秒
			川越市	—	—	—	—	—	5分10秒	4分55秒	4分55秒

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。

※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

Ⅱ 学校教育 学校給食課

3. 学校給食課 Tel : 049-223-6035

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
菅間学校給食センター	菅 間 1 8 - 9	223-3038	223-0935	平成 17 年
菅間第二学校給食センター	菅 間 1 8 - 1	229-6670	229-5105	平成 29 年
今成学校給食センター	今 成 2 - 3 5 - 5	223-0891	226-4556	昭和44年 ※H5 改築

令和 8 年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(令和 8 年 5 月 1 日現在)

センター名	給食数	小・中別	対 象 校
菅間学校給食センター (※給食規模：12,000食)	10,517食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校給食センター (※給食規模：12,000食)	6,603食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
	4,660食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・寺尾・砂・福原・山田・特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模：6,000食)	4,526食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井
合 計	26,306食	55 校	

(1) 学校給食・食育の充実

① 食育の推進

【令和 8 年度事業予定】

- ・児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・給食内容や食生活指導等を中心とした「給食だより」を発行し、家庭と連携した食育の指導の推進を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・小学校 2 年生延べ 5, 1 6 6 人を対象に、食に関する指導を行った。
- ・学校からの依頼により授業での食に関する指導、給食指導、保健委員会講話等を計 3 4 6 回実施した。
- ・「給食だより」を年 4 回発行した。

② 給食内容の充実

【令和 8 年度事業予定】

- ・「学校給食摂取基準」を基に学校給食の提供を実施し、栄養バランスの取れた献立内容の充実を図る。
- ・安全な食材の確保に努め、よりよい学校給食の提供を行う。
- ・川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。
- ・アレルギー対応食について、安全で確実な実施体制を保持し、内容の充実を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・川越産米を約 2 4 5 t 使用した。(使用割合 1 0 0 %)
- ・米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、人参、枝豆、とうもろこしなど 1 8 品目の川越産農産物を使用した。
- ・アレルギー対応食の申請を児童 9 1 人、生徒 2 5 人から受けて対応した。(令和 7 年 5 月 1 日時点)

③ 試食会

【令和 8 年度事業予定】

- ・児童生徒の保護者等に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・3 6 回の開催で 7 1 9 人が参加した。

④ 学校給食施設の整備

【令和 8 年度事業予定】

- ・P F I 方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査する。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの適切な維持管理を行い、安全・安心な学校給食の提供を行う。
- ・菅間学校給食センターの厨房設備改修工事及び冷暖房設備改修工事を実施する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・P F I 方式で整備した菅間第二学校給食センターの維持管理状況について検査を行った。
- ・菅間学校給食センターの厨房設備改修工事及び冷暖房設備改修工事設計業務委託を実施した。

⑤ 食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

【令和 8 年度事業予定】

- ・安全・安心でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について市民の皆様に更に安心していただくため、食材用の放射能検査機器を用いて、小学校（菅間 A ブロック）、中学校（菅間第二 C ブロック）の 1 食分完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・学期に 1 回、小学校（菅間 A ブロック）、中学校（菅間第二 C ブロック）の 1 食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出であった。

Ⅱ 学校教育 学校給食課

学校給食費

- ・学校給食費は、令和8年度から、市立小学校所属の児童並びに市内在住の市立中学校及び特別支援学校の生徒を対象に無償化し、教職員等については、実費徴収金として金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、徴収している。

① 学校給食費（令和8年度）

区 分	月 額	年 額	徴収月数	給食日数	1食当たり単価	備 考
小学校	5,200円	57,200円	11か月	188日	304円25銭	令和8年4月改定
中学校 特別支援学校	6,300円	69,300円	11か月	189日	366円66銭	令和8年4月改定

※令和8年4月に小学校分を4,350円から5,200円に、中学校分及び特別支援学校分を5,250円から6,300円に改定したものです。

② 1食当たり単価（令和7年度実績・保護者負担額）

令和7年度1学期

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計
小学校	71円39銭	200cc 64円87銭	118円26銭	254円52銭
中学校 特別支援学校	90円50銭	200cc 64円87銭	150円18銭	305円55銭

令和7年度2・3学期（2分の1減額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計
小学校	38円44銭	200cc 32円43銭	56円39銭	127円26銭
中学校 特別支援学校	47円76銭	200cc 32円43銭	72円58銭	152円77銭

令和7年度 賄材料費 実際の単価

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計
小学校	74円88銭	200cc 64円87銭	167円55銭	307円30銭
中学校 特別支援学校	93円66銭	200cc 64円87銭	229円03銭	387円56銭

学校給食摂取基準

- ・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は令和3年4月に改定され、次のように定められている。

区 分	小 学 校 児 童 の 場 合			中学校生徒の場合
	低学年（6～7 歳）	中学年（8～9 歳）	高学年（10～11 歳）	
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%			
ナトリウム（食塩相当量）(g)	1.5 未満	2 未満	2 未満	2.5 未満
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
カルシウム (mg)	290	350	360	450
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μg RAE)	160	200	240	300
ビタミンB ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4 以上	4.5 以上	5 以上	7 以上

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜鉛……………児童(6～7 歳)2 mg・(8～9 歳)2 mg・(10～11 歳)2 mg、生徒(12～14 歳)3 mg

4. 市立川越高等学校 Tel : 049-243-0800

- (1) 名称 川越市立川越高等学校
 (2) 所在地 旭町2-3-7 (電話 049-243-0800・ファクス 049-247-6828)
 (3) 沿革

市立川越高等学校は、大正15年に埼玉県川越商業学校として開校以来、校名変更、学科転換等の変遷を辿りながら着実な歩み続け、今年度に創立100周年を迎えることになった。なお、現校名と現学科は、平成14年度からの名称である。

近年、普通科では、大学・短大の現役進学率が74%前後を維持している。また、商業系学科(情報処理科・国際経済科)では、商業高等学校の時代から引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

また、卒業生は、2万7千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

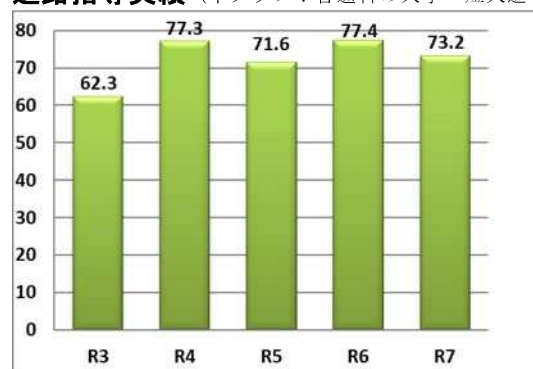
(1) 進路希望の実現

【令和8年度活動予定】

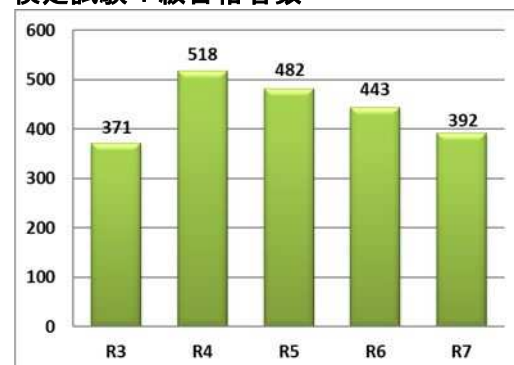
- ・平成24年度の1年生から導入したすべての学科の35人少人数学級編制及び入学者選抜における「地域特別選抜」を引き続き実施する。
- ・3年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人ひとりにきめ細かな学習指導を実施する。

【令和7年度活動実績】

進路指導実績 (下グラフ：普通科の大学・短大進学率)



検定試験1級合格者数



○主な進学先(令和8年3月実績)

埼玉県立大、学習院大、法政大、明治学院大、獨協大、國學院大、武蔵大、日本大、東洋大、駒澤大、専修大、大東文化大、亜細亜大、帝京大、国土館大、拓殖大、東京電機大、東京農業大、東京経済大、東京国際大、順天堂大、日本体育大、淑徳大、埼玉医科大、日本栄養大、埼玉医科大短大部、武蔵丘短大、他

検定種目(8種)：簿記、情報処理(ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、電卓、英語、商業経済、財務諸表分析

○主な就職先(令和8年3月卒)

内閣府、法務省、財務省、警察庁、衆議院事務局、参議院事務局、裁判所事務局、警視庁、東京消防庁、(株)東和銀行、(株)足利銀行、西武鉄道(株)、本田技研工業(株)、山王テック(株)、東洋水産(株)、(株)シード、トーヨーケム(株)、(株)日立システムズパワーサービス、日販ビジネスパートナーズ(株)、埼玉トヨペット(株)、他

(2) 部活動の充実

【令和8年度活動予定】

- ・現在、運動部と文化部合わせて、33の部活動が活動している。生徒が主体性を持ち、積極的に活動できるように、外部指導者を活用するなど、充実した指導を行っていく。

【令和7年度活動実績】

・運動部

① 野球部

令和7年度春季埼玉県高等学校野球大会 ベスト4

② バレーボール部（女子）

関東女子バレーボール大会 埼玉県予選会 ベスト4

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選会 ベスト4

全日本バレーボール高等学校選手権大会 埼玉県予選会 第3位

③ バスケットボール部（女子）

関東高等学校体育大会 埼玉県予選会 第7位

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選会 第5位

ウィンターカップ 埼玉県予選会 第5位

④ 柔道部（女子）

関東高等学校柔道大会 埼玉県予選会 団体試合 第5位

関東高等学校柔道大会 東京大会 団体試合 出場

関東高等学校選抜大会 埼玉県予選会 女子個人試合 第3位

⑤ 体操部

関東高等学校体操競技選手権大会 埼玉県予選会 男子団体 第6位

全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選会 男子団体 第6位

埼玉県高等学校体操競技新人大会 男子団体 第5位

⑥ チアダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2025 全国大会 第3位

全日本チアダンス選手権大会 全国大会 第8位

・文化部

① ビジネス部

全国高等学校ビジネス計算競技大会 埼玉県予選会

個人総合競技 2等2席 及び 種目別競技 3等1席 1人

全国高等学校ビジネス計算競技大会 総合競技・個人別競技 出場

② O A 部

全国高等学校ワープロ競技大会 埼玉県予選会 団体の部 優良賞

全国高等学校ワープロ競技大会 埼玉県予選会 個人の部 2位2席 1人、正確賞 1人

全国高等学校ワープロ競技大会 個人の部 出場

（3）小中高連携の推進

【令和8年度活動予定】

- ・小中高連携を実施することで、異なる学校種の活動についての理解を深め、発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実を図る。また、地域と連携し、地域に貢献していきながら、魅力ある学校づくりを進めるとともに、その取組を周知していく。活動内容は、昨年度同様、各種取組を計画している。

【令和7年度活動実績】

- ・生徒会による高校生活紹介（Google Meetでの対応） 7月14日及び15日実施
鯨井、大東西、高階、高階西、寺尾、名細、東、山田、芳野 計9つの中学校が参加
- ・管理職による進路ガイダンス 城南中学校で実施
- ・管理職による学校説明会
福原、大東、南古谷、霞ヶ関、霞ヶ関東、初雁 計6つの中学校で実施
- ・中学校PTAが主催する学校見学説明会 山田中学校で実施
- ・小学生対象学校体験会 11月22日実施
体操教室、理科実験、パソコン教室、硬式テニス教室など高校で行われる授業等を提供した。
- ・小学校の町探検受入 12月12日実施 大塚小学校の児童を受け入れ

Ⅱ 学校教育 教育センター

5. 教育センター Tel : 049-235-7591

(1) 名 称 川越市立教育センター

(2) 所在地 川越市古谷上6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)

(3) 沿 革

昭和56年 8月1日 川越市立教育研究所準備室を設置する。

昭和61年 4月1日 川越市立教育研究所を開設する。

平成12年 4月1日 川越市教育総合相談センター（リバーラ）を開設する。

平成15年 4月1日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。

平成19年 4月1日 組織改編に伴い係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。

平成21年 4月1日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所施設とする。

平成22年 4月1日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リバーラ）を設置する。

平成27年 4月1日 いじめ相談直通電話を教育センター分室（リバーラ）から移設する。

令和元年10月1日 川越市立教育センター分室（リバーラ）を教育センター第一分室（リバーラ）とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。

(4) 業務内容

＜センター研修及び学校の要請に基づく研修に関すること＞

① 各経験者研修（臨時的任用教員研修、初任者研修、指導力スキルアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修）や各教科研修等の企画・運営

＜教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること＞

① 学力向上に関する調査・研究

② 小学校外国語活動・外国語科・中学校英語に関する調査・研究

③ 不登校に関する調査・研究

④ 特別支援教育推進に関する調査・研究

＜教育に関する資料の収集及び提供に関すること＞

① 図書、研究物の収集整理に関すること

② 学習指導関係資料の収集整理に関すること

③ 雑誌、パンフレット等の収集整理に関すること

④ 上記の資料等の利用、提供に関すること

（１）教職員の資質向上

【令和8年度事業予定】

・経験者研修、特定研修、専門研修等について、各教職員が資質向上を図ることができるようにするため、学校や社会、教職員のニーズ等を踏まえた内容の充実を図るとともに、研修履歴の記録を活用し、教職員が自らの学びを振り返り、必要な学びを主体的に行う「対話に基づく受講奨励」を実施する。

【令和 7 年度事業実績】

令和 7 年度川越市主催研修・埼玉県主催研修参加者一覧

	研修区分		研修概要	参加者数(人)
川越市主催	1	専門研修 (希望研修)	川越市の実態を踏まえ、各教科等において、専門的知識・技能の習得を図るとともに、幅広い実践的指導力の向上を目指す研修である。自らの資質向上のために希望して参加できる。	744
	2	経験者研修	教員の経験段階に応じて職務遂行に必要な知識・技能等の習得を図る研修である。	492
	3	特定研修 (指定)	教育活動の充実及び組織的・機能的な学校運営を図るため、指定された教員に対して実施する。担当者の職務遂行に必要な専門的知識・技能の習得を図ったり、川越市としての教育の在り方を担当者に伝達して各学校に広めたりする研修である。	2,125
	4	管理職等研修	校長、教頭等の管理職や管理職候補者を対象とした研修である。	115
	5	要請研修	学校の要請に応じて支援援助し、指導力の向上を図るための研修である。	1,396
	6	会計年度任用職員研修	川越市の会計年度任用職員が、職務を遂行するために必要な知識・技能等の習得を図るための研修である。	185
川越市合計				5,057
埼玉県主催	総合教育センター	特定研修（推薦）		19
		管理職研修（3事業）		26
		専門研修（希望）		7
		年次研修		11
		要請研修		0
		総合教育センター小計		63
	各課研修	人権教育課		117
		義務教育指導課		0
		高校教育指導課		0
		保健体育課		133
		特別支援教育課		12
		生徒指導課		56
		小中学校人事課		117
		県立学校部県立学校人事課		1
		教職員採用課		0
	各課小計		436	
埼玉県合計				499
川越市・埼玉県合計				5,556

※その他、県教委や民間等の研修に、本人の希望や市教委の推薦（又は選考）により参加する研修がある。

(2) 英語指導助手の配置事業の充実

【令和8年度事業予定】

- ・児童生徒の外国語でコミュニケーションを図る資質・能力の向上を育成するため、市立学校全校に英語指導助手を配置し、児童生徒が生きた英語に触れる機会を一層充実していく。
- ・英語指導助手と教員とのより良いチーム・ティーチング（共同授業）の実現や授業外での教育活動の充実に向けて、各学校を訪問して指導及び支援を進める。また、英語指導助手が日本の学校教育への理解を深めたり、授業での役割や児童生徒への効果的な働きかけ等について学んだりできるよう、研修会の充実を図る。
- ・児童生徒が自国や他国の言語や文化を理解し、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を身に付けることができるよう、川越市イングリッシュキャンプ等、児童生徒が生きた英語に触れ、英語を実践的に活用する機会の確保を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・現地2人、KET2人、JET10人、派遣契約17人の英語指導助手を配置した。

＜訪問実績＞

- ・英語指導助手31人
- ・英語指導助手との共同授業による1日平均授業時数（時間） 小学校 4.7 中学校 4.0
- ・英語指導助手の1校あたりの年間訪問日数（日） 小学校 101.6 中学校 72.4
- ・英語指導助手の年間訪問日数（日）
小学校 3,252 中学校 1,592 市立川越高等学校 116 市立特別支援 14 合計 4,974

英語指導助手配置状況の推移

（単位：人）

	H3	H4 ～ H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18 ～ H21	H22	H23	H24 ～ H25	H26	H27	H28 ～ H29	H30 ～ R2	R3	R4 ～ R7
JET	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	9	10
KET	2	3	5	5	6	7	7	8	10	8	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	4	5	3	4	4	5	5	3	2
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	9	11	13	14	—	—	—	—	—	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16	17	17	17	17	17
合計	3	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	22	23	24	30	31	31

※ JET（語学指導等を行う外国青年招致事業） KET（川越市姉妹都市交流事業） 現地（川越市在住外国人）

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	研究の内容	発表 予定日	研究主題
①川越第一小学校	確かな学力 の育成	11月13日	失敗をおそれず未来を切り拓く 「こえどっ子」の育成 ～挑戦～
②牛子小学校	確かな学力 の育成	2月5日	主体的な伝え合いを通して、協働的に学びを深める児童の育成
③高階西中学校	確かな学力 の育成	10月13日	ICTを活用し、川越市小・中学生学力向上プランで目指す 生徒の主体的・協働的で深い学びの実現 ～理解・共有、定着、深化のスパイラルにICTを～

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	研究の内容	研究主題
①南古谷小学校	確かな学力 の育成	非認知能力の育成を意識した国語科実践 ～非認知能力を高め、学力向上につなげるために～
②高階北小学校	豊かな心と 健やかな体 の育成	PBSでつくる 笑顔あふれる高北っ子の育成

委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の3校は令和7年度から令和8年度までの委嘱学校研究校、1年目の2校は令和8年度からの委嘱学校研究校

3. 文科学委託事業（埼玉県教育委員会再委託事業）

学校名	事業名
今成小学校	学校向上研究校指定事業（令和8・9年度）

Ⅱ 学校教育 教育センター

教育センター第一分室(リベール) 教育センター第二分室

- (1) ① 川越市立教育センター第一分室(リベール)
② 川越市立教育センター第二分室
 - (2) 所在地 ① 川越市の場2649-1(電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337)
② 川越市宮下町1-19-12(電話 049-224-7788)
 - (3) 沿革
昭和39年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。
昭和53年 中央小学校内に移設(川越小学校校舎改修のため)する。
昭和55年 初雁中学校内に移設(中央小学校校舎改修のため)する。
昭和56年 川越小学校内に移設(川越小学校新築に伴い)する。
昭和58年 電話相談室を川越小学校内に開設する。
平成元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。
平成6年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。
平成12年 川越市教育総合相談センター・リベールを開設する。
平成15年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。
平成18年 いじめ相談直通電話を開設する。
平成22年 川越市立教育センター分室(リベール)に名称を変更する。
平成25年 いじめ相談電子窓口を開設する。
平成27年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。
令和元年 川越市立教育センター分室(リベール)を教育センター第一分室(リベール)とし、あけぼの・ひかり児童園旧園舎に川越市立教育センター第二分室を設置する。
令和2年 川越市民サービスステーション(川越駅西口U-PLACE 3階)内に教育相談窓口を設置する。
 - (4) 設置の目的
児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
 - (5) 教育相談の内容等
 - ① 相談内容
○いじめ・不登校についての相談 ○友達等学校生活についての相談
○学習・発達についての相談 ○性格・行動・情緒についての相談
○言葉についての相談 ○療育・しつけ等についての相談
○非行・問題行動についての相談 ○就学に関する相談
 - ② 相談受理対象者
川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
 - ③ 相談日時
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
 - ④ 電話相談
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後4時)
 - ⑤ 教育支援室(つばさ教室)※小学生及び中学生対象教室
＜開設日及び開設時間＞
・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
・開設時間 午前9時30分～午後3時
＜通室までの手順及び手続き＞
・面接相談→体験通室→校長と相談のうえ申込→通室申請→通室決定
 - ⑥ 教育支援室(小学生学習支援室)
＜開設日及び開設時間＞
・開設日 月曜日から金曜日(祝休日を除く)
・開設時間 午前9時～正午
＜通室までの手順及び手続き＞
・面接相談→体験通室→校長と相談のうえ申込→通室申請→通室決定
- (川越市立教育センターにおいて開設)
- ① いじめ相談直通電話
月曜日から金曜日(祝休日を除く)、(受付時間 午前9時～午後5時)
土曜日・日曜日・祝休日(12月29日～1月3日を除く)、(受付時間 午前9時～正午)
 - ② いじめ相談電子窓口
川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

（１）不登校支援の推進**【令和８年度事業予定】**

- ・不登校児童生徒へのきめ細かな支援や対応として、「不登校児童生徒支援プラン」に基づき、さわやか相談員等の配置や学生支援員の派遣、教育支援室の充実、校内学習室の活用、不登校対策支援セミナーの開催等を実施する。
- ・校内学習室支援員を市内８校に配置し、不登校児童生徒の学びの保障と居場所を充実させる。
- ・川越市立川越第一中学校において、バーチャル登校をトライアル実施し、効果検証を行う。

【令和７年度事業実績】

- ・臨床心理士を週１回、教育センター第一分室（リバーラ）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施した。
- ・川越市いじめ・不登校対策検討委員会において、「校内学習室活用事例集２」を作成し、各市立小・中学校へ周知した。
- ・保護者向け「不登校対策支援セミナー」を３回開催し、不登校支援に造詣の深い児童精神科医、大学教授、臨床心理士を講師に招聘し、講演会や座談会を実施した。参加人数１０５人
- ・不登校の児童生徒に対し、県と共同主催メタバース事業を実施した。

（２）教育相談の充実**【令和８年度事業予定】**

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置予定の、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター第一分室（リバーラ）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的知識を有する人材を活用し、児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。
- ・スクールソーシャルワーカーを増員し、定期的な相談体制を整える。

【令和７年度事業実績】

- ・リバーラにおける教育相談は、延べ３，０２７件あった。そのうち面接相談の件数は、２，６７７件、電話相談１８８件、いじめ相談直通電話３０件、いじめ相談電子窓口１件、定期相談１３１件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、適切な相談活動を実施した。
- ・面接相談の場所別延べ件数は、教育センター第一分室（リバーラ）延べ１，６４７件、教育センター第二分室延べ９６５件、教育センター延べ３７件、川越市民サービスステーション延べ２８件だった。
- ・市内２１校に配置したさわやか相談員が、児童生徒、保護者等延べ１１，４８５人の相談に対応した。
- ・小・中学校に配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、延べ７，４５５回の相談を行った。

（３）特別支援教育の充実**① 一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実****【令和８年度事業予定】**

- ・令和８年度から令和１２年度までを計画期間とした「第二次川越市特別支援教育推進に関する計画」に基づき、インクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの整備や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図るため、学級運営支援員や特別支援教育支援員を配置するとともに、就学相談や特別支援教育に関する研修の充実に努める。

【令和７年度事業実績】

- ・各校からの報告によると、通常の学級に在籍する児童生徒の中で、いじめ及び不登校等生徒指導上の対応や、学習障害（ＬＤ）、注意欠如多動性障害（ＡＤＨＤ）、自閉スペクトラム（ＡＳＤ）などの発達障害等で個別の配慮や支援を必要としている児童生徒数は、年々増加している。
- ・通常の学級で配慮を要する児童生徒や、各学校の実態に応じて、学級運営支援員を配置した。
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は多い状況で、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

Ⅱ 学校教育 教育センター

② 就学支援の充実

【令和8年度事業予定】

- ・幼児や児童生徒のよりよい学びの場と支援の提供のため、各関係機関と情報交換を行い、就学支援委員会の意見をもとに、本人及び保護者との就学相談の一層の充実を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・就学相談が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取り等を通して、状況を的確に把握し教育的ニーズに応じた就学先の意見を導き出した。
- ・就学支援委員会で出された意見と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、教育的ニーズに応じた就学先を決定できるようにした。
- ・保護者向け「就学相談セミナー」を年3回開催し、85人が参加した。セミナーでは、通常の学級、特別支援学級、特別支援学校の特色や教育課程等、就学や転学に係る説明を行った。
- ・就学支援委員会実施回数 11回 就学相談実施人数 431人

③ 特別支援教育の理解・啓発の推進

【令和8年度事業予定】

- ・教職員に対する特別支援教育に係る研修を充実させ、特別支援教育への理解と啓発を図る。
- ・保護者・地域・関係機関向け「発達障害セミナー」を開催し、より多くの方への特別支援教育の理解に努める。
- ・昨年度に引き続き、川越市教育委員会免許法認定講習（特別支援教育）を実施する。

【令和7年度事業実績】

- ・特別支援教育に係る管理職等研修会、全ての子供たちの居場所を作る特別支援教育コーディネーター専門研修会、特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学級新担当教員研修会、誰一人取り残さない通常の学級担任等のための特別支援担当養成研修会、通級指導教室担当者研修会、川越市会計年度任用職員のための研修会を実施した。
- ・保護者向けセミナー「発達障害セミナー」の参加人数 43人
- ・川越市教育委員会免許法認定講習（特別支援教育）を6講座12日間実施し、教職員等延べ708人が受講した。

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富 士 見 中 学 校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大 東 西 中 学 校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川 越 西 中 学 校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置
(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一小学校	1	川越小学校	2
中央小学校	1	仙波小学校	1
武蔵野小学校	1	新宿小学校	1
大塚小学校	1	泉小学校	2
月越小学校	1	今成小学校	1
芳野小学校	1	古谷小学校	1
南古谷小学校	2	牛子小学校	1
高階小学校	1	高階南小学校	1
高階北小学校	2	高階西小学校	1
寺尾小学校	1	福原小学校	3
大東東小学校	2	大東西小学校	1
霞ヶ関小学校	3	霞ヶ関南小学校	1
霞ヶ関北小学校	1	霞ヶ関東小学校	1
霞ヶ関西小学校	2	川越西小学校	2
名細小学校	1	上戸小学校	1
広谷小学校	1	山田小学校	2

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一中学校	1	初雁中学校	2
富士見中学校	1	野田中学校	1
城南中学校	1	芳野中学校	1
東中学校	2	南古谷中学校	1
高階中学校	1	高階西中学校	1
寺尾中学校	1	砂中学校	1
福原中学校	1	大東中学校	1
霞ヶ関中学校	2	霞ヶ関東中学校	1
霞ヶ関西中学校	1	名細中学校	1
山田中学校	2		

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置
(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一小学校	4	川越小学校	4
中央小学校	2	仙波小学校	3
武蔵野小学校	4	新宿小学校	4
大塚小学校	2	泉小学校	5
月越小学校	3	今成小学校	1
芳野小学校	1	古谷小学校	2
南古谷小学校	3	牛子小学校	2
高階小学校	3	高階南小学校	2
高階北小学校	3	高階西小学校	3
寺尾小学校	2	福原小学校	2
大東東小学校	3	大東西小学校	2
霞ヶ関小学校	5	霞ヶ関南小学校	2
霞ヶ関北小学校	2	霞ヶ関東小学校	1
霞ヶ関西小学校	2	川越西小学校	2
名細小学校	2	上戸小学校	2
広谷小学校	1	山田小学校	4

Ⅱ 学校教育 教育センター

(中学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川越第一中学校	2	初雁中学校	2
富士見中学校	1	野田中学校	1
城南中学校	2	東中学校	2
南古谷中学校	1	高階中学校	1
高階西中学校	1	寺尾中学校	3
砂中学校	1	福原中学校	1
大東中学校	2	大東西中学校	1
霞ヶ関中学校	2	霞ヶ関東中学校	1
霞ヶ関西中学校	2	川越西中学校	1
名細中学校	3	鯨井中学校	1
山田中学校	1		

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川越小学校	5	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童
牛子小学校	1	
霞ヶ関小学校	4	
中央小学校	3	
月越小学校	1	通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
高階小学校	3	
高階北小学校	1	
霞ヶ関小学校	2	
名細小学校	1	
山田小学校	2	
富士見中学校	3	
高階中学校	2	

特別支援学校

- 昭和39年4月 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
- 昭和47年4月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
- 平成22年4月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみにっている。）

1. 地域教育支援課 Tel : 049-224-6086

(1) 青少年教育

① ジュニアリーダースクール

【令和8年度事業予定】

- ・子ども会の基礎的な理論・活動展開の在り方・実技指導の方法等を継続的に学習することにより、子ども会ジュニアリーダーとして必要な知識、技能を身に付け、川越市ジュニアリーダースクラブの一員として活躍できる青少年を育成する。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 6月15日、7月20日、8月31日、9月28日、10月26日 受講者数 65人

② 育成者研修会

【令和8年度事業予定】

- ・子ども会育成会活動の意義についての理解を深めるとともに、子ども会活動を支援するための知識や技術を習得し、育成者としての資質向上を図ることで、校区及び単位子ども会活動の充実を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 2月21日 参加者数 222人

③ 子ども会かるた大会の運営支援

【令和8年度事業予定】

- ・子ども会員が一堂に集まり、「かわごえ郷土カルタ」を活用して「5つのめあて」をもとに競技を行い、交流を深める。なお、団体戦・個人戦ともに上位4チーム（人）は川越市代表として、彩の国21世紀郷土かるた県大会へ出場し、県内子ども会代表選手と競い合うとともに、交流を深める。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 11月16日 参加者数（選手数） 259人

④ 子ども会育成団体連絡協議会事業補助金

【令和8年度事業予定】

- ・市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ相互の連絡協調を図り、その向上発展を期するため、川越市子ども会育成団体連絡協議会が行う事業に対して補助金を交付する。

【令和7年度事業実績】

- ・子ども会育成団体連絡協議会加盟団体数 21団体 会員数 20,341人

⑤ 校区子ども会育成団体事業補助金

【令和8年度事業予定】

- ・子ども会、育成会会員の資質向上を図るため、校区子ども会育成団体が行う事業に対して補助金

Ⅲ 社会教育 地域教育支援課

を交付する。

【令和7年度事業実績】

- ・補助団体数 16団体 会員数 15,916人

(2) 家庭教育

① PTA運営講座

【令和8年度事業予定】

- ・小、中学校PTA常置委員の研修を深めて、PTA活動の充実、推進を図り、各PTAの行う常置委員会活動の向上発展を期して指導者の養成を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・令和7年度は、関係者間における日程調整の都合により開催中止

② PTA家庭教育学級の運営支援

【令和8年度事業予定】

○PTA家庭教育学級運営講座

- ・保護者自らが家庭教育の意義や役割を学習する講座を企画・運営し、その内容・知識を習得させることで、保護者の企画力及び家庭の教育力の向上を図る。

○PTA家庭教育学級講師謝金支援

- ・PTA家庭教育学級が充実したものとなるよう講師謝金を負担することで財政的支援を行う。

【令和7年度事業実績】

○PTA家庭教育学級運営講座

- ・開催日 4月17日 参加者数 48人

○PTA家庭教育学級講師謝金支援

- ・5校9件 134,500円

③ 高等学校を知る会

【令和8年度事業予定】

- ・川越市内高等学校等を招き、教育方針、教育課程、部活動及び学校生活の様子や卒業後の進路等について、川越市内小中学校の保護者への説明を通じて、各高等学校の特色を情報提供する機会とする。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 8月1日 参加者数 647人

④ PTA研究集会

【令和8年度事業予定】

- ・各学校、PTAの活動の成果や諸問題について、川越市PTA連合会の活動目標・方針に基づき、自主的に研究討議しPTA活動の充実を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 2月10日 参加者数 73人

⑤ PTA講演会

【令和8年度事業予定】

- ・児童生徒の健全な成長における家庭教育の役割と家庭での望ましい対応のあり方について理解を深める。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 12月6日 参加者数 343人

⑥ 親の学習講座

【令和8年度事業予定】

- ・多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して「親が親として育ち、力をつけるための学習」を実施し、家庭の教育力の向上を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・実施校数28校 参加者数 2,037人（市費講師未派遣校7校 参加者数491人を含む）

⑦ 幼・保・高家庭教育講座

【令和8年度事業予定】

- ・こどもの年齢に応じた子育て・しつけの方法についての講話や、親同士の意見交換など、保護者に家庭での教育を見直してもらうための学習情報・学習機会を提供し、保護者とこどもが共に育ち合う環境づくりを進める。

【令和7年度事業実績】

○川越市立川越高等学校

- ・実施日 5月22日
- ・内 容 「進路状況および進路対策について」
- ・参加者数 158人

○幼稚園・保育園

- ・実施幼稚園 1園 参加者数 40人
- ・実施保育園 17園 参加者数 355人

⑧ PTA連合会事業補助金

【令和8年度事業予定】

- ・川越市PTA連合会会員の家庭教育の充実への意識高揚を図るとともに、青少年の健全育成を図るため、連合会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。

【令和7年度事業実績】

- ・PTA連合会加盟団体数 54団体 会員数 21,791家庭

(3) 川越市子どもサポート推進

【令和8年度事業予定】

- ・ こどもたちの豊かな人間性や社会性など「生きる力」を育むため、家庭・地域・学校及び社会教育施設が連携・協力し、人と人とのネットワークを構築しながら、地域社会が一体となって、こどもたちのさまざまな活動を支援する。
- ・ ①川越市子どもサポート本部会議 ②各地区サポート委員会の活動（地域の特色を生かした事業・学校応援団事業等） ③子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展 ④「家庭・地域・学校の連携」に関わる研修会 ⑤川越市子どもサポート新聞「ひと、ホット、ほっと！」の配布

【令和7年度事業実績】

①川越市子どもサポート本部会議

- ・ 子どもサポートに関する共通認識と情報交換、子どもサポートに関する総合的な啓発、各地区子どもサポート委員会の支援と調整、今後の家庭・地域・学校連携推進について等の協議を行った。
- ・ 開催日 5月1日、11月20日、2月20日
開催回数 3回

②各地区サポート委員会の活動（地域の特色を生かした事業・学校応援団事業）

- ・ 各地区サポート委員会数 14団体
- ・ 関係施設等 公民館 18館 図書館 4館 美術館 1館 博物館 1館
中学校 22校 小学校 32校 その他 2校
- ・ 事業数 186回 延べ参加者数 9,494人

③子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展

- ・ 小学校低学年部門（小学校1年生～3年生）、小学校高学年部門（小学校4年生～6年生）、中学生部門（中学校1年生～3年生）に分けて、絵画、新聞の作品を募集した。
- ・ 出品数 小学校低学年の部214点、小学校高学年の部147点、中学生の部95点、計456点
- ・ 開催日 12月12日～12月14日
- ・ 表彰式 ○開催日 12月14日
○内容 「小江戸見つけ隊」作品発表及び表彰
○参加者数 85人

④「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会

- ・ 教職員と保護者・地域が共通理解することにより、学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみの教育を進められるよう、研修を行った。
- ・ 実施日 8月28日 14:00～16:30
- ・ 内 容 ○「学校・家庭・地域の連携」に関わる研究委嘱報告
○講演「俯瞰とクリエイティブ思考による地域での子どもたちのための豊かなプログラムの作り方」
- ・ 参加者数 83人（学校関係 55人 地域等 24人 その他 4人）

⑤川越市子どもサポート新聞「ひと、ホット、ほっと！」の配布

- ・各地区におけるサポート事業の取組の様子や本事業に係る会議や研修等の内容を、各小中学校、公民館、関係機関に配布し、子どもサポート事業の啓発に努めた。
- ・テーマ：「地域のひとの温かい（ホットな）心にふれ、こどもがほっとする地域学校協働活動を！」
- ・内 容：7月、10月、12月、3月の年4回発行。

（４）放課後子供教室推進

①各放課後子供教室の実施

【令和8年度事業予定】

- ・放課後に、地域住民等の参画を得て、学習や体験・交流活動を通じ、こどもたちが地域の中で安全・安心に過ごす放課後子供教室について、地域の実情に合わせて推進する。

【令和7年度事業実績】

- ・実施校数 20校 延べ参加者数 4,470人

②「放課後子供教室」に関わる研修会

【令和8年度事業予定】

- ・各放課後子供教室の活動のより一層の充実を図るために、各放課後子供教室での情報共有や、他団体による活動の情報提供により、こどもたちの「生きる力」を伸ばす。
- ・活動の課題の解決のために、情報共有及びスタッフの交流場とする。

【令和7年度事業実績】

- ・実施日 8月4日 14:00～16:30
- ・内 容 ○各放課後子供教室情報交換会
○活動体験会（埼玉県ボッチャ協会）
- ・参加者数 30人

（５）人権教育

①人権教育推進協議会

【令和8年度事業予定】

- ・家庭・地域・学校と連携しながら、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく理解できるよう推進・啓発活動に取り組み、差別のない明るい地域社会づくりに寄与するための人権教育の振興を図る。

【令和7年度事業実績】

- ・開催日 5月20日、7月30日、10月8日、2月18日 開催回数 4回

②人権教育実践報告会

【令和8年度事業予定】

- ・保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、公民館等の日頃の人権教育の実践報告に基づ

Ⅲ 社会教育 地域教育支援課

き意見交換を行い、人権教育の一層の充実に資する。

【令和 7 年度事業実績】

・開催日 1 月 1 4 日 会場 川越西文化会館 参加者数 1 3 3 人

③ P T A ・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会

【令和 8 年度事業予定】

・同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の重要性について認識を深める。各 P T A 及び子ども会育成会における人権教育の推進に資する。

【令和 7 年度事業実績】

・開催日 1 1 月 1 2 日 会場 川越西文化会館 参加者数 6 3 人

④ 公民館における人権教育講座事業

【令和 8 年度事業予定】

・人権についての正しい理解を深め、日常生活の中で人権を尊重した生き方ができるように、また、各種団体及び各家庭に一人ずつの人権問題解決のための指導者を育成する。

【令和 7 年度事業実績】

・1 4 公民館で実施 2 8 講座 延べ参加者数 1, 0 8 9 人

⑤ 小堤集会所事業

【令和 8 年度事業予定】

・集会所周辺住民の自主的組織的教育活動を助長し、教育・文化水準の向上を図る。
・集会所の利用を通して、集会所周辺住民の人権問題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図る。
・地域住民相互の交流を通して、よりよい人間関係を醸成する。

【令和 7 年度事業実績】

・指導者養成講座	4 回	・フレンドスクール	3 回
・成人・高齢者講座	4 回	・カラオケ教室	1 2 回
・習字教室	2 4 回		

⑥ 小堤集会所ふれあいまつり

【令和 8 年度事業予定】

・集会所事業における各教室・講座で得られた学習成果を互いに発表し合い、広く大勢の人に集会所事業への関心を持っていただくとともに、相集い、相和して楽しいひとときを持ち、ふれあいの輪を広げていく。

【令和 7 年度事業実績】

・開催日 1 1 月 9 日 会場 小堤集会所 参加者数 1 0 8 人

⑦ 人権教育推進事業委嘱

【令和 8 年度事業予定】

・公民館、学校、当該 P T A を一単位として公民館区全体で人権教育に取り組むように、毎年公民

館 3 ～ 5 館と学校 10 ～ 12 校を指定し、市内全域に順次委嘱する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・ (小学校) 霞ヶ関、霞ヶ関南、霞ヶ関西、霞ヶ関東、霞ヶ関北、芳野
- ・ (中学校) 霞ヶ関、霞ヶ関西、霞ヶ関東、芳野
- ・ (公民館) 霞ヶ関、霞ヶ関西、霞ヶ関北、伊勢原、芳野

⑧啓発資料作成委員会

【令和 8 年度事業予定】

- ・ 人権教育啓発資料への取組を通して、児童生徒の人権への関心を高め、作品を広く紹介することにより、児童生徒及び市民の人権意識高揚を図り、人権教育啓発活動の推進に寄与する。

【令和 7 年度事業実績】

- ・ 開催日 5 月 16 日、7 月 31 日、8 月 20 日、10 月 1 日、1 月 20 日
- 開催回数 5 回

⑨人権作文・標語・絵画公募事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・ 人権作品（作文・標語・絵画）の制作への取組を通して、児童生徒の人権への関心を高め、自らの生き方を考えさせる。

【令和 7 年度事業実績】

- ・ 応募作品数 人権作文 226 点 人権標語 130 点 人権絵画 270 点

⑩人権作品集「あけぼの」作成事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・ こどもたちから寄せられた人権作品（作文・標語・絵画）を広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・ 発行部数 2,600 部 配布対象 市立各学校、保育園、公民館等

⑪人権カレンダー作成事業

【令和 8 年度事業予定】

- ・ しおり形式のカレンダーに児童生徒の人権標語と絵画を掲載し、全保護者及び市内公共施設での希望配布を通して、市民の人権意識の高揚を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・ 発行部数 30,000 部 配布対象 市立各学校、保育園保護者、各公共施設

⑫「いのち・こころを大切にする絵画展」開催

【令和 8 年度事業予定】

- ・ こどもたちから寄せられた人権絵画を広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。

Ⅲ 社会教育 地域教育支援課

【令和 7 年度事業実績】

- ・開催日 11月29日～12月1日 会場 川越市立美術館
- ・参観者数 293人（3日間）

（6）公民館建設

① （仮称）西公民館建設推進

【令和 8 年度事業予定】

- ・（仮称）西公民館建設に係る調査研究。

（7）その他の事業

① 社会教育委員協議会

【令和 8 年度事業予定】

- ・社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問の対応や必要な研究調査を行うため、定時又は臨時に開く会議であり、定例会を年6回程度予定している。

【令和 7 年度事業実績】

- ・定例会開催日 5月26日、7月29日、8月29日、10月30日、1月26日、3月26日
開催回数 6回
- ・起草委員会開催日 4月18日、5月12日、6月26日、8月19日、9月22日
開催回数 5回
- ・提言書「学校・家庭・地域がつながる家庭教育支援の実現に向けて～ふるさと川越のひとづくり～」を作成。

② 障害者対応事業研修会

【令和 8 年度事業予定】

- ・社会教育に携わる市職員を対象に、障害者に対応できる事業を実施するにあたり、障害者を理解するための研修会を開催し、障害者が広く参加することのできる事業の充実を図る。

【令和 7 年度事業実績】

- ・開催日 1月22日 受講者数 8人

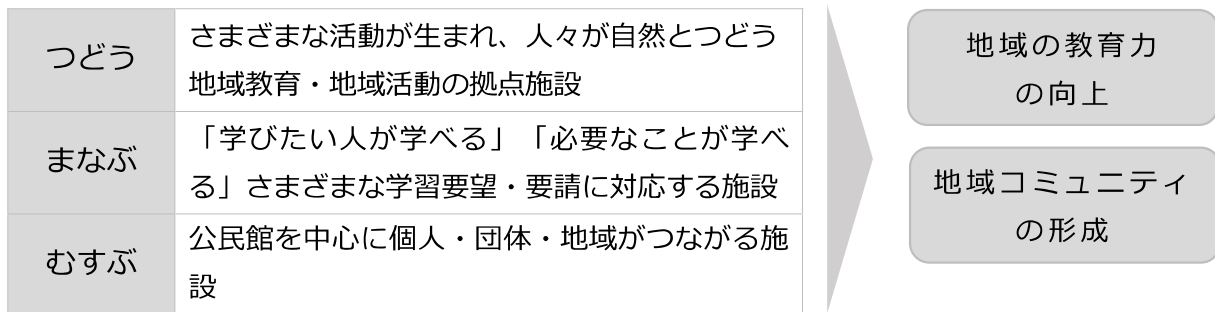
2. 公民館【中央公民館】Tel : 049-222-1394

令和8年度 川越市公民館運営方針

川越市公民館の目指す姿

公民館の基本的な機能である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ための取組を推進しながら、地域における身近な学習施設として、誰もが気軽に利用できる施設運営に努める。

また、生涯の各時期における課題や現代的・社会的課題の学習機会の提供をはじめ、市民の学習活動を支援するとともに、学びを通じた人づくり・地域づくりによる地域の教育力の向上と地域コミュニティの形成を目指す。



基本方針

1 生涯学習活動の推進

市民の学習要望・社会の学習要請に応じた多種多様な事業を実施するとともに、広報活動等による学習情報の提供の充実にも努める。

【主な取組】

(1) ライフステージにおける課題や現代的課題に対応した学習機会の充実

- ・市民が人生100年時代をより豊かに生きるために、一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、自己の能力を高められるよう、児童期から高齢期まで生涯の各時期における課題や、健康や環境、防災、多文化共生、情報革新、SDGsといった現代的・社会的課題に対応した学習機会の充実を図る。

(2) 幅広い関係機関等と連携した多様な学習機会の提供

- ・多種多様な事業を効率的かつ効果的に実施するとともに多様化する市民の学習ニーズに応じるため、行政機関や社会教育関係団体、NPO、公益団体、企業等と連携して学習機会の提供を図る。

(3) 学習情報の提供の充実

- ・多様化する市民の学習ニーズに応えるため、自主事業に限らず、幅広い学習情報及び地域情報の収集・提供に努める。また、公民館だよりや情報コーナーに加え、ホームページなどのインターネットを活用した情報発信による広報活動の充実に努める。

2 地域の教育力の向上・地域コミュニティの形成

公民館活動を通じて、市民の地域に対する愛着を育み、社会教育の推進を担う各団体が円滑に活動できるよう支援を通じて、地域の担い手となる市民や団体の育成を図る。

【主な取組】

(1) 市民の自主的な活動の支援

- ・登録グループ公開講座や公民館まつり等、公民館で活動する団体が学習や活動の成果を地域へと広げていく地域貢献活動を支援する。
- ・公民館活動の活性化を図るため、公民館で活動する団体の運営、活動にかかる助言や支援を行う。併せて、市民の生涯学習や社会教育活動などの相談業務にも努める。
- ・公民館事業を通じて、公民館を拠点とした地域の教育活動の担い手の育成を図るとともに、公民館講座に地域人材を積極的に活用し、地域のネットワークづくりを推進する。

(2) 市民センターと連携した地域づくり

- ・市民部との共通した目標である地域づくりについて、市民センター併設公民館における取組をより一層推進させるため、一部の社会教育事業において単独公民館による出前講座を展開するなど役割の明確化を図る。
- ・地域の各種団体や関係機関等と連携し、地区体育祭や文化祭などの地域で行なわれる行事等の取組を支援する。併せて、地域社会をつなぐコーディネーターの役割を果たしながら、地域で活動する多様な団体・機関の関係形成を図る。

3 公民館の運営体制・施設設備の整備・充実

身近な学習施設・地域活動の拠点としての機能を発揮するための取組を行う。

【主な取組】

(1) 市民ニーズに即した施設運営

- ・公民館運営協力委員制度等による意見や提言、市民の意見などをもとにニーズに沿った事業企画・施設運営に努め、行政と地域団体・市民が連携して学習拠点を整え、こどもから大人まで安心して遊び、学べる居場所づくりを推進する。

(2) 公民館職員研修の実施

- ・公民館職員としての資質をより一層高めるため、公民館職員研修を実施し、社会教育等に関する知識の習得及び事業の企画立案能力等の向上を図る。

(3) 施設設備の整備・充実

- ・公民館事業や団体活動等で市民が安全に学習・交流活動を行えるよう、施設の計画的な修繕・改修工事の実施及び設備・備品の充実に努める。

市内公民館（１８館１分館１分室）

（令和８年４月１日現在）

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
中央公民館	三久保町18-3	222-1394	226-2006	昭和44
中央公民館分室※1)	六軒町2-15-1	—	—	昭和14（移築）
さわやか活動館	的場2649-1	237-4890	237-4891	平成12（改築）
南公民館	新宿町1-17-17	243-0038	240-1968	平成26
北公民館	氷川町107	222-1400	229-1210	平成3
芳野公民館	北田島119-2	222-1873	229-1211	昭和44
古谷公民館	古谷上3830-2	235-1834	230-1020	昭和45
南古谷公民館	今泉371-1	235-1519	230-1021	昭和51
高階公民館	藤間27-1	242-6064	240-1751	平成19
高階南公民館	藤原町23-7	245-3581	240-1752	昭和55
福原公民館	今福481-3	242-5005	240-1753	昭和53
大東公民館	豊田本5-16-1	243-0022	240-1754	平成26
大東南公民館	南台3-4-3	242-0498	240-1755	昭和59
霞ヶ関公民館	笠幡177-1	231-1009	239-1086	昭和51
霞ヶ関西公民館	笠幡3001-12	227-6551	227-6710	平成30
霞ヶ関北公民館	霞ヶ関北6-30-2	231-4455	239-1087	令和7
伊勢原公民館	伊勢原町5-1-1	237-5676	237-5677	平成13
川鶴公民館	川鶴2-8-3	233-9306	239-1088	昭和63
名細公民館	小堤662-1	231-0001	239-1166	平成21
山田公民館	山田161-7	224-4194	229-1212	昭和46

公民館利用状況及び事業実施状況（令和７年度）

公民館利用状況（令和７年度）

	貸館	
	件数	人数
中央	4,276	50,798
分室	-	-
さわやか	1,502	16,485
南	5,058	76,478
北	2,162	28,849
芳野	713	7,378
古谷	677	12,128
南古谷	1,628	32,000
高階	4,548	84,451
高階南	2,712	52,448
福原	1,301	29,123
大東	3,212	50,785
大東南	2,342	41,516
霞ヶ関	1,553	30,495
霞ヶ関西	771	12,063
霞ヶ関北	2,594	36,927
伊勢原	2,928	41,837
川鶴	1,775	30,962
名細	3,395	55,865
山田	1,147	11,413
霞ヶ関北小特別教室	812	16,511
総計	45,106	718,512

公民館事業実施状況（令和７年度）

	学級・講座等										団体活動支援等
	実施事業数		対象別内訳								
			青少年		子育て		高齢者		成人等一般		
	事業数	延人数	事業数	延人数	事業数	延人数	事業数	延人数	事業数	延人数	
中央	29	4,533	7	321	4	353	3	2,173	15	1,686	2
分室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
さわやか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	33	2,341	6	113	12	524	3	536	12	1,168	2
北	25	2,005	7	258	5	208	2	813	11	726	2
芳野	3	249	0	0	1	180	1	48	1	21	5
古谷	8	267	2	33	1	113	1	36	4	85	4
南古谷	11	786	0	0	3	328	3	112	5	346	5
高階	8	947	2	169	2	321	1	127	3	330	3
高階南	33	2,411	8	244	9	928	3	604	13	635	2
福原	4	325	1	12	1	103	1	194	1	16	6
大東	12	4,431	3	2,434	0	0	1	260	8	1,737	7
大東南	33	2,517	10	432	6	437	3	780	14	868	1
霞ヶ関	4	196	0	0	1	101	0	0	3	95	5
霞ヶ関西	30	2,043	14	816	5	250	2	501	9	476	2
霞ヶ関北	9	799	1	11	1	212	2	97	5	479	4
伊勢原	24	1,724	8	608	4	231	2	433	10	452	2
川鶴	5	544	0	0	1	100	1	184	3	260	4
名細	7	718	0	0	2	124	1	41	4	553	5
山田	5	351	2	211	1	68	0	0	2	72	6
霞ヶ関北小 特別教室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 計	283	27,187	71	5,662	59	4,581	30	6,939	123	10,005	67

※1 平成31年4月1日から中央公民館分室は老朽化等のため貸出停止。

※2 支援団体数は、登録グループ連絡協議会、青少年を育てる地区会議、子どもサポート委員会、地域会議など。

Ⅲ 社会教育 図書館

3. 図書館【中央図書館】Tel : 049-222-0559

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
中央図書館	三久保町2-9	222-0559	224-7822	昭和59年
視聴覚ライブラリー	同上	同上	同上	同上
西図書館	伊勢原町5-1-1	237-5660	237-5661	平成13年
川越駅東口図書館	菅原町23-10	228-7712	228-7713	平成13年
高階図書館	藤間27-1	238-7550	238-7551	平成19年

(1) 図書館利用者の利便性向上の推進

【令和8年度事業予定】

- ・中央図書館の外部改修工事(令和7年度・令和8年度2か年計画のうち令和8年度分)を実施する。
- ・中央図書館のハロゲン化物消火設備改修工事を実施する。
- ・西図書館の照明器具改修工事を実施する。

【令和7年度事業実績】

- ・中央図書館の外部改修工事(令和7年度・令和8年度2か年計画のうち令和7年度分)を実施した。
- ・中央図書館の直流電源装置等改修工事を実施した。

(2) 図書館資料の収集・整備

【令和8年度事業予定】

- ・利用者のニーズに応じた資料収集及び電子書籍の充実に努める。
- ・地域資料の整備をする。

【令和7年度事業実績】

蔵書の状況

(冊)

中央図書館	一般図書	326,152	西図書館	一般図書	131,005
	児童図書	129,653		児童図書	48,276
	郷土資料	30,554		障害資料	1,551
	近世史料	111		A V 資料	9,736
	和書	10,041	川越駅東口図書館	一般図書	38,972
	貴重図書	208		児童図書	25,394
	その他	48		障害資料	142
	障害資料	290		A V 資料	7,042
	A V 資料	6,876	高階図書館	一般図書	79,066
	マイクロフィルム	1,801		児童図書	30,487
				障害資料	2,023
				A V 資料	8,887
合 計					888,315

図書館資料の利用状況（開館日数・入館者数・利用者数・貸出冊数）

施設名	開館日数 (日)	入館者数 (人)	利用者数 (人)	資料貸出冊数 (冊)						
				一般図書	児童図書	郷土資料	障害資料	雑誌	A V 資料	計
中央図書館	288	197,874	184,670	247,984	173,773	25	79	23,221	9,590	454,672
西図書館	288	191,235	89,840	189,306	99,418	3	700	17,879	11,521	318,827
川越駅東口図書館	286	206,296	80,148	127,184	60,057	8	57	13,259	8,550	209,115
高階図書館	288	172,570	73,910	131,768	92,320	2	2,186	14,825	21,613	262,714
計		767,975	428,568	696,242	425,568	38	3,022	69,184	51,274	1,245,328

（３）サービス内容の充実

【令和８年度事業予定】

- ・レファレンスサービス、乳幼児・児童サービス、障害者サービスの充実を図る。
- ・各館の事業の取組により、サービス内容の充実を図る。

【令和７年度事業実績】

レファレンス件数

内容 方法	調査相談 (件)	所蔵調査 (件)	計
口 頭	115	458	573
電 話	40	503	543
文 書	15	8	23
電子申請	23	4,735	4,758
計	193	5,704	5,897

児童向け事業実施状況

施設名	事業数 (件)	延べ参加者数 (人)
中央図書館	20	2,928
西図書館	21	1,452
川越駅東口図書館	19	1,458
高階図書館	15	1,088
計	75	6,926

※中央図書館参考調査カウンター調べ

資料複写状況

施設名	図書館所蔵資料		国立国会図書館デジタルコレクション 図書館送信資料		有料データベース	
	利用件数 (件)	複写枚数 (枚)	利用件数 (件)	複写枚数 (枚)	利用件数 (件)	複写枚数 (枚)
中央図書館	1,156	11,022	4	49	8	89
西図書館	530	1,922	3	12	0	0
川越駅東口図書館	332	1,280	42	－	1	2
高階図書館	377	1,655	1	2	0	0
合 計	2,395	15,879	50	63	9	91

※有料データベースは、官報(中央のみ)・朝日新聞クロスサーチによるもの。

※国立国会図書館デジタルコレクションは、川越駅東口図書館は閲覧のみ可能。

Ⅲ 社会教育 図書館

障害者サービスの状況

施設名	録音図書作成 (タイトル)		録音図書貸出 (タイトル)		点字図書貸出 (タイトル)	対面朗読		テキスト 資料作成 サービス (タイト ル)
	川越市立図 書館所蔵資 料	プライバー ト資料	川越市立図 書館利用者 への貸出	他施設(点字 図書館等)へ の貸出	川越市立図 書館利用者 への貸出	延べ利用 者数(人)	時間数 (h)	
中央図書館	—	0	241	27	0	0	0	0
西図書館	5	0	143	146	31	13	26	1
川越駅東口図書館	—	0	296	0	0	80	160	0
高階図書館	—	0	324	120	0	13	26	0
合 計	5	0	1,004	293	31	106	212	1

※録音図書はテープ、アクセシブルな情報システム(DAISY)の総計。

【各館の主な事業の取組】

(1)中央図書館

- ・一般向けに「紙芝居講座」、「楽しもう紙芝居のおはなし会」のほか、小学校読み聞かせボランティアを対象に交流会などを行った。また、江戸時代の女性が著した紀行文『川越の紀行』を題材に「郷土資料解題講座」を開催した。その他、博物館の収蔵品展に合わせた企画展示や、地域資料を活用した「新春かるた大会 かわごえ郷土かるたで遊ぼう」を行った。
- ・児童向け事業として、ブックスタート事業における絵本の説明や、成長段階に合ったおはなし会を実施したほか、学校向け事業として市内小学校への学級訪問及び学級招待を行った。また、市内中学生対象のこども育成課事業「少年の翼」の事前研修ワークショップに関する資料の展示などを行った。

(2)西図書館

- ・児童向け事業として、新規に体験型イベントの「謎解きWEEK」、親子参加型イベントの「おりがみ大会」を行った。「環境月間リサイクル工作教室」、「夏休み子ども点字教室」などのほか、定例や季節ごとにおはなし会を行った。また、「ぬいぐるみおとまり会」と題し、参加者のアンケートを基に図書館からおすすめ本を選び、アルバムを作成し手渡す事業を開催した。小中学生を対象とした体験型の事業として、「図書館お仕事体験」を実施した。
- ・「年末特別企画！図書館職員おすすめコーナー」として、POPを掲示し図書館職員がすすめる資料の展示を行った。

(3)川越駅東口図書館

- ・一般向け事業として、昔話の語りを中心に、「大人のためのおはなし会」を行った。世界アルツハイマーデー(9月21日)にちなみ、「認知症にやさしい本棚コーナー」を利用し、認知症に関する周知を行った。介護予防普及啓発講演会(10月26日)では、認知症に関する図書の出張展示を実施した。さらに、南公民館の地域学講座では職員が講師となり、関連書籍を所蔵していること、利用案内及び検索方法等を紹介した。
- ・児童向け事業として、「図書館で謎解き」「としょかんおしごとたいけん」など体験型イベントのほか、定例や季節ごとのおはなし会や、4言語による「多言語おはなし会」を行った。中高校生向け事業では、「私の本棚へようこそ」として、高校生の作成したPOPとおすすめの本を展示した。

(4)高階図書館

- ・一般向け事業は、「大人のためのおはなし会」とバリアフリー映画会を行った。また、本の展示・貸出に力を入れ、認知症、人権週間、国際女性デー、健康診断の展示では関係各所と連携し、啓発物の掲示及び配布を行った。さらには、複合施設として高階市民センターと連携して展示を行ったほか、作家の追悼展示や時事に合わせたミニ展示も展開した。

- ・児童向け事業は、小学生を対象とした体験型の事業として、「図書館おしごと体験」を新規に実施した。また、中学生社会体験の受入れも新たに行った。「夏休み工作教室」、「科学あそび」などのほか、定例おはなし会や季節ごとのスペシャルおはなし会を行った。

（４）地域文化創造の推進

【令和８年度事業予定】

- ・郷土資料展示
- ・郷土資料解題講座の開催
- ・デジタルアーカイブ（郷土資料）の充実
- ・「新春かるた大会 かわごえ郷土かるたで遊ぼう」の開催

【令和７年度事業実績】

事業名	開催日	参加者人数	内 容
郷土資料展示	通年	—	展示コーナーに、主に貴重書庫の郷土資料を展示。テーマを決め、解説を加えることなどにより、郷土資料をわかりやすく紹介。
郷土資料解題講座	9/28	88 人	「『川越の紀行』を読む」 講師：山野清二郎氏（埼玉大学名誉教授）
デジタルアーカイブ （郷土資料）の充実	通年	—	当館所蔵の資料をデジタル化し、図書館ホームページ上（デジタルアーカイブ）で公開。 コンテンツ数は３点追加し３０点とした。
新春かるた大会 かわごえ郷土かるたで遊ぼう	1/10	延べ 23 人	かるた遊び、川越に関する資料の紹介。 ※同日に２回開催

（５）視聴覚ライブラリーの運営

【令和８年度事業予定】

- ・映画会の開催
- ・１６ミリフィルム等、所有機材の貸出（団体向け）

【令和７年度事業実績】

事業

事業名	開催日及び開催回数	参加者	内 容
土曜映画会	第４土曜日（11回）	656 人	「ローマの休日」「おさんの恋」など
(内)バリアフリー上映	9/27、3/28 2回	155 人	「人生、ここにあり!」「大河への道」
こども映画会	4/29、7/24、8/20、10/13、 1/8 5回	209 人	「すみっコぐらし ツギハギ工場のふしぎなコ」など
平和映画会	8/9（1回）	25 人	「サクラ花—桜花最期の特攻—」

Ⅲ 社会教育 図書館

利用状況

種 類	貸出数（点）
教 材	134
（うち人権）	(24)
16ミリ映写機	10
スライド映写機	0
OHP・OHC	0
DVDデッキ	17
テレビ	0
プロジェクター	38
スクリーン	7
その他	68
合 計	274

利用団体	機材貸出数 (回)	教材貸出数 (回)	教材鑑賞人数 (人)
幼稚園・保育園	22	43	2,559
小学校・学童保育	0	12	187
中学校	0	14	1,087
高等学校・他学校	0	0	0
公民館	57	48	1,022
P T A	0	1	20
子ども会	3	4	46
サークル	0	0	0
公共機関	43	6	325
その他	15	6	226
合 計	140	134	5,472

4. 博物館 Tel : 049-222-5399

【開館時間】

午前9時から午後5時まで

(入館は午後4時30分まで)

【休館日】

月曜日(休日の場合は翌日)

第4金曜日(休日を除く)

12月29日～1月3日

臨時休館あり(館内消毒)



施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
博物館	郭町2-30-1	222-5399	222-5396	平成元年

博物館・川越城本丸御殿・蔵造り資料館入館者数(令和7年度)

施設名	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
博物館	有料	2,718	2,364	2,063	2,185	2,908	2,364	2,661	3,933	1,484	2,148	2,409	2,419	29,656
	無料	1,475	1,190	4,444	2,233	1,555	3,945	5,187	6,056	3,744	2,775	3,578	1,527	37,709
	計	4,193	3,554	6,507	4,418	4,463	6,309	7,848	9,989	5,228	4,923	5,987	3,946	67,365
川越城 本丸 御殿	有料	7,144	9,042	5,348	4,440	5,502	5,632	7,397	8,802	4,591	5,435	6,369	7,458	77,160
	無料	1,429	2,370	2,732	1,181	1,089	1,848	3,361	4,612	2,650	1,726	1,378	1,348	25,724
	計	8,573	11,412	8,080	5,621	6,591	7,480	10,758	13,414	7,241	7,161	7,747	8,806	102,884
蔵造り 資料館	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※蔵造り資料館は、耐震化工事のため平成29年度から休館。

(1) 資料の収集、調査・研究

【令和8年度事業予定】

・川越の歴史と文化に関わる郷土資料の収集に努めるとともに、収集後の資料の調査・研究を継続的に行い、その活用を図る。

【令和7年度事業実績】

・寄贈資料1,180点、購入資料4点を新たに収集した。

(2) 資料の保存、管理

【令和8年度事業予定】

- ・良好な保存環境の維持に努め、収集資料の保存の万全を図る。
- ・収蔵スペースの適切な活用を図り、将来的な収蔵システムの在り方を検討する。
- ・資料整理計画に則り、寄託資料の整理を実施する。

【令和7年度事業実績】

- ・収蔵庫の密閉燻蒸及び館内消毒を実施した。
- ・資料整理計画に従い7,956点の寄託資料を整理し、2件(738点)の寄託資料が寄贈され、1件(1点)の寄託資料が返却された。

(3) 展示事業

【令和8年度事業予定】

- ・常設展示では、川越の歴史を理解しやすく、親しみやすい展示にするとともに、市民の要望に添った企画展等を行う。

名	称	開 催 期 間
第53回企画展「旅ゆけば一旅する川越人―」		令和8年 7月25日 ～ 10月4日
令和8年度「埼玉県名刀展」		令和8年10月24日 ～ 11月8日
第34回「むかしの勉強・むかしの遊び」展		令和8年12月19日 ～ 令和9年2月28日
第34回収蔵品展「海防と川越の人々」(仮題)		令和9年 3月20日 ～ 5月16日

【令和7年度事業実績】

- ・展示会開催回数 4回 会期中の入館者数 42,492人

(4) 教育普及事業

【令和8年度事業予定】

- ・市民の要望に添った各種講座・教室を開催するとともに、学校等と連携し学校教育への支援を図る。

講 座 名	開 催 日	講 座 名	開 催 日
博 物 館 歴 史 講 座	① 令和8年 8月29日 ② 令和8年 9月13日 ③ 令和9年 2月14日 ④ 令和9年 2月21日 ⑤ 令和9年 2月28日	古 文 書 講 座	① 令和8年 8月16日 ② 令和8年10月 4日 ③ 令和8年10月11日 ④ 令和8年10月25日 ⑤ 令和8年11月 1日 ⑥ 令和8年11月15日 ⑦ 令和8年11月29日
野 外 博 物 館 教 室	令和8年 4月26日	こ ども 体 験 教 室	月1回程度土曜日を中心に実施
大 人 体 験 教 室	① 令和8年 5月10日 ② 令和8年10月24日 ③ 令和8年11月21日 ④ 令和9年 1月30日	夏 休 み 特 別 企 画	① 令和8年 7月25日 ② 令和8年 8月 5日 ③ 令和8年 8月26日
民 俗 芸 能 実 演	令和8年11月 3日	講 演 会	令和8年12月 6日

【令和7年度事業実績】

・各種講座開催回数 42回 各種講座参加人数 1,826人

幼・小・中・特別支援学校・高校・大学の利用状況（令和7年度）

令和5年度		博物館		川越城本丸御殿		蔵造り資料館	
項 目		園・学校 数	利用者数	園・学校 数	利用者数	園・学校 数	利用者数
幼稚園	川越市内	0	0	1	38	0	0
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	1	38	0	0
小学校	川越市内	76	6,437	7	329	0	0
	埼玉県内	60	3,689	25	1,771	0	0
	埼玉県外	3	151	5	357	0	0
	合 計	139	10,277	37	2,457	0	0
中学校	川越市内	20	1,795	14	1,521	0	0
	埼玉県内	54	5,224	59	5,359	0	0
	埼玉県外	63	6,793	64	6,589	0	0
	合 計	137	13,812	137	13,469	0	0
特別支援学校等	川越市内	2	28	1	14	0	0
	埼玉県内	3	68	3	38	0	0
	埼玉県外	4	120	3	105	0	0
	合 計	9	216	7	157	0	0
高校	川越市内	2	669	3	684	0	0
	埼玉県内	2	92	0	0	0	0
	埼玉県外	2	72	2	72	0	0
	合 計	6	833	5	756	0	0
大学	川越市内	3	222	0	0	0	0
	埼玉県内	1	18	1	18	0	0
	埼玉県外	4	112	1	22	0	0
	合 計	8	352	2	40	0	0
総 数		299	25,490	189	16,917	0	0

※蔵造り資料館は、耐震化工事のため平成29年度から休館。

(5) 蔵造り資料館耐震化事業

【令和8年度事業予定】

- ・店蔵耐震化工事の継続実施（令和8年度終了予定）

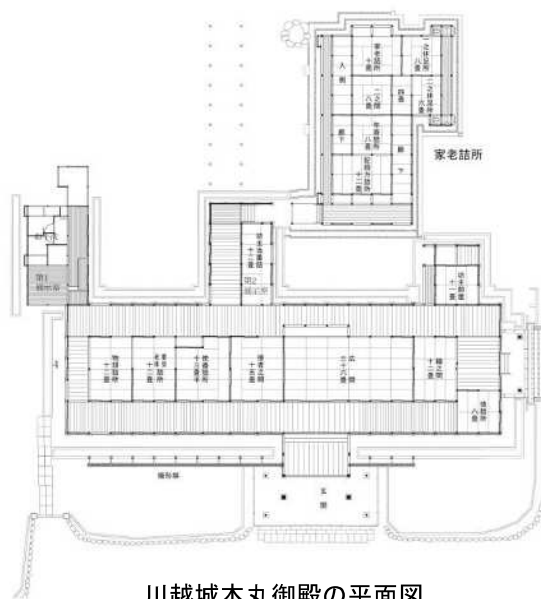
【令和7年度事業実績】

- ・店蔵耐震化工事の実施

川越城本丸御殿概要



所在地…郭町2-13-1
敷地面積…2,178 m²
延床面積…802.06 m²
構造…木造平屋建
建築年度…嘉永元年（1848年）
展示資料…第1展示室は川越城本丸御殿保存修理工事に関する資料
第2展示室は川越城の歴史に関する資料

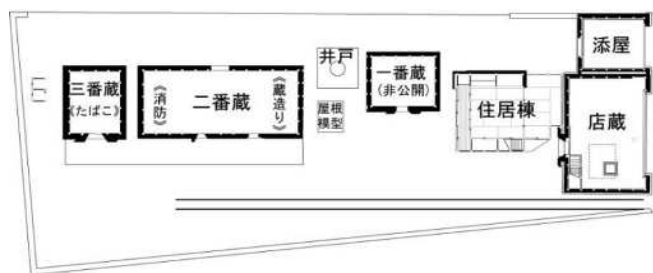


川越城本丸御殿の平面図

蔵造り資料館概要



所在地…幸町7-9
敷地面積…674.19 m²
延床面積…322.57 m²
構造…土蔵造2階建
建築年度…明治26年（1893年）
展示資料…二番蔵は蔵造りと消防に関する資料
三番蔵はたばこ卸商「万文」ゆかりの資料



蔵造り資料館の平面図



5. 教育財務課 Tel : 049-224-5107

学童保育

- ・昼間保護者のいない家庭の児童について、安全等を確保するとともに遊びを通じた自主性・社会性・創造性の向上を図るため、市立32小学校内に学童保育室を開設して放課後の生活と遊びの場を提供し、心の豊かさを育てる保育の充実に努めている。

(令和8年4月1日現在)

保育室名	設置年度	所在地	電話	支援単位数	在籍人数
川越第一	昭和55	郭町1-21	224-4134	3	146
川越	昭和54	郭町1-1-1	224-4755	2	138
中央	昭和54	中原町1-25	224-3999	2	132
仙波	昭和54	富士見町4-1	222-4877	4	187
武蔵野	昭和56	むさし野14-1	242-6132	4	170
新宿	昭和57	新宿町6-9-1	242-6129	2	128
大塚	昭和49	大塚2-10-1	245-2552	3	124
泉	昭和56	小室463	245-7232	3	160
月越	昭和45	月吉町51	224-6656	2	126
今成	昭和53	今成2-42-1	225-3747	2	117
芳野	平成6	鴨田331	224-7976	1	43
古谷	昭和55	古谷上5465	235-4725	2	105
南古谷	昭和54	木野目1451	235-1863	4	203
牛子	昭和51	牛子418	246-0741	3	115
高階	昭和54	砂新田58	244-6753	4	198
高階南	昭和49	諏訪町12-3	244-4667	2	108
高階北	昭和50	砂新田1-16-1	245-3906	3	161
高階西	昭和54	藤間1102	244-6752	3	150
寺尾	昭和52	寺尾979-2	246-0740	2	103
福原	昭和58	今福508	246-0036	4	118
大東東	昭和52	豊田本4-16-1	244-9783	2	151
大東西	昭和50	山城32-5	246-8780	3	110
霞ヶ関	昭和54	笠幡177	232-1328	3	149
霞ヶ関南	昭和50	かすみ野1-1-4	232-7070	1	54
霞ヶ関北	昭和48	伊勢原町5-1-1	232-5253	2	121
霞ヶ関東	昭和53	的場2735-2	232-7959	2	91
霞ヶ関西	昭和52	笠幡3971-4	232-5508	3	117
川越西	昭和59	川鶴1-5	232-5601	2	120
名細	昭和51	小堤214	232-4519	3	146
上戸	昭和51	上戸390-1	232-4518	3	108
広谷	昭和56	下広谷558-1	233-4790	2	92
山田	昭和54	山田167	222-4151	4	159
計				85	4,150

1. 文化財保護課 Tel : 049-224-6097

(1) 文化財の保存と活用

①指定文化財補助事業

【令和8年度事業予定】

- ・川越市には、国・県・市指定文化財等が264件あり、文化財保護団体の保存活動や、有形文化財の保存修理等に対して、計画的に補助金交付による所有者等への支援を行う。

【令和7年度事業実績】

- | | | | |
|-------------------|-----|---------------|-----|
| ・無形民俗文化財の後継者養成等 | 18件 | ・建造物等の防災設備保守等 | 10件 |
| ・有形文化財・民俗文化財の保存修理 | 6件 | ・史跡・天然記念物の保存等 | 11件 |
| ・団体の育成 | 2件 | | |

②新指定文化財

【令和8年度事業予定】

- ・指定文化財の悉皆調査を行い、保存と活用に努める。また、各種未指定の文化財調査を進め、価値の高い文化財の発見に努める。

【令和7年度事業実績】

- ・新たに指定となった文化財はなかったが、指定文化財の現況について悉皆調査を実施した。

③文化財防火訓練

【令和8年度事業予定】

- ・毎年1月26日は、「文化財防火デー」となっている。これは昭和24年の法隆寺金堂壁画の焼損を機に定められた日で、文化財を火災や震災等の災害から守ることを目的としている。川越市でも、この日に合わせて文化財防火訓練を行い、文化財保護の意識の高揚を図っており、喜多院、東照宮、日枝神社を会場として川越地区消防組合等と共催で、防火訓練を実施する予定である。

【令和7年度事業実績】

第68回川越市文化財防火デー

- ・実施日 令和8年1月23日
- ・実施場所 川越城本丸御殿・三芳野神社
- ・出動消防車両 8台（梯子車・化学車・ポンプ車など）
- ・参加者数 60人

④川越市文化財保存活用地域計画の推進

【令和8年度事業予定】

- ・令和5年度に文化庁から認定された川越市文化財保存活用地域計画について周知に努め、その計画を推進する。また、文化財保存活用支援団体の指定に向けた取組を進める。

【令和7年度事業実績】

- ・行政文書と石造物の調査を実施した。また、計画に基づく講座を、令和7年10月に高階公民館、同年11月に大東公民館、令和8年3月に名細公民館にて実施した。

⑤埋蔵文化財

【令和8年度事業予定】

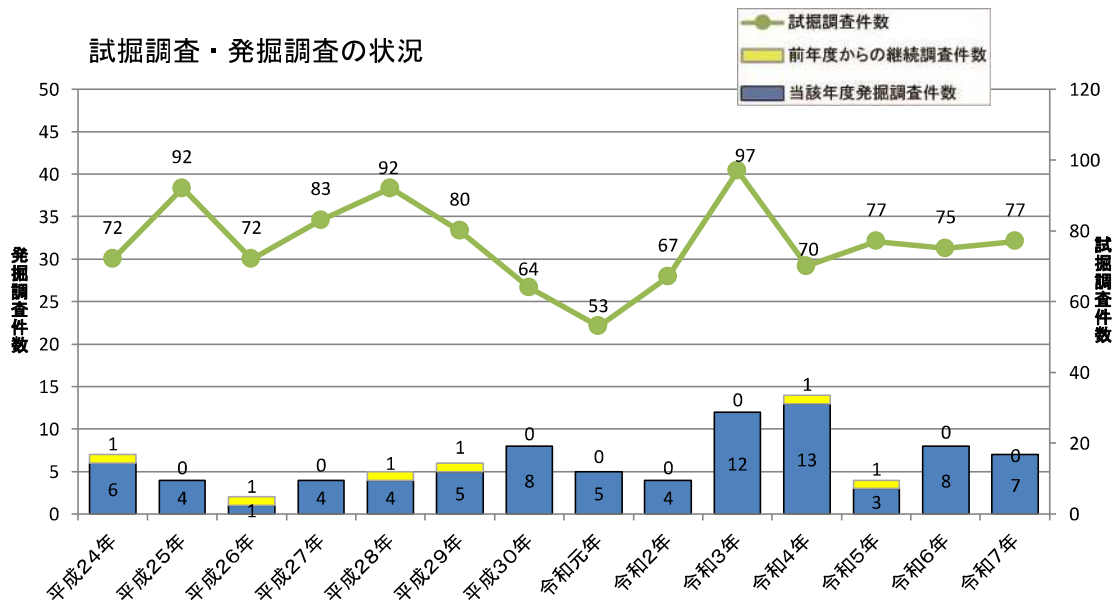
- ・川越市内では、現在345か所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらは、国・県の指導のもと、分布調査を行い設定されたものである。こうした埋蔵文化財包蔵地の範囲内で土木工事を行う場合は、工事に先立って埋蔵文化財の存否を確認する試掘調査が必要である。試掘調査により、埋蔵文化財の存在が確認された場合、開発者との間で遺構の保存について協議し、どうしても破壊を免れないものについては、遺跡の姿を記録保存し後世に伝えるため発掘調査を実施する。

【令和7年度事業実績】

77件の試掘調査及び7件の発掘調査を実施した。以下にその成果の一部を紹介する。

- ・大塚遺跡（中台2丁目）第5・6次調査では、縄文時代中期末の竪穴建物4棟、竪穴建物と思われる遺構5棟、土坑4基、複数のピットを検出した。
- ・川越城跡（郭町）第55次調査では、近世川越城の造成面を確認し、造成面の下からは中世に遡るとされる堀跡1条を検出した。
- ・赤城遺跡（古谷上）第1次調査では、平安時代と思われる土坑1基とピット9基を検出した。
- ・八幡前・若宮遺跡（的場）第5次調査では、奈良時代の竪穴建物1棟を検出した。
- ・弁天南遺跡（仙波町3丁目）第18次調査では、古墳時代前期から後期にかけての竪穴建物10棟、古墳時代後期以降と思われる竪穴建物1棟、中世の道路状遺構1条、多数の土坑・ピットを検出した。
- ・川越城跡第56次（郭町2丁目）では、江戸時代の建物基礎及び木柱の抜き取り用に掘削されたと考えられる土坑群を検出した（令和8年3月末時点）。

以上のように、地域の歴史を物語る多くの遺構・遺物が出土している。



⑥ 関係団体との連携

【令和8年度事業予定】

- ・文化財の保護・普及を目的に活動している文化財保護団体である川越市文化財保護協会と川越氷川祭の山車行事保存会を対象に、事業の実施や運営に対して支援を行う。

IV 文化財保護 文化財保護課

【令和7年度事業実績】

- ・川越市文化財保護協会実施事業の文化財見学会（4回）、文化講演会（3回）、会報の発行等の事務援助を行った。川越氷川祭の山車行事保存会の総会（1回）、会議を3回、研修会を1回、開催し、事務援助を行った。

伝統的建造物群保存地区

川越市川越伝統的建造物群保存地区は、昭和50年の保存対策調査の後、長年にわたるまちづくりの取組を経て、平成11年4月に都市計画決定を行い、同年12月に国から重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた。地区の範囲は札の辻から仲町交差点までの南北約430m、東西約200m、面積約7.8haである。

地区内には、重要文化財大沢家住宅をはじめとする蔵造り商家や本市のシンボリック的存在である「時の鐘」のほか、近代洋風建築や看板建築など、江戸時代以降の各時代の特徴を表す様々な建築様式が伝えられている。これらは、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みを構成している。

なお、市民が主体的にまちづくりに取り組んでいることも高い評価を得ている。

令和7年度において、伝統的建造物の特定物件の合計は136件である。また、保存事業として、伝統的建造物の修理5件、応急修理3件、景観事業1件、合計9件の補助事業を行った。伝統的建造物群保存地区内及びその付近には、簡易型屋外消火栓等の防災設備が設置され、放水訓練を含む自治会主催の防災訓練を毎年実施している。令和7年度は、防災設備の設置場所確認や放水訓練等の防災訓練を2回実施した。



川越市川越伝統的建造物群保存地区の範囲

指定文化財一覧（令和8年4月1日現在）

国 指 定 文 化 財			県 指 定 文 化 財			市 指 定 文 化 財		
種	別	件	種	別	件	種	別	件
重 要 文化財	建 造 物	5	有 形 文化財	建 造 物	9	有 形 文化財	建 造 物	50
	絵 画	2		絵 画	2		絵 画	1
	工 芸 品	3		彫 刻	2		彫 刻	12
	書 跡・典籍・古文書	1		工 芸 品	5		工 芸 品	18
	無 形 民 俗 文 化 財	1		書 跡・典籍・古文書	7		書 跡・典籍・古文書	28
記念物	史 跡	2		考 古 資 料	1		考 古 資 料	6
指 定 文 化 財 計		14		歴 史 資 料	1		歴 史 資 料	6
重要伝統的建造物群保存地区		1	民 俗 文化財	有 形 民 俗 文 化 財	1	民 俗 文化財	有 形 民 俗 文 化 財	20
重 要 美 術 品		2		無 形 民 俗 文 化 財	6		無 形 民 俗 文 化 財	12
登 録 有 形 文 化 財		12	記念物	史 跡	3	記念物	史 跡	31
登 録 記 念 物		1		天 然 記 念 物	1		天 然 記 念 物	8
				旧 跡	4			
計		30	計		42	計		192
総 計			総 計			264 件		

国指定史跡「河越館跡」

市内上戸・鯨井地区にある河越館跡は、鎌倉～南北朝時代に活躍した武蔵武士河越氏の館跡であり、昭和59年12月6日に国の指定史跡となった。指定面積は、48,509.18㎡である。

この館跡の整備を進めるにあたり、昭和60年度に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を、続いて平成12年度には「河越館跡整備基本計画」を策定した。整備に当たっては国・県の補助を受けつつ土地を公有化、遺構確認のための発掘調査を行い、その成果に基づき整備内容を



検討、整備工事を実施している。発掘調査は、歴史研究者による調査指導委員会の指導・助言を受けながら現在までに18回実施した。具体的な整備内容の検討は、歴史・建築・造園などの専門家から成る整備検討委員会によって進められ、平成17年度に「河越館跡史跡整備基本設計」を策定。続いて、平成19年度には「河越館跡(第1期)史跡整備実施設計」を策定した。この実施設計に基づき平成19年度から河越館跡(第1期)史跡整備工事を実施し、平成21年11月15日に「国指定史跡河越館跡史跡公園」を開園した。この公園は、貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指すことを目的とする。全体が「史跡の広場」「茶太郎広場」の2つにゾーニングされ、「史跡の広場」では、河越氏時代の遺構を復元表示、「茶太郎広場」には、広々とした芝生の広場の一面に中世の銘茶「河越茶」に因んだお茶の木が植栽されている。

令和元年度に公有化予定地を全て公有化し、令和2年度に道路予定地、令和3年度にガイダンス等予定地を公有化した。令和2、3年度は遺構確認調査を行い、第2期整備に向けての準備を進めた。令和4、5年度は、「川越市河越館跡整備検討委員会」で保存活用計画について検討した。令和6年度は、「史跡河越館跡保存活用計画」を策定し、館跡西隣の未整備地への道路移設工事及び駐車場の整備工事を行った。令和7年度は、保存活用計画に続く第2期整備基本計画の策定に向けた検討を開始するとともに、遺跡発表会において過去の発掘調査の成果を発表した。令和8年度は、引き続き第2期整備基本計画の検討を行うとともに、シンポジウムを開催する予定である。

国指定史跡「山王塚古墳」

市内豊田町3丁目・大塚1丁目にある山王塚古墳は、飛鳥時代（7世紀）の後半に築造された日本最大の上円下方墳である。平成24年度～平成29年度に4回の発掘調査を行い、平成30年度には成果を取りまとめて刊行した『山王塚古墳総括報告書』において山王塚古墳の歴史的・学術的価値を明らかにした。これを基に庁内外の関係機関と調整するとともに地権者・占有者の同意を得た上で、令和4年8月31日付けで文部科学大臣へ宛てて、山王塚古墳が国史跡の価値を有する旨の意見具申を行った。令和4年12月16日には意見具申の内容の調査を行った国の文化審議会が文部科学大臣に対し、山王塚古墳を国史跡に指定するよう答申した。令和5年3月20日の官報告示（文部科学省告示第14号）をもって山王塚古墳は国史跡に指定された。指定面積は8,409.43㎡である。令和4、5年度には、現地見学会を開催した。令和6年度は新たに「川越市山王塚古墳整備検討委員会」を発足させ、保存活用計画策定に向けた検討を開始した。令和7年度は、保存活用計画について検討するとともに、現地見学会を開催した。令和8年度は、引き続き保存活用計画の検討を行う予定である。



市指定史跡「永島家住宅（旧武家屋敷）」

永島家住宅は、川越城南大手門近くの武家地であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた武家屋敷である。古文書や絵図資料から、この武家屋敷に住んでいた武士は、江戸後期の松平大和守家時代には禄高250石から350石の藩士、幕末の松平周防守家時代には禄高110石の藩士が住んでいた。特に周防守家時代は御典医の屋敷であり、ここに住んでいたことがわかる藩士の石原昌迪は、30人ほどからなる国元の筆頭藩医の役職にあったことが確認できる。



平成18年3月に市指定文化財に指定され、平成24年3月より庭園の一般公開を行っている。

【令和7年度 見学者数】 毎週土曜日 9:00～16:00公開

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
公開日数(日)	4	8	4	4	5	4	5	5	4	4	4	4	55
見学者数(人)	169	258	62	62	49	62	232	202	62	117	116	141	1,532

※特別公開日 5月4・5・6日（GW）、10月19日（川越まつり） 計4日

出版物

「川越建物細見」をはじめとしたパンフレット及び書籍・地図を発行し、市民の文化財保護に対する認識を高める手段として活用されている。なお書籍・地図については有償にて頒布しており、文化財保護課のほかに、市立博物館、川越まつり会館でも入手できる。

パンフレット	川 越 建 物 細 見
	国 指 定 史 跡 河 越 館 跡
	川 越 市 指 定 文 化 財 時 の 鐘
	川 越 の 祭 り と 芸 能
	国 指 定 史 跡 河 越 館 跡 史 跡 公 園
	川 越 城 中 ノ 門 堀 跡
	市指定史跡永島家住宅（旧武家屋敷）
	国 指 定 史 跡 山 王 塚 古 墳
	川 越 氷 川 祭 の 山 車 行 事（日本語 ほか9か国語）

書籍・地図	川 越 市 の 文 化 財
	ハ ン ド ブ ッ ク 川 越 の 歴 史
	続 川 越 の 伝 説
	川 越 の 人 物 誌 第 1 集
	川 越 の 人 物 誌 第 2 集
	川 越 の 人 物 誌 第 3 集 女性編
	川越氷川祭りの山車行事調査報告書
	川 越 市 文 化 財 散 策 マ ッ プ
	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区の民俗
	川越の民俗調査報告書第2集 山田地区の民俗
	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
	元 町 二 丁 目 井 上 家 文 書 目 録
	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具

川 越 の 寺 院 建 築
時 の 鐘 耐 震 化 工 事 報 告 書

資料編

教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課
昭和33年 5月	係の新設 総 務 課……庶務係、経理係 学校教育課……学務係、指導係 社会教育課……社会教育係、社会体育係
昭和38年10月	保健体育課の新設 総 務 課……庶務係、管理係 学校教育課……学務係、指導係 社会教育課……社会教育係、社会体育係 保健体育課……保健係、体育係
昭和43年11月	学校給食企画課の新設 学校給食企画課……調査企画係
昭和44年 8月	学校給食センターの設置 学校給食企画課の廃止
昭和49年 7月	社会教育課に2係新設 社会教育課……同和教育係、文化財係
昭和52年 8月	学校給食課の新設 学校給食課……庶務係、管理係
昭和56年 8月	総務課に1係新設 総 務 課……施設係
昭和58年 4月	教育次長2人制となる
平成元年 7月	2部5課12係となる 管 理 部……総 務 課 庶務係、企画調整係 教育財務課 管理係、財務係 指 導 部……学校教育課 学務係、指導係 社会教育課 社会教育係、同和教育係、文化財係 保健体育課 保健係、体育係、給食係
平成 6年 4月	2部6課15係となる 管 理 部……教育総務課 総務係、企画調整係 教育財務課 管理係、財務係、学童保育係 保健体育課 保健係、社会体育係、給食係 指 導 部……学校教育課 学務係、指導係 生涯学習課 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係 文化財保護課 管理係、調査係
平成 9年 4月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として） 2部6課14係となる
平成11年 4月	2部7課17係となる 生涯学習部……教育総務課 総務係、企画調整係 教育財務課 管理係、財務係、学童保育係 生涯学習課 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係 市民スポーツ課 スポーツ振興係、国体準備担当 文化財保護課 管理係、伝建地区担当、調査係 学校教育部……学校管理課 学務係、教職員係 教育指導課 指導係、保健係
平成13年 4月	生涯学習部に国体推進室を新設 生涯学習部……国体推進室 国体推進担当
平成15年 4月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4月	生涯学習部に高階地区公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4月	学校教育部に学校給食課を新設

平成19年 4月	学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係 生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4月	文化財保護課伝建地区担当を市長部局の都市景観課（新設）へ移管
平成22年 4月	高階地区公共施設整備推進室の廃止 教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管
平成25年 4月	教育指導課に生徒指導担当を新設、学校給食課に施設担当を新設
平成29年 4月	教育財務課管理担当を学校施設担当に名称変更
平成30年 4月	学校給食課施設担当の廃止
令和 2年 4月	教育財務課学童保育担当を学童保育管理担当と学童保育入室担当に分割 文化財保護課に史跡担当を新設
令和 3年 4月	教育指導課に I C T 教育担当を新設
令和 8年 4月	副教育長を新設

委員会等一覧

○川越市社会教育委員協議会

委員…21人 任期…令和 7年10月 1日～令和 9年 9月30日

○川越市人権教育推進協議会

委員…14人 任期…令和 7年 4月 1日～令和 9年 3月31日

○川越市小堤集会所運営委員会

委員… 7人 任期…令和 7年 4月16日～令和 9年 4月15日

○川越市文化財保護審議会

委員…11人 任期…令和 7年 4月 1日～令和 9年 3月31日

○川越市河越館跡整備検討委員会

委員…10人 任期…令和 6年11月 1日～令和 8年10月31日

○川越市山王塚古墳整備検討委員会

委員… 9人 任期…令和 8年 5月 1日～令和10年 4月30日

○川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会

委員… 5人 任期…令和 7年 4月 1日～令和 9年 3月31日

○川越市公民館運営審議会

委員…23人 任期…令和 7年 5月27日～令和 9年 5月26日

○川越市立図書館協議会

委員…15人 任期…令和 7年 1月17日～令和 9年 1月16日

○川越市立博物館協議会

委員…15人 任期…令和 8年 7月30日～令和10年 7月29日

○川越市幼児教育振興審議会

委員…11人 任期…令和 7年 7月25日～令和 9年 7月24日

○川越市いじめ問題対策委員会

委員… 7人 任期…令和 7年 4月 1日～令和 9年 3月31日

○川越市立学校給食センター運営委員会

委員…13人 任期…令和 7年 9月 1日～令和 9年 8月31日

○川越市就学支援委員会

委員…15人 任期…令和 7年 5月 2日～令和 9年 3月31日

V 資料 歴代教育委員会委員長・教育長・教育委員会委員

歴代教育委員会委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
岸 憲夫	S 27.10. 5	S 30. 4. 22
佐々木 文蔵	S 30. 5. 1	S 31. 9. 30
竹内 栄吉	S 31.10. 1	S 39. 9. 30
橋村 尚中	S 39.10. 1	S 40. 8. 13
水村 三郎	S 40. 8. 13	S 42.11.30
内田 秀夫	S 42.12. 1	S 44.11.30
佐々木 文蔵	S 44.12. 1	S 45.10.12
内田 秀夫	S 45.11. 9	S 49. 4. 2
鈴木 威	S 49. 4. 3	S 49.12.20
鈴木 威	S 49.12.25	S 51. 4. 7
水村 三郎	S 51. 4. 8	S 62. 1.15
関本 定雄	S 62. 1.16	H 8. 7.27
采澤 好子	H 8.10. 4	H 10.10. 3
佐久間 勇次	H 10.10. 4	H 12. 9.30
齊藤 信子	H 12.10.10	H 18.12.27
伊藤 幾造	H 19. 1. 5	H 21. 3.31
星野 明德	H 21. 4. 1	H 25. 3.31
梶川 牧子	H 25. 4. 1	H 28. 3.31

※ H 28. 4. 1～教育長と一本化

歴代教育委員会委員

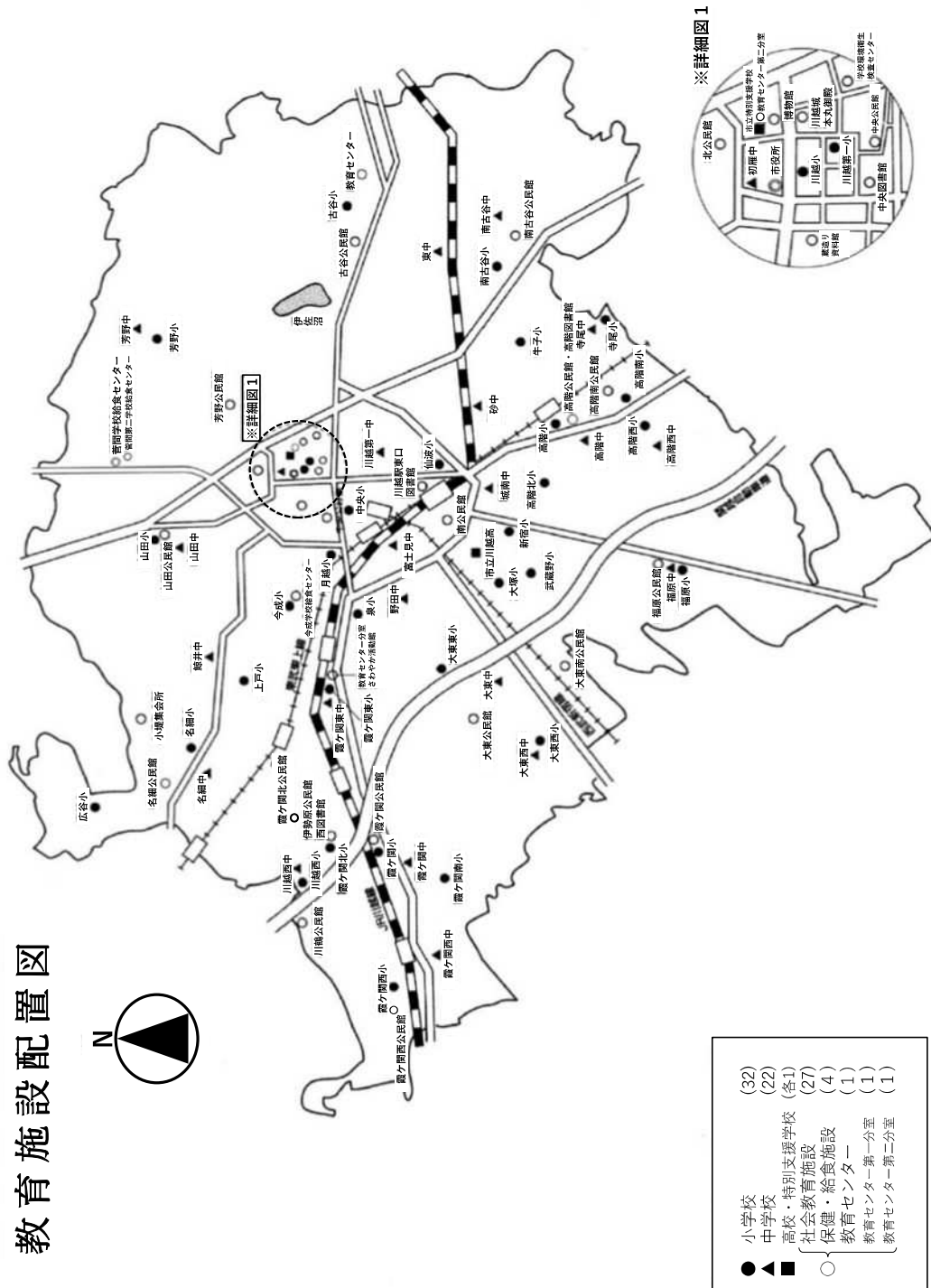
氏 名	就任年月日	退任年月日	備考
岸 憲夫	S 27.10. 5	S 30. 4. 22	
佐々木 文蔵	S 27.10. 5	S 31. 9. 30	
橋本 正代	S 27.10. 5	S 31. 9. 30	
青山 四郎	S 27.10. 5	S 31. 9. 30	
西川 卯八	S 27.10.28	S 29. 7. 1	議会選出
佐藤 仲治郎	S 29. 7. 2	S 30. 4. 3	議会選出
須賀 喜久治	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	市町村合併による
浜野 真平	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
新井 茂重	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
松本 正夫	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
石川 定彦	S 30. 4. 1	S 31. 7.14	〃
長谷 嶺宗	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
戸田 松雄	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
小林 玉之助	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
加藤 源四郎	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
岸野 仁太郎	S 30. 5.19	S 31. 5.28	議会選出
金子 良雄	S 31. 5.28	S 31. 9. 30	議会選出
竹内 栄吉	S 31.10. 1	S 39. 9. 30	
仲 篤司	S 31.10. 1	S 34. 9. 30	
橋村 尚中	S 31.10. 1	S 40. 8. 13	
粕谷 武蔵	S 31.10. 1	S 32. 9. 30	
粕谷 武蔵	S 32.11. 9	S 36.11. 8	
大塚 仁之助	S 31.10. 1	S 35. 9. 30	教育長
斎藤 芳一	S 35.10. 1	S 51. 9. 30	教育長
内田 秀夫	S 38. 7. 8	S 50. 7. 7	
関口 道之助	S 39.12.24	S 47.12.23	
水村 三郎	S 40. 4. 1	H 5. 3.31	
佐々木 文蔵	S 41. 4. 7	S 45.10.12	
鈴木 威	S 45.12.21	S 49.12.20	
岩田 正	S 47.12.28	S 55.12.27	
鈴木 威	S 49.12.25	S 51. 4. 7	
関本 定雄	S 50.12.25	S 54.12.24	
斎藤 芳一	S 51.10. 6	S 55.10. 5	教育長
田中 賢司	S 52.12.24	S 53.12.24	

歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
江原 四郎	S 27.11. 1	S 32. 9.30
大塚 仁之助	S 32.10. 1	S 35. 9.30
斎藤 芳一	S 35.10. 1	S 51. 9.30
斎藤 芳一	S 51.10.15	S 55.10. 5
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3.31
大久原 秀雄	H 7. 4. 1	H 13. 3.31
星野 明德	H 13. 4. 1	H 17. 3.31
山浦 秀男	H 17. 4. 1	H 21. 3.31
新井 孝次	H 21. 4. 1	H 25. 3.31
伊藤 明	H 25. 4. 1	H 28. 3.31
新保 正俊	H 28. 4. 1	

氏 名	就任年月日	退任年月日	備考
田中 賢司	S 53.12.27	H 6.12.26	
関本 定雄	S 55. 7.28	H 8. 7.27	
岩田 正	S 56. 4. 1	H 8. 6.19	
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3.31	教育長
大久原 秀雄	H 5. 4. 1	H 13. 3.31	教育長
采澤 好子	H 6.12.27	H 10.12.26	
岡安 道夫	H 7. 7. 1	H 9. 3.31	
伊藤 幾造	H 8.10. 1	H 21. 3.31	
佐久間 勇次	H 8.10. 1	H 12. 9.30	
奥村 順一	H 9. 4. 1	H 13. 3.31	
齊藤 信子	H 10.12.28	H 18.12.27	
長澤 仁志	H 12.10. 1	H 16. 9.30	
長澤 仁志	H 17. 4. 1	H 21. 3.31	
深井 英男	H 13. 4. 1	H 17. 3.31	
星野 明德	H 13. 4. 1	H 17. 3.31	教育長
臼倉 喜美枝	H 17. 4. 1	H 21. 3.31	
山浦 秀男	H 17. 4. 1	H 21. 3.31	教育長
相馬 實	H 18.12.28	H 22.12.27	
星野 明德	H 21. 4. 1	H 25. 3.31	
長谷川 均	H 21. 4. 1	R 7. 3.31	
後藤 佳子	H 21. 4. 1	H 25. 3.31	
新井 孝次	H 21. 4. 1	H 25. 3.31	教育長
梶川 牧子	H 22.12.28	R 4.12.27	
原田 由美	H 25. 4. 1	H 29. 3.31	
長井 良憲	H 25. 4. 1	H 31. 3.31	
伊藤 明	H 25. 4. 1	H 28. 3.31	教育長
黒田 弘美	H 29. 4. 1	R 2. 3.31	
嶋野 道弘	H 31. 4. 1	R 6.12.31	
佐久間 佳枝	R 2. 4. 1	R 6. 3.31	
飯島 希	R 4.12.28		
岡本 紘子	R 6. 4. 1		
鈴木 朗	R 7. 6.26		
大石 懐子	R 7. 6.26		

教育施設配置図



V 資料 市立学校一覧

市立学校一覧

小 学 校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数			開 校 年	所 在 地	電 話
			校長教員	養護	事務			
川越第一	遠藤 千絵	入戸野 朋也	30	1	1	明治6年	郭町1-21	222-0308
川 越	金井 進	萩原 秀基	30	1	1	明治6年	郭町1-1-1	222-0309
中 央	西貝 俊哉	佐藤 暁香	25	1	1	明治7年	中原町1-25	222-0310
仙 波	原田 正則	岸田 初美	31	1	1	明治27年	富士見町4-1	222-0195
武蔵野	小島 孝教	豊田 拓也	32	1	2	昭和45年	むさし野14-1	242-1394
新 宿	横田 亜希子	井澤 剛宏	28	1	1	昭和57年	新宿町6-9-1	246-4227
大 塚	平井 妙子	岸田 拓郎	23	1	1	昭和51年	大塚2-10-1	245-2929
泉	小林 克則	樋口 孝子	30	1	1	明治7年	小室463	242-3119
月 越	岩崎 佳澄	岡島 光次	20	1	1	昭和34年	月吉町51	222-2261
今 成	生駒 義郎	河内 祥生	20	1	1	昭和49年	今成2-42-1	224-3534
芳 野	工藤 泰輔	原口 昌義	17	1	1	明治6年	鴨田331	222-1264
古 谷	米塚 貴洋	菅井 克幸	20	1	1	明治7年	古谷上5465	235-0193
南古谷	嘉手川 満	富山 和幸 新井 司	37	2	2	明治6年	木野目1451	235-2150
牛 子	笠井 洋佳	太田 将史	21	1	1	昭和52年	牛子418	245-6702
高 階	伊藤 和三	池田 浩之	33	1	2	大正12年	砂新田58	242-0689
高階南	小林 弘幸	岡村 悠子	22	1	1	昭和45年	諏訪町12-3	242-7566
高階北	高村 勉	高橋 由紀子	30	1	1	昭和48年	砂新田1-16-1	244-0988
高階西	岩上 香純	土井 和貴	26	1	1	昭和49年	藤間1102	243-6042
寺 尾	相澤 昌彦	内野 明光	21	1	1	昭和53年	寺尾979-2	245-9555
福 原	小松 悦子	沼田 健	30	1	1	明治7年	今福508	243-4036
大東東	戸田 克	金田 健	27	1	1	明治6年	豊田本4-16-1	243-3105
大東西	根岸 亜希子	鎌倉 聖悟	24	1	1	明治7年	山城32-5	243-3910
霞ヶ関	古屋 博	両角 知繁	31	1	1	明治6年	笠幡177	231-1303
霞ヶ関南	松本 礼香	河島 禎幸	16	1	1	昭和49年	かすみ野1-1-4	232-0395
霞ヶ関北	熊倉 秀幸	佐渡 満好	21	1	1	昭和44年	伊勢原町5-1-1	231-1968
霞ヶ関東	関根 努	對馬 操	19	1	1	昭和50年	的場2735-2	232-4871
霞ヶ関西	大河原 早菜江	山下 高弘	24	1	1	昭和53年	笠幡3971-4	232-8500
川越西	熊澤 美和	寺内 和広	25	1	1	昭和58年	川鶴1-5	231-0181
名 細	田中 稔浩	島田 亮	25	1	1	明治7年	小堤214	231-2216
上 戸	肥留間 智子	坂田 友	25	1	1	昭和51年	上戸390-1	232-7200
広 谷	川野 幸一	野口 愛子	19	1	1	昭和56年	下広谷558-1	233-3941
山 田	吉野 和仁	佐々木 真広	31	1	1	明治8年	山田167	222-2042
計	32校		813	33	35			

※教職員数は教職員定数を表す。

中 学 校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数			開 校 年	所 在 地	電 話
			校長教員	養護	事務			
川越第一	岡 島 一 恵	大 池 芳 明	28	1	1	昭和22年	小仙波町5-6	222-1204
初 雁	山 原 伸 治	新 井 道 央	29	1	1	昭和22年	宮下町1-21-3	222-0749
富 士 見	谷 口 泰 夫	杉 田 明 浩	23	1	1	昭和24年	東田町17-1	242-0931
野 田	澤 村 文 香	中 和 馬	21	1	1	昭和57年	野田町2-19-14	246-8484
城 南	齋 藤 淳 一	小 川 真 享	31	1	1	昭和22年	新宿町3-19-1	242-0978
芳 野	武 井 理	澁 谷 茂 之	14	1	1	昭和22年	石田本郷733	222-1265
東	神 山 稔	渡 邊 栄 二	24	1	1	昭和36年	小中居278	235-2731
南古谷	佐 藤 太 一	竹 内 久 哲	28	1	1	昭和58年	久下戸3721	235-2664
高 階	吉 田 基	大 野 拓 也	24	1	1	昭和22年	藤間10	242-1010
高階西	斎 藤 信 行	中 村 卓 也	19	1	1	昭和60年	砂新田2593	244-6741
寺 尾	山 下 健	寺 田 純 一 郎	26	1	1	昭和52年	寺尾1068	245-6701
砂	示 野 浩 生	原 田 浩 明	23	1	1	昭和56年	砂260	242-6588
福 原	矢 部 智 史	稲 葉 知 己	24	1	1	昭和22年	今福512	243-4140
大 東	長 田 茂 樹	田 中 正 徳	28	1	1	昭和22年	南大塚1-20-1	243-3738
大東西	小 川 潤 也	宮 川 尚 土	19	1	1	昭和62年	藤倉1-1-1	246-7166
霞ヶ関	守 岡 信 一	中 條 信 裕	28	1	1	昭和22年	笠幡72	231-1302
霞ヶ関東	亀 森 智 子	赤 澤 秀 樹	22	1	1	昭和52年	の場2706	232-4606
霞ヶ関西	田 川 一 義	七 五 三 掛 康 博	25	1	1	昭和58年	笠幡3464-3	231-0188
川 越 西	杉 田 和 彦	白 根 彰 人	22	1	1	昭和58年	川鶴1-1	231-0641
名 細	須 澤 美 和 子	鈴 木 憲 之	31	1	1	昭和22年	小堤14	231-2213
鯨 井	加 藤 早 苗	渡 邊 雄 一	16	1	1	昭和55年	鯨井562-2	231-0255
山 田	砂 川 和 俊	本 橋 裕 子	24	1	1	昭和22年	山田550	222-2043
計	22校		529	22	22			

※教職員数は教職員定数を表す。

特別支援学校

市立特別支援学校	遠 山 知 子	高 橋 健	22	1	2	昭和39年	宮下町1-19-1	222-2753
----------	---------	-------	----	---	---	-------	-----------	----------

高等学校

市立川越高校	飯 田 敦	落 合 弘 樹	54	2	7	大正15年	旭町2-3-7	243-0800
--------	-------	---------	----	---	---	-------	---------	----------

V 資料 市立学校施設の現況

市立学校施設の現況

小 学 校

学 校 名	校 舎 保 有 面 積				1 人 当 たり 校 舎 面 積
	鉄 筋 コンクリート造	鉄骨その他造 (鉄筋コンクリート造 換算)	木 造 (鉄筋コンクリート造 換算)	計	
川 越 第 一	5,070	248		5,318	8.6
川 越	8,088	41		8,129	14.6
中 央	5,030	48		5,078	11.2
仙 波	7,356			7,356	10.4
武 蔵 野	6,088	116		6,204	9.0
新 宿	5,434	105		5,539	9.9
大 塚	5,042	109		5,151	11.8
泉	4,895	81		4,976	9.0
月 越	6,396	38		6,434	19.1
今 成	4,004	223		4,227	11.5
芳 野	3,699	144		3,843	15.6
古 谷	4,859	92	70	5,021	12.4
南 古 谷	6,765	148		6,913	7.8
牛 子	5,374	78		5,452	14.1
高 階	6,551	131		6,682	9.3
高 階 南	5,222	120		5,342	13.1
高 階 北	5,375	143		5,518	8.8
高 階 西	5,169	179		5,348	10.3
寺 尾	6,054	103		6,157	15.5
福 原	7,146	94		7,240	12.0
大 東 東	4,487	173	20	4,680	8.7
大 東 西	4,529	489	20	5,038	10.1
霞 ケ 関	7,012	106		7,118	11.7
霞 ケ 関 南	4,544	250		4,794	22.6
霞 ケ 関 北	8,219	88		8,307	19.5
霞 ケ 関 東	4,653	93		4,746	15.9
霞 ケ 関 西	5,347	148		5,495	11.3
川 越 西	6,398	110		6,508	14.6
名 細	6,027	81		6,108	11.1
上 戸	5,137	124		5,261	10.6
広 谷	5,762	124		5,886	18.3
山 田	5,321	162		5,483	8.8
計	181,053	4,189	110	185,352	11.6

V 資料 市立学校施設の現況

(令和8年5月1日現在/単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 面 積	1人当たり 屋内運動場 面 積	建物敷地 面 積	屋外運動場 面 積	1人当たり 屋外運動場 面 積	校地面積	1人当たり 校 地 面 積
川 越 第 一	809	1.3	7,421	8,225	13.3	15,646	25.4
川 越	788	1.4	7,669	6,175	11.1	13,844	24.8
中 央	808	1.8	5,144	5,802	12.8	10,946	24.1
仙 波	809	1.1	6,876	6,013	8.5	12,889	18.3
武 蔵 野	809	1.2	7,150	9,263	13.5	16,413	23.9
新 宿	1,053	1.9	5,441	6,655	11.9	12,096	21.6
大 塚	859	2.0	5,829	5,980	13.7	11,809	27.0
泉	1,022	1.9	4,701	6,645	12.0	11,346	20.6
月 越	804	2.4	10,219	7,872	23.4	18,091	53.8
今 成	883	2.4	4,488	8,467	22.9	12,955	35.1
芳 野	829	3.4	4,911	13,822	56.2	18,733	76.2
古 谷	805	2.0	8,092	10,951	27.1	19,043	47.1
南 古 谷	793	0.9	7,691	5,733	6.5	13,424	15.2
牛 子	820	2.1	7,617	6,120	15.8	13,737	35.5
高 階	813	1.1	6,048	10,861	15.2	16,909	23.6
高 階 南	792	1.9	7,444	7,518	18.5	14,962	36.8
高 階 北	800	1.3	5,045	7,522	12.0	12,567	20.0
高 階 西	883	1.7	6,293	9,186	17.7	15,479	29.8
寺 尾	793	2.0	4,982	6,739	17.0	11,721	29.6
福 原	800	1.3	6,558	10,390	17.2	16,948	28.0
大 東 東	883	1.6	5,927	5,770	10.8	11,697	21.8
大 東 西	803	1.6	6,966	6,950	13.9	13,916	27.9
霞 ケ 関	841	1.4	9,788	8,904	14.7	18,692	30.8
霞ケ関南	738	3.5	7,690	7,637	36.0	15,327	72.3
霞ケ関北	1,476	3.5	14,573	9,488	22.3	24,061	56.5
霞ケ関東	839	2.8	4,830	8,884	29.8	13,714	46.0
霞ケ関西	803	1.6	5,636	7,629	15.7	13,265	27.2
川 越 西	1,053	2.4	9,818	12,542	28.1	22,360	50.1
名 細	813	1.5	6,321	13,123	23.8	19,444	35.2
上 戸	793	1.6	4,136	10,159	20.6	14,295	28.9
広 谷	966	3.0	6,728	7,230	22.5	13,958	43.5
山 田	1,056	1.7	10,451	9,334	14.9	19,785	31.6
計	27,836	1.7	222,483	267,589	16.8	490,072	30.7

V 資料 市立学校施設の現況

中 学 校

学 校 名	校 舎 保 有 面 積				1 人 当 た り 校 舎 面 積
	鉄 筋 コンクリート造	鉄骨その他造 (鉄筋コンクリート造 換算)	木 造 (鉄筋コンクリート造 換算)	計	
川 越 第 一	5,408	459		5,867	11.2
初 雁	6,717	144	50	6,911	14.2
富 士 見	5,425	239		5,664	15.7
野 田	6,245	436		6,681	22.4
城 南	5,589	451		6,040	10.6
芳 野	4,057	186		4,243	29.1
東	5,597	472		6,069	18.8
南 古 谷	5,883	423		6,306	11.9
高 階	6,014	47		6,061	14.2
高 階 西	5,381	409		5,790	21.4
寺 尾	6,269	118		6,387	16.0
砂	7,020	580		7,600	21.8
福 原	5,663	403		6,066	15.2
大 東	6,598	350		6,948	13.8
大 東 西	6,155	109		6,264	22.4
霞 ケ 関	4,453	672		5,125	11.8
霞 ケ 関 東	5,537	185		5,722	17.7
霞 ケ 関 西	7,443	113		7,556	19.0
川 越 西	6,252	423		6,675	19.5
名 細	5,547	396		5,943	11.9
鯨 井	4,614	90		4,704	18.6
山 田	4,555	444		4,999	13.5
計	126,422	7,149	50	133,621	15.8

特 別 支 援 学 校

市立特別支援学校	1,372	413		1,785	44.6
----------	-------	-----	--	-------	------

高 等 学 校

市立川越高校	17,603			17,603	21.4
--------	--------	--	--	--------	------

V 資料 市立学校施設の現況

(令和8年5月1日現在/単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 面 積	1人当たり 屋内運動場 面 積	建物敷地 面 積	屋外運動場 面 積	1人当たり 屋外運動場 面 積	校地面積	1人当たり 校 地 面 積
川 越 第 一	766	1.5	6,752	13,629	26.1	20,381	39.0
初 雁	1,320	2.7	14,600	11,290	23.1	25,890	53.1
富 士 見	789	2.2	7,137	17,565	48.8	24,702	68.6
野 田	1,455	4.9	10,870	17,906	60.1	28,776	96.6
城 南	794	1.4	9,242	14,296	25.0	23,538	41.2
芳 野	810	5.5	3,909	9,605	65.8	13,514	92.6
東	813	2.5	9,401	12,016	37.3	21,417	66.5
南 古 谷	1,449	2.7	11,154	17,474	33.1	28,628	54.2
高 階	793	1.9	6,945	10,240	23.9	17,185	40.2
高 階 西	1,435	5.3	13,318	15,960	59.1	29,278	108.4
寺 尾	794	2.0	7,105	12,682	31.9	19,787	49.7
砂	909	2.6	10,647	20,566	58.9	31,213	89.4
福 原	804	2.0	12,645	12,560	31.4	25,205	63.0
大 東	813	1.6	9,841	15,575	31.0	25,416	50.6
大 東 西	1,436	5.1	10,304	13,386	47.8	23,690	84.6
霞 ケ 関	817	1.9	11,203	11,812	27.2	23,015	52.9
霞 ケ 関 東	809	2.5	7,538	13,373	41.4	20,911	64.7
霞 ケ 関 西	1,409	3.5	12,580	14,645	36.8	27,225	68.4
川 越 西	1,453	4.2	12,305	13,823	40.4	26,128	76.4
名 細	818	1.6	8,819	11,384	22.9	20,203	40.6
鯨 井	910	3.6	9,312	13,053	51.6	22,365	88.4
山 田	789	2.1	6,845	15,879	42.9	22,724	61.4
計	22,185	2.6	212,472	308,719	36.4	521,191	61.5

市立特別支援学校			1,160	2,000	50.0	3,160	79.0
----------	--	--	-------	-------	------	-------	------

市立川越高校	3,799	4.6	13,612	27,437	33.4	41,049	49.9
--------	-------	-----	--------	--------	------	--------	------

V 資料 児童生徒数と今後の推移

児童生徒数と今後の推移

小 学 校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	令 和 8 年 度					令和9年度以降の児童数の推移		
	児 童 数	学 級 数	特別支援学級 児 童 数	特別支援 学 級 数	合 計 児 童 数	9年度	10年度	11年度
川越第一	588	20	29	5	617	595	583	560
川 越	527	18	31	6	558	523	507	472
中 央	441	17	13	3	454	446	407	386
仙 波	682	22	23	4	705	698	682	680
武蔵野	654	22	32	5	686	663	621	578
新 宿	532	18	28	5	560	531	516	499
大 塚	420	15	17	3	437	432	398	395
泉	505	18	47	7	552	556	547	553
月 越	308	12	28	4	336	350	356	349
今 成	362	13	7	2	369	361	358	340
芳 野	236	10	10	2	246	221	207	202
古 谷	383	12	21	3	404	380	362	329
南古谷	849	27	34	5	883	859	819	778
牛 子	371	13	16	3	387	367	356	355
高 階	690	23	26	4	716	698	714	703
高階南	389	14	18	3	407	409	391	379
高階北	601	19	28	5	629	611	618	610
高階西	496	17	24	4	520	520	510	504
寺 尾	377	13	19	3	396	381	376	349
福 原	574	20	30	5	604	604	580	574
大東東	504	18	32	5	536	533	535	531
大東西	484	16	15	3	499	480	462	443
霞ヶ関	559	18	48	8	607	571	551	562
霞ヶ関南	197	9	15	3	212	200	193	185
霞ヶ関北	403	14	23	3	426	419	396	384
霞ヶ関東	287	12	11	2	298	288	290	310
霞ヶ関西	466	16	21	4	487	454	419	395
川越西	426	16	20	4	446	419	396	378
名 細	532	18	20	3	552	512	479	437
上 戸	478	17	16	3	494	502	501	489
広 谷	313	12	8	2	321	305	291	271
山 田	591	21	35	6	626	615	588	541
計 32校	15,225	530	745	127	15,970	15,503	15,009	14,521

※令和8年度の特別支援学級児童数・同学級数は、その左の児童数・学級数には含まれていない。

V 資料 児童生徒数と今後の推移

学 校 名		令和8年度					令和9年度以降の児童数の推移		
		児童数	学級数	特別支援学級 児童数	特別支援 学級数	合計 児童数	9年度	10年度	11年度
学 年 別	1 年	2,272	82	100		2,372	2,391	2,320	2,187
	2 年	2,425	83	117		2,542	2,372	2,391	2,320
	3 年	2,581	90	128		2,709	2,542	2,372	2,391
	4 年	2,549	90	126		2,675	2,709	2,542	2,372
	5 年	2,681	92	133		2,814	2,675	2,709	2,542
	6 年	2,717	93	141		2,858	2,814	2,675	2,709

中 学 校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名		令和8年度					令和9年度以降の生徒数の推移		
		生徒数	学級数	特別支援学級 生徒数	特別支援 学級数	合計 生徒数	9年度	10年度	11年度
川越第一		506	14	16	3	522	573	599	631
初 雁		467	13	21	4	488	510	506	529
富士見中		350	11	10	2	360	364	368	386
野 田		287	9	11	2	298	317	330	320
城 南		554	16	17	3	571	585	607	586
芳 野		144	6	2	1	146	150	150	141
東		302	9	20	4	322	307	295	315
南古谷		520	15	8	2	528	515	484	470
高 階		416	12	12	2	428	433	428	447
高階西		263	8	7	2	270	265	274	266
寺 尾		382	11	16	4	398	438	458	476
砂		344	11	5	2	349	381	383	393
福 原		391	12	9	2	400	381	370	356
大 東		484	14	18	3	502	514	581	598
大東西		276	9	4	1	280	287	266	257
霞ヶ関		406	12	29	4	435	418	391	362
霞ヶ関東		313	9	10	2	323	320	320	326
霞ヶ関西		384	12	14	3	398	379	378	336
川 越 西		341	11	1	1	342	349	319	291
名 細		476	15	22	4	498	505	515	526
鯨 井		251	7	2	1	253	263	272	258
山 田		353	11	17	3	370	362	359	354
計 22校		8,210	247	271	55	8,481	8,616	8,653	8,624
学 年 別	1 年	2,712	87	96		2,808	2,946	2,899	2,779
	2 年	2,770	82	92		2,862	2,808	2,946	2,899
	3 年	2,728	78	83		2,811	2,862	2,808	2,946

※令和8年度の特別支援学級生徒数・同学級数は、その左の生徒数・学級数には含まれていない。

特別支援学校・高等学校

(令和8年5月1日現在)

学 校 名	1 年	2 年	3 年	合 計 生 徒 数
市立特別支援学校	15(2)	12(2)	13(2)	40(6)
市立川越高校	280(8)	271(8)	271(8)	822(24)

() 内は学級数

V 資料 小・中・高・特別支援学校教職員の数

小・中・高・特別支援学校教職員の数

小・中・特別支援学校教職員の数

(令和8年5月1日現在)

(区分)	校 長		教 頭		主幹教諭		教諭・講師 助教諭		養護教諭・ 養護助教諭	栄養教諭・ 学校栄養職員		事務職員		用務員		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小 学 校	21	11	27	6	11	8	326	536	38	0	5	11	25	8	4	404	633
中 学 校	18	5	21	1	4	2	280	236	27	1	4	8	16	14	2	346	293
小 計	39	16	48	7	15	10	606	772	65	1	9	19	41	22	6	750	926
特別支援学校	0	1	1	0	0	0	10	11	1	0	0	0	2	0	1	11	16
合 計	39	17	49	7	15	10	616	783	66	1	9	19	43	22	7	761	942
男 女 計	56		56		25		1,399		66	10		62		29		1,703	

※兼務者を除き、育児休業者、病気休職者等を含む。

※学校基本調査による。

高等学校教職員の数

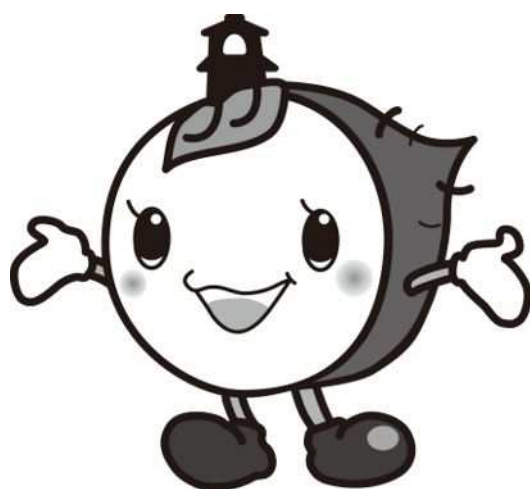
(令和8年5月1日現在)

校長	教頭	教 諭		養護教諭		再任用教諭		事務長	事務職員		用務員		計		
男	男	男	女	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	女	計
1	1	27	8	0	2	8	4	1	3	3	2	0	43	17	60

※臨任教員、任期付短時間講師、非常勤講師、非常勤事務員及び非常勤用務員を除く。

川 越 市 の 教 育

令和 8 年 7 月
発 行 川越市教育委員会
〒350-8601
埼玉県川越市元町 1 - 3 - 1
TEL 049-224-6074 (直通)



川越市マスコットキャラクター

と き も